平成26年度 水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表 改定総括表

一		- 休る少姓女 以た秘拉女
項目	25 年度版 頁番号	内 容
全般		・「管径」、「管口径」を「呼び径」に統一 ・「諸経費」、「雑材料」等を「諸雑費」に統一 ・誤記の訂正
第一編 請負工事標準歩掛 第1章 積算基準 第2節 工事費の積算 1-2-2 間接工事費		
別表-2	2 6	・現場管理費率標準値の変更
第2章 開削工歩掛 第1節 標準掘削断面 2-1-3 掘削幅の算定	35~ 37	・文章の修正 ・「接合作業幅」表の外面継手(GX 形継手)(T 頭ボルト締め付け)における呼び径 300 mm の追加
2−1−4 標準掘削断面	37~	・備考の修正
第3節 鋳鉄管布設工 2-3-8 GX形継手接合歩掛表 第7-1表	5 0	・呼び径 300 mmの歩掛の追加
2-3-9 NS形・SⅡ形・GX形継手挿口加工歩掛表 第7-2表	5 0	・GX 形における呼び径 300 mmの歩掛の追加
2-3-13 不断水連絡歩掛表 第11表	5 4	・取出呼び径 40 mm及び 50 mmの歩掛の追加
2-4-7 内外面塗装歩掛表 第9表	6 5	・歩掛の変更 ・備考の修正
第10表	6 6	・歩掛の変更 ・呼び径 1900 mm~3000 mmの歩掛の追加 ・備考の修正
第8節 管切断工 2-8-3 鋳鉄管切断・溝切り加工歩掛表 第3-1表、第3-3表	79~ 80	・GX 形における呼び径 300 mmの歩掛の追加
第9節 弁類及び消火栓設置工 2-9-1 仕切弁設置歩掛表(縦・横型) 第1表、第2表、第3表、第4表、第5表	84~	・撤去歩掛の追加
2-9-2 空気弁及び空気弁座設置歩掛表 第6表	8 6	・撤去歩掛の追加
2-9-4 緊急遮断弁設置歩掛表 第8表	8 7	・撤去歩掛の追加
第10節 既設管撤去工 2-10-3 鋳鉄管継手取外し歩掛表 第2表	9 1	・GX 形の歩掛の追加
第5章 その他歩掛 第3節 既設管内配管工		

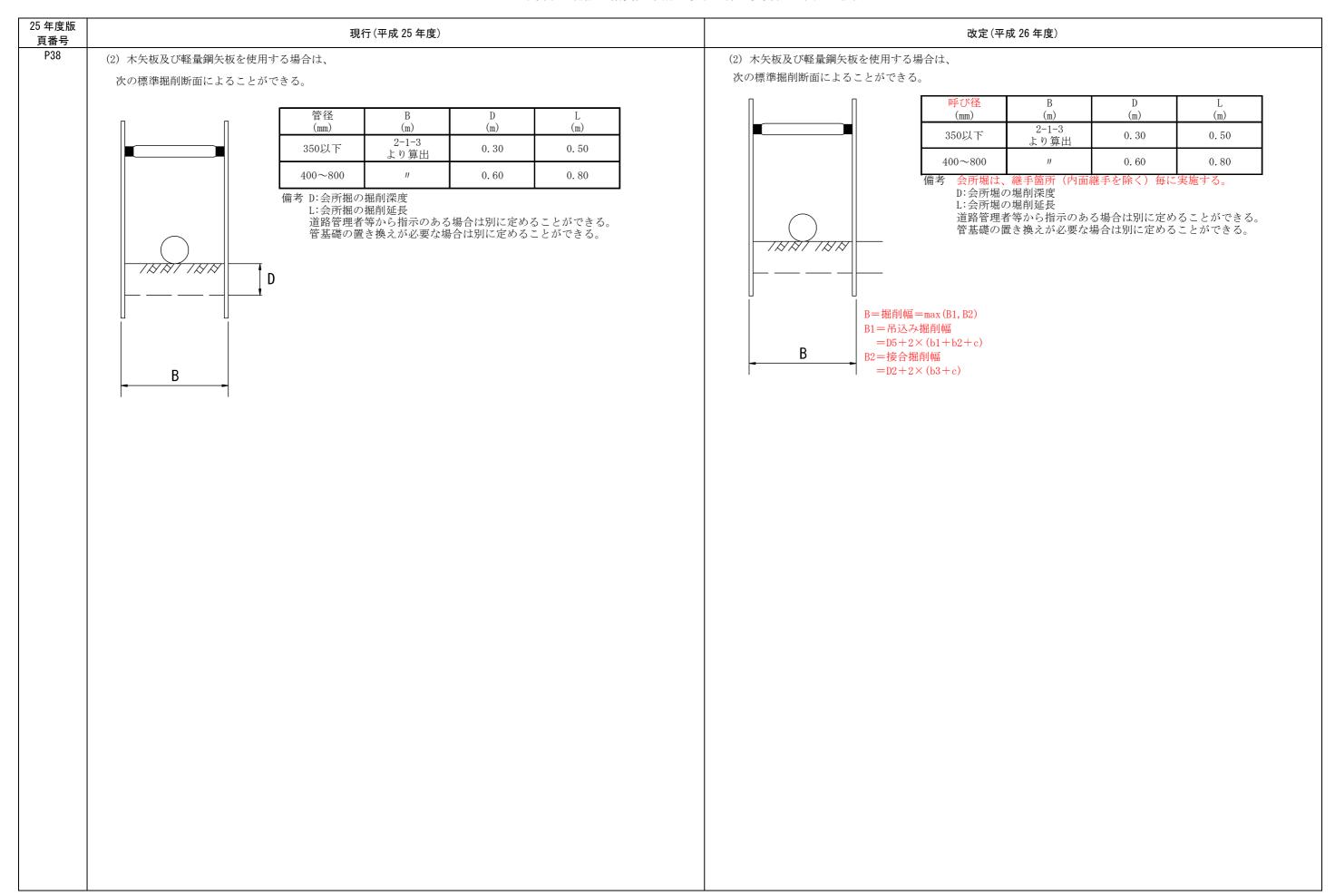
D	25 年度版	ф ф
項目	頁番号	内容
5-3-4 配管歩掛表 5-3-4-2 4. 溶接、塗装工	136	・文章の修正
第二編 参考資料 第1章 参考歩掛 第1節管路土工		
1-1-1 管路掘削歩掛表	143~	・小型バックホウ掘削積込単価表の追加
第1表、第2表、第3表	1 4 3	・歩掛の変更
第5表	1 4 4	・適用単価表の指定 ・指定事項の変更
1-1-2 管路埋戻歩掛表	145~	・バックホウ1日当り施工量標準値表の追加 ・管路埋戻単価表の追加 ・土量変化率表の追加 ・小型バックホウ運転1日当り単価表の追加 ・バックホウ運転1時間当り単価表の追加 ・タンパ運転1日当り単価表の追加
第6表、第7表	1 4 5	・歩掛の変更
第8表	"	・備考の修正
第9表	"	・歩掛の変更
第10表	1 4 6	・適用単価表の指定 ・指定事項の変更
1-1-6 発生土歩掛表 第31表、第32表	153~ 155	・歩掛の変更
第36表	156	・適用単価表の指定 ・ダンプトラック運転1日当り単価表の追加
1-1-8 アスファルト舗装歩掛表	157	・アスファルト混合物締固め後密度の追加
第三編 設計業務委託標準歩掛 第2章 配水管設計歩掛 第1節 開削工法 2-1-2 補正	183	・「(7) 複数管径を含む場合等の補正の考え方」 の追加
第14表	"	・備考の修正
第3章 構造物設計歩掛 第1節 配水池設計歩掛 3-1-2-4 現地調査(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 第11-1表、第11-2表 第2節 ポンプ場設計歩掛 3-2-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基	201	・備考の修正
本歩掛 第6表	208	・備考の修正

_	25 年度版	
項 目	頁番号	内 容
3-1-2-4 現地調査(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 第7-1表、第7-2表	"	・備考の修正
第3節 浄水場設計歩掛 3-3-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基 本歩掛 第6表	235	・備考の修正
3-3-2-4 現地調査(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 第7-1表、第7-2表	"	・備考の修正
第 4 章 耐震補強設計歩掛 第 1 節 浄水場土木施設 耐震診断(詳細診断) 歩掛	240~ 253	・「第1節 水管橋 耐震診断(詳細診断)歩掛及び耐震補強設計歩掛」及び「第4節 浄水場土木施設 耐震補強設計歩掛」を追加し、平成25年度版の「第1節 浄水場土木施設 耐震診断(詳細診断)歩掛」を第3節へ移動。
4-1-2-2 設計協議(耐震診断)基本歩掛 第4表	2 4 6	・備考の修正
4-1-2-3 現地調査基本歩掛 第5表	"	・備考の修正
第2節 配水池 耐震補強設計歩掛 4-2-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基 本歩掛 第5表	252	・備考の修正
4-2-2-4 現地調査(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 第6表	11	・備考の修正

25 年度版 現行(平成25年度) 改定(平成 26 年度) 頁番号 P21 (4)-6 技術管理費 (4)-6 技術管理費 2) 積算方法 2) 積算方法 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記1)の①、②、③のうち下記項目とする。 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記 1)の①、②、③のうち下記項目とする。 ① 品質管理基準に記載されている項目に要する費用 ① 品質管理基準に記載されている項目に要する費用 ② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用 ② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用 ③ 工程管理のための資料の作成等に要する費用 ③ 工程管理のための資料の作成等に要する費用 ④ 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に要する費用 ④ 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に要する費用 ⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用 ⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用 ⑥ コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用 ⑥ コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用 ⑥ コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用 ⑦ コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用 ⑦ PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用 8 PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用 ⑧ 途装膜厚施工管理に要する費用 9 塗装膜厚施工管理に要する費用 ⑨ 溶接試験における放射線透過試験に要する費用 ⑩ 溶接試験における放射線透過試験に要する費用 ⑩ 施工管理で使用するOA機器の費用 Ⅲ 施工管理で使用するOA機器の費用 ⑪ 品質証明に係る費用(品質証明費) ⑩ 品質証明に係る費用(品質証明費) P26 別表-2 現場管理費率標準値 別表-2 現場管理費率標準値 対象額(N。) 1,000万円以下 1,000万円を超え20億円以下 20億円を超えるもの 対象額(N。) 1,000万円以下 1,000万円を超え20億円以下 20億円を超えるもの 適用区分 A×N^bにより算定された率とする。 A×N。bにより算定された率とする。 下記の率とする 下記の率とする 下記の率とする 下記の率とする ただし、変数値は下記による ただし、変数値は下記による 工種区分 工種区分 開削工事及び小口径推進工事 開削工事及び小口径推進工事 -0.0977 -0.097721.70% 104.8 12.93% 21.70% 104.8 12.93% ンールドエ事及び推進工事 24.75% -0.009523.55% シールドエ事及び推進工事 -0.009528 8 構造物工事(浄水場等) 構造物工事(浄水場等) 16.51% 21.5 -0.016415.13% 16.51% 21.5 -0.016415. 13% P35 2-1-3 掘削幅の算定 2-1-3 掘削幅の算定 掘削幅は、管の吊込み時と管の接合時より求める。 掘削幅(B)は、管の品込み時と管の接合時より求める。土留内法幅に両側の矢板厚を加算した幅であり、以下の(1)及び(2) より求めた値を比較して大きい方を掘削幅とする。また、掘削幅は、1cm未満を切り捨てし5cm単位に切り上げ丸め処理する。 以下の1)及び2)より求めた値を比較して大きい方を掘削幅とする。また、掘削幅は、1cm未満を切り捨てし5cm単位に切 なお、掘削内での管接合作業及び埋戻し作業を考慮し、最小掘削幅は地山内法寸法(土留め矢板厚は、別途加算)土留内法幅 り上げ丸め処理する。 なお、掘削内での管接合作業及び埋戻し作業を考慮し、最小掘削幅は地山内法寸法(土留め矢板厚は、別途加算)で 50cm と (土留内法幅=掘削幅-矢板厚×2、土留めを行わない場合矢板厚=0cm)で50cmとする。また、道路管理者等から指示のあ する。また、道路管理者等から指示のある場合は別に定めることができる。 る場合は別に定めることができる。 (1) 吊込み時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) (1) 吊込み時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) 吊込み掘削幅=管最大外径+2×(吊込み余裕輻+十留加算幅) 吊込み掘削幅(B1)=管最大外径+2×(吊込み余裕輻+十留加算幅) 管最大外径=受口外径(D5) 管最大外径=受口外径(D5) 吊込み余裕幅=(b1) 吊込み余裕幅=(b1) 土留加算幅=矢板厚(c)+腹起し材幅(b2) 土留加算幅=矢板厚(c)+腹起し材幅(b2) (2) 接合時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) (2) 接合時の掘削幅(計算に用いる各々の項目の標準寸法は別表による) ア ダクタイル鋳鉄管 ア ダクタイル鋳鉄管 a 外面継手(ボルト締付けタイプ A 形、K 形、KF 形、S 形、SⅡ 形、GX 形、フランジ形) a 外面継手(ボルト締付けタイプ A 形、K 形、KF 形、S 形、SⅡ形、GX 形、フランジ形) 接合掘削幅=管外径(D2)+ $2\times$ (接合作業幅(b3)+矢板厚(c)) 接合掘削幅(B2)=管外径 $(D2)+2\times(接合作業幅(b3)+矢板厚(c))$ b 外面継手(プッシュオンタイプ NS 形、GX 形) b 外面継手(プッシュオンタイプ NS 形、GX 形) 接合掘削幅=管外径(D2)+ $2\times$ (接合作業幅(b3)+矢板厚(c)) 接合掘削幅 (B2) = 管外径 (D2) +2× (接合作業幅 (b3) +矢板厚 (c))

25 年度版 頁番号 現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
736 (イ) (イ) (水の域) (水の域)	c 外面機平(アッシュオンタイプ T 形) 接合郵刷幅 (92) = 管外径 (92) +2× (接合作業幅 (63) + 欠板厚 (c)) 内面離平(10 大が 上 活め付け T F 形、 18 形) 接合網刷幅 (92) = 管外径 (92) +2× (接合作業幅 (63) + 欠板厚 (c)) イ ボリエチレン骨及び硬質能(たニルギ a 外面維子(溶液 皮状接音並にニッシュオンタイプ) 接合網刷幅 (92) = 管外径 (92) +2× (接合作業幅 (63) + 欠板厚 (c)) ウ 網管の現場溶液接合など上記以外については別途が載するものとする。 B = 土留内技幅 + 2C 土留内技幅 + 2C 土部内技幅 + 2C 土部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 上部内技幅 + 2C 10 = 会所層の

			現行(平原	成 25 年度)			改定(平成 26 年度)						
b3:	接合作業幅		,		mm		b3:接合作業幅	上 片側分	}		mm		
	継手種別		摘要		標準接合	,	継手種別		摘要		標準接合	مد ملد	
		口径	ボルト径	トルク	作業幅	備考		呼び径 (mm)	ボルト径	トルク	作業幅	備考	
		~ 75	M16	6	150			~ 75	M16	6	150		
		100~250	M20	10	250			100~250	M20	10	250		
	外面継手	300~350	M20				外面継手	300~350	M20				
	(T頭ボルト締め付け)				_	レンチ長	(丁頭ボルト締め付け)					レンチ長	
								-					
	外面継手		300~350 M20 10 250 250										
	外面継手		イプ(NS形継手管)			レバーホイスト						レバーホイスト	
	外面継手	プッシュオンタイ	プ(GX形継手管	두)	150		外面継手	プッシュオンタイプ	プ(GX形継手管	等) 75~300	150		
	外面継手(GX形継手)	~75	M16	_			外面継手(GX形継手)	~75	M16	_			
		100~250	M20		150	ラチェットレンチ長	(T頭ボルト締め付け)	100~300	M20		150	ラチェットレンチ長	
	内面継手	(U形継手管)	-		100	余裕幅	内面継手	(U形継手管)			100	余裕幅	
		700~800	セットボル	レト締め付け	350			700~800	セットボル	レト締め付け	350		
	内面継手	900~		形継手管)	450	レンチ長	内面継手	900~		形継手管)	450	レンチ長	
	ポリ管等	ポリエチエレン管			100	余裕幅		ポリエチエレン管	硬質塩化ド	ニル管	100	余裕幅	
	В		L:会所掘の掘 道路管理者等 管基礎の置き:	から指示のあ	のる場合は別に定場合は別に定	に定めることができる。 どめることができる。		道		ら指示のある		定めることができる。 めることができる。	



	第1表					(10m当り)
	管 径 (mm)		務 費 普通作業員(人)	クレーン機種	クレーン 運転時間(h)	クレーン 賃料(日)
	75以下	0.06	0.13		1. 21	_
	100	0. 07	0. 13	1 1	1. 21	_
	150	0. 09	0. 15	クレーン付	1. 34	_
	200	0. 10	0. 16	トラック	1.41	_
	250	0. 11	0. 17	4t積2.9t吊	1. 47	_
	300	0. 13	0. 19] [1.54	_
	350	0. 17	0. 25		1.61	_
	400	0. 21	0. 31		_	0.29
	450	0. 25	0. 37		_	0.30
	500	0. 29	0.43	トラッククレーン	_	0.32
	600	0.36	0. 55	油圧伸縮ジブ型	_	0.34
	700	0. 44	0. 66	4.9t吊	_	0.36
	800	0. 52	0.80		_	0.39
	900	0. 63	0. 92			0.41
	1000	0. 78	1. 17			0. 45
	1100	0. 93	1. 38		_	0.48
	1200	1. 08	1. 63		_	0.52
	1350	1. 32	2. 06	16t吊		0.56
	1500	1. 72	2. 58		_	0.61
	1600	2. 29	3. 43	ļ <u></u>	_	0.81
	1650	2. 50	3. 75		_	0.83
	1800	2. 97	4. 45			0.89
	2000	3. 15	4. 74	20t吊		0.95
	2100 2200	3. 27 3. 73	4. 89 5. 59	20tm		0. 97 1. 01
	2400	4. 36	6. 54			1. 13
	2600	5. 15	7. 50	25t吊	_	1. 24
	3. 管径350m バックホウ	般配管の標準を示 m以下の吊込み機様 (クレーン仕様)ク	くしたもので、現場 賊は現場の状況にバローラ型クレーン	の状況に応じて割り なじ、トラッククレ 機能付2.9t吊を使り 移動式クレーン構	/ーン・油圧式伸縮? 用することができる	ジブ型4.9t吊、i る。なお、バック
P46	2-3-2 吊込み据付 第2表	(人力)歩掛表				(10m当 <i>V</i>
	管 径		配 管 エ	. (人)	普通作業	美員(人)
		75以下		. 17	1	52
	1	00	1 0	. 19	0.	65

1.14

1.40

1.65

2.16

2.68

3.29

3.71

4. 22

400

450 500

600

700

800

900

1000

2-3-1 吊込み据付(機械力)歩掛表

第1表

(10m当り)

呼び径	労 清	務 費	クレーン機種	クレーン	クレーン
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	グレーンが強性	運転時間(h)	賃料(日)
75以下	0.06	0. 13		1. 21	
100	0.07	0. 13		1.21	
150	0.09	0. 15	クレーン付	1. 34	
200	0.10	0. 16	トラック	1.41	
250	0.11	0. 17	4t積2.9t吊	1. 47	
300	0.13	0. 19		1. 54	
350	0. 17	0. 25		1.61	
400	0.21	0. 31			0. 29
450	0. 25	0. 37			0.30
500	0. 29	0. 43	トラッククレーン	_	0.32
600	0.36	0. 55	油圧伸縮ジブ型	_	0.34
700	0.44	0.66	4.9t吊		0.36
800	0.52	0.80			0.39
900	0.63	0. 92			0.41
1000	0.78	1. 17			0.45
1100	0.93	1. 38			0.48
1200	1.08	1. 63			0. 52
1350	1.32	2. 06	16t吊	_	0.56
1500	1.72	2. 58	101777	_	0.61
1600	2. 29	3. 43		_	0.81
1650	2.50	3. 75		_	0.83
1800	2.97	4. 45		_	0.89
2000	3. 15	4. 74		_	0.95
2100	3. 27	4. 89	20t吊	_	0.97
2200	3.73	5. 59		_	1. 01
2400	4. 36	6. 54	25t吊	_	1. 13
2600	5. 15	7. 50	20t m		1.24

改定(平成26年度)

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。

 - 2. 本表は一般配管の標準を示したもので、現場の状況に応じて割増することができる。
 3. 呼び径350mm以下の吊込み機械は現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧式伸縮ジブ型4.9t吊、またバックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(クレーン仕様)は「クレーン等安全規制」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。

2-3-2 吊込み据付(人力)歩掛表

第2表

(10m当り)

歴 ナ /)	V 0
管工(人)	普通作業員(人)
0. 17	0.52
0. 19	0.65
0. 25	0.91
0.37	1. 13
0.50	1. 38
0.65	1.66
0.90	1. 98
1.14	2.37
1.40	2. 76
1.65	3. 17
2. 16	4.00
2.68	4.82
3. 29	5. 61
3. 71	6.42
4. 22	7. 62
	0. 19 0. 25 0. 37 0. 50 0. 65 0. 90 1. 14 1. 40 1. 65 2. 16 2. 68 3. 29 3. 71

2.37

2.76

3.17

4.00 4.82

5.61

6.42

7.62

版 t				現行(平成 25 年	.度)						改定(平成 26 年	 F度)			
	メカニカル							2-3-3 メカニカル	レ継手歩掛表						
第3表								第3表							
							(1口当り)							(1口当り)	
3	管径	配管工	普通作業員	諸雑費		モルタル充填〕		呼び径	配管工	普通作業員	諸雑費		モルタル充填]		
	(mm)	(人)	(人)	阳柱貝	配管工(人)	普通作業員(人)	モルタル量(m³)	(mm)	(人)	(人)	阳相具	配管工(人)	普通作業員(人)	モルタル量(m³)	
	75以下	0.05	0.05			_	_	75以下	0.05	0.05		_	-	_	
	100	0.05	0. 05 0. 06		_	_	_	100	0.05	0.05			_	_	
	150 200	0. 06 0. 07	0.06		<u> </u>	_		150 200	0. 06 0. 07	0. 06 0. 07		_	_	_	
	250	0.07	0.07		_	_		250	0.07	0.08			_	_	
	300	0. 09	0. 09			_		300	0. 09	0.09		_	_	_	
	350	0.09	0. 09		_	_	_	350	0.09	0.09		_	_	_	
	400	0.10	0. 10		_	_	_	400	0.10	0.10		_	_	_	
	450	0.11	0. 11		_	-	_	450	0.11	0.11		_	-	_	
	500	0.12	0. 12			-	_	500	0.12	0.12		_	_	_	
	600	0. 14	0. 14		_			600	0. 14	0.14					
	700	0. 16	0. 16		0. 20	0.07	0.0074	700	0. 16	0. 16		0. 20	0.07	0.0074	
	800 900	0. 21 0. 24	0. 21 0. 24	 労務費の1%	0. 22 0. 24	0. 07 0. 08	0. 0079 0. 0085	800 900	0. 21 0. 24	0. 21 0. 24	 労務費の1%	0. 22 0. 24	0. 07 0. 08	0. 0079 0. 0085	
	1000	0. 24	0. 24	カ伤質の1%	0. 24	0.08	0.0085	1000	0. 24	0. 24	カ 労 賃 ジ 1 % 	0. 24 0. 27	0.08	0.0085	
	1100	0. 28	0. 28		0. 27	0. 10	0.0035	1100	0. 28	0. 33		0. 27	0. 10	0.0095	
	1200	0. 39	0. 39		0. 35	0. 12	0. 0151	1200	0. 39	0.39		0.35	0. 12	0. 0151	
	1350	0.48	0. 48		0. 42	0. 14	0. 0183	1350	0. 48	0.48		0. 42	0.14	0. 0183	
	1500	0.59	0. 59		0.51	0.17	0.0209	1500	0.59	0. 59		0.51	0.17	0. 0209	
	1600	0.78	0. 78		0. 58	0.19	0.0284	1600	0.78	0.78		0. 58	0.19	0.0284	
	1650	0.83	0.83		0.61	0.20	0. 0295	1650	0.83	0.83		0.61	0.20	0. 0295	
	1800	0. 95	0. 95		0. 69	0. 23	0. 0328	1800	0. 95	0. 95		0. 69	0. 23	0. 0328	
	2000	1. 10	1. 10		0.82	0.28	0.0394	2000	1. 10	1. 10		0.82	0.28	0. 0394	
	2100 2200	1. 27 1. 37	1. 27 1. 37		0. 90 0. 99	0.30 0.33	0. 0419 0. 0449	2100 2200	1. 27 1. 37	1. 27 1. 37		0. 90 0. 99	0. 30 0. 33	0. 0419 0. 0449	
	2400	1. 58	1. 58		1. 16	0.39	0. 0449	2400	1. 58	1.58		1. 16	0.33	0. 0449	
	2600	1. 78	1. 78		1. 33	0.45	0. 0547	2600	1. 78	1. 78		1. 33	0.45	0. 0547	
	2000	1	11.10		1.00	0.10	0.001.	2000	11.10	1.,0	!	1.00	0.10	0.001.	

Ī				玛	見行(平成 25 年度)							改	定(平成 26 年度)			
	2-3-4 伸縮	可とう管設置	歩掛表(鋳鉄製	!)					2-3-4 伸縮	可とう管設置	歩掛表(鋳鉄製	!)				
		イこう 自改画: (フランジ)、S									S(挿口)、U(受					
	女口 // 八	(/ / / / / / /	(1甲口)、0(文	.() Н)				(1基当り)	按口形式一下	(//////,	3(1中日)、0(文	.() []				(1基当り
	呼び径		学系	務費		クレーン運転	クレーン		呼び径		学	 務費		クレーン運転	クレーン	
	(mm)	接合形式	配管工(人)		クレーン機種	時間(h)	賃料(日)	諸雑費	(mm)	接合形式		普通作業員(人)	クレーン機種	時間(h)	賃料(日)	諸雑費
	(/	$F \times F$	0.14	0. 16		41.4 (23)	7,11,117		(1111)	$F \times F$	0.14	0. 16		411.4 (23)	2(11(11)	
	100以下	S×S	0.15	1. 17	1	0.46	_		100以下	S×S	0.15	0. 17		0.46	_	
		$U \times U$	0.15	0.17						U×U	0.15	0. 17				
		$F \times F$	0.17	0.19]			1		$F \times F$	0.17	0. 19				1
	150	$S \times S$	0.19	0.21		0.53	_		150	$S \times S$	0.19	0. 21		0.53	_	
		$U \times U$	0.19	0.21]		U×U	0.19	0. 21				_
		$F \times F$	0.20	0. 23	1					$F \times F$	0.20	0. 23				
	200	S×S	0.22	0. 25	クレーン付	0.61	_		200	S×S	0.22	0. 25	クレーン付	0.61	_	
		U×U	0. 22	0. 25	トラック					U×U	0.22	0. 25	トラック			4
	050	F×F	0.25	0. 29	4t積2.9吊	0.71			050	F×F	0. 25	0. 29	4t積2.9吊	0.71		
	250	S×S U×U	0. 26	0.30	-	0.71	_		250	S×S	0. 26	0.30		0.71	_	
		F×F	0. 26 0. 29	0. 30 0. 33	1			1	1	U×U F×F	0. 26 0. 29	0. 30 0. 33				-
	300	S×S	0. 29	0.33		0.83	_		300	S×S	0. 29	0. 34		0.83	_	
	300	U×U	0.30	0.34		0.00				U×U	0.30	0. 34		0.00		
		F×F	0.31	0.36	1			1		F×F	0.31	0.36				1
	350	S×S	0.32	0.37		0. 97	_		350	S×S	0.32	0. 37		0.97	_	
		U×U	0.32	0.37						U×U	0.32	0. 37				
		$F \times F$	0.34	0.40				1		$F \times F$	0.34	0.40				1
	400	S×S	0.36	0.42		_	0.18		400	S×S	0.36	0. 42		_	0. 18	
		$U \times U$	0.36	0.42				労務費の		U×U	0.36	0.42				労務費(
		$F \times F$	0.38	0.46				1%		$F \times F$	0.38	0.46				1%
	450	S×S	0.41	0.49	1	_	0. 19		450	S×S	0.41	0.49		_	0. 19	
		U×U	0.41	0.49				1 1		U×U	0.41	0. 49				4
		F×F	0.43	0. 52	1					F×F	0.43	0. 52				
	500	S×S	0.46	0.55	4	_	0. 19		500	S×S	0.46	0. 55		_	0. 19	
		U×U F×F	0.46	0.55	, - , , , ,			-	1	U×U	0.46	0. 55	1 - 1. 1			4
	600	S×S	0. 57 0. 59	0. 60 0. 62	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	_	0. 21		600	F×F S×S	0. 57 0. 59	0. 60 0. 62	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型		0. 21	
	000	U×U	0.59	0.62	4.9t吊		0.21			U×U	0.59	0. 62	4.9t吊		0. 21	
		F×F	0.69	0.72	†			1		F×F	0.69	0. 72				†
	700	S×S	0.73	0.76	1	_	0. 23		700	S×S	0.73	0.76		_	0. 23	
		U×U	0.73	0.76						U×U	0.73	0. 76				
		$F \times F$	0.91	0.94	1			1		$F \times F$	0.91	0. 94				1
	800	$S \times S$	0.98	1.01	1	_	0. 26		800	S×S	0.98	1. 01		_	0. 26	
		U×U	0.98	1.01]		U×U	0.98	1.01				
		$F \times F$	1. 17	1.20				1		$F \times F$	1.17	1. 20				
	900	S×S	1.21	1. 24		_	0.30		900	S×S	1.21	1. 24		_	0.30	
		U×U	1.21	1. 24				1 1		U×U	1.21	1. 24				4
		F×F	1.39	1. 42	40. 🖽					$F \times F$	1.39	1. 42	40. 🖽			
	1000	S×S	1.44	1. 47	16t吊	_	0.33		1000	S×S	1.44	1. 47	16t吊	_	0. 33	
		U×U	1.44	1. 47	l .					U×U	1.44	1. 47				

			現行	(平成 25 年度)							改定(平成 26 年度)			
2-3-8 GX 形継	手接合歩掛表							2-3-8 GX 形組	¥手接合歩掛表						
第 7-1 表 (GX	形)							第 7-1 表 (GX							
21.						(1口当り)								(1口当り)	
呼び径		直管			異 形 管			呼び径		直管			異 形 管		
(mm)	配管工	普通作業	員 諸雑費	配管工	普通作業員	諸雑費		(mm)	配管工	普通作業	員諸雑費	配管工	普通作業員	諸雑費	
75	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%		75	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%	
100	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%		100	0.05	0.05	1%	0.05	0.05	1%	
150	0.05	0.05	1%	0.06	0.06	1%		150	0.05	0.05	1%	0.06	0.06	1%	
200	0.06	0.06	1%	0.07	0.07	1%		200	0.06	0.06	1%	0.07	0.07	1%	
250	0. 07	0.07	1%	0.08	0.08	1%		250	0.07	0.07	1%	0.08	0.08	1%	
								300	0.09	0.09	1%	0.09	0.09	1%	
2-3-9 NS 形・ 第 7-2 表 (NS		継手挿口加る	工步掛表				(1口当り)	2-3-9 NS 形· 第 7-2 表 (NS		継手挿口加工	歩掛表				
	リベ	ット式		タッピ	ンねじ式					ット式		タッピ	ンねじ式		
呼び径		S形	N	IS形		GX形	→ 	呼び径	N	IS形	N	S形	GΧ	形	諸雑費
(mm)	配管工 (人)	普通作業 (人)	製 配管工 (人)	普通作業員 (人)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	■ 阳椎貝	(mm)	配管工 (人)	普通作業 (人)	員 配管工 (人)	普通作業員 (人)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	阳作具
75	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04		75	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
100	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04		100	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
150	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04		150	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	_
200	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04		200	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	
250	0.06	0.06		0.04	0.04	0.04	労務費の5%	250	0.06	0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	労務費の
300	0.07	0.07	0.04	0.04	4			300	0.07	0.07	0.04	0.04	0.04	0.04	_
350	0.07	0.07		0.04	4			350	0.07	0.07	0.04	0.04	1		
400	0.07	0.07		0.05	4			400	0.07	0.07	0.05	0.05	1		
450	0.07	0.07	0.05	0.05				450	0.07	0.07	0.05	0.05			
c 表								c表							
	古竺	E ()	ポリエチし	ノンスリーブ	固定	バンド		呼び径(mm) 古名	音長(m)	ポリエチレ	レンスリーブ	固定	バンド	
管径(mm)	旦官	長(m)	管1本当りスリーブ長(m)	割増係数	割增	曽係数		一		章文(皿)	管1本当りスリーブ長(m)	割増係数	割增	I 係数	
50	3	5.0	4.0	0~0.2	0~	~0.5		50		3.0	4. 0	0~0.2		-0.5	
75~100		. 0	5.0	0~0.2		~0. 5		75~100		4. 0	5. 0	0~0.2		-0.5	
150~250		5. 0	6.0	0~0.2		~0.5		150~250		5. 0	6. 0	0~0.2		-0. 5	
300~350		5. 0	7. 0	0~0.2		~0.5		300~350		6. 0	7. 0	0~0.2		-0.5	
400~450		. 0	7. 0	0~0.1		~0.1		400~450		6. 0	7. 0	0~0.1		0.1	
500~1500 1600~2600		5. 0	7. 5 5. 5	0~0.1		~0.1		500~150 1600~260		6. 0 4. 0	7. 5 5. 5	0~0.1 0~0.1		0.1	
■ LEUU~2606	υ Ι 4	. 0	ე. ე	0~0.1	1 ()~	~0. 1		1 LNOO~760	u I	4. U	n n	. 0~0	1 ()~	0.1	

本管口径×取出口径 特殊作業員(人) 配管工(人) 普通作業員(人) 機械損料(日) 諸維費 $6.75 \times 6.75 \times 6.75 \times 0.27 \times 0.56 \times 0.27 \times 0.56 \times 0.21 \times 0.56 \times 0.22 \times 0.55 \times 0.27 \times 0.56 \times 0.27 \times 0.65 \times 0.27 \times 0.65 \times 0.22 \times 0.56 \times 0.22 \times 0.22 \times 0.56 \times 0.22 \times 0$	所当り) 推費 ※5%
第11 表 本管口径×取出口径 特殊作業員(人) 配管工(人) 普通作業員(人) 機械損料(日) 諸雄貴 人 1.63 0.21 労務5% 人 1.63 0.21 労務5% 人 1.63 0.21 労務5% 人 1.63 0.21 リカリン クリン	生費 ※55%
本管口径×取出口径 特殊作業員(人) 配管工(人) 普通作業員(人) 機械損料(日) 諸報費 大きか。 75 × 6 75 0.27 0.56 1.63 0.21 n 5	生費 ※55%
ϕ 75× ϕ 75	等 5%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	等 5%
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	'
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$,
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$,
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$,
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$,
$\phi \ 300 \times \phi \ 200$ 0.63 0.93 2.23 0.27 " $\phi \ 200 \times \phi \ 150$ 0.30 0.75 1.97 0.25	,
	1
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	1
	1
$\phi \ 250 \times \phi \ 40$ 0.48 0.79 1.64 0.14	,
$\phi 250 \times \phi 50$	
Ψ = 0 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	'
V-00V-10	'
Ψ200Ψ100 0.00 2.01 0.20	
Ψ2001-Ψ200 01.00 01.00 01.21	1
$\phi 300 \times \phi 50$	
ψουνν ψ το στου στου στου στου στου στου στου σ	
φουν. φτου στου στου στου στου στου στου στου σ	1
ψουν ψιου υ. σι σ. σι	,
$\phi \ 300 \times \phi \ 200$ 0. 93 2. 23 0. 21	

度版 号			現行(平成 25 年	F度)			改定(平成 26 4	年度)
		 掛表			2-3-14 管明示テープ			
ı	第12表				第12表			
				(100m当り)			(100m当り)
	管口径・寸法	普通作業員(人)	天端明示(の有無	呼び径・寸法(mm)	普通作業員(人)	天端明示(り有無
	φ 75×4000	0.11	無		φ 75×4000	0.11	無	
	φ 100×4000	0.12	無		φ 100×4000	0.12	無	
	φ 150×5000	0.11	無		$\phi 150 \times 5000$	0.11	無	
	φ 200×5000	0.12	無		φ 200×5000	0.12	無	
	φ 250×5000	0.12	無		$\phi 250 \times 5000$	0.12	無	
	φ 300×6000	0.11	無		φ 300×6000	0.11	無	
	$\phi 350 \times 6000$	0.12	無		φ 350×6000	0.12	無	
	$\phi 400 \times 6000$	0.17	有		φ 400×6000	0. 17	有	
	$\phi 450 \times 6000$	0.17	有		φ 450×6000	0.17	有	
	$\phi 500 \times 6000$	0.18	有		φ 500×6000	0.18	有	
	φ 600×6000	0.19	有		φ 600×6000	0. 19	有	
	φ 700×6000	0. 29	有		φ 700×6000	0. 29	有	
	φ 800×6000	0.31	有		φ 800×6000	0.31	有	
	φ 900×6000	0.32	有		φ 900×6000	0.32	有	
	φ 1000×6000	0.33	有		$\phi 1000 \times 6000$ $\phi 1100 \times 6000$	0. 33 0. 35	<u>有</u> 有	
	φ 1100×6000	0.35	有		φ 1200×6000 φ 1200×6000	0.36	有	
	φ 1200×6000	0.36	有		φ 1350×6000	0.38	有	
	$\phi 1350 \times 6000$	0.38	有		φ 1500×6000	0. 49	有	
	φ 1500×6000	0.49	有		φ 1600×4000	0. 64	有	
	φ 1600×4000	0.64	有		φ 1600×1000 φ 1600×5000	0. 59	有	
	φ 1600×5000	0.59	有		φ 1650×4000	0.66	有	
	φ 1650×4000	0.66	有		φ 1650×5000	0.60	有	
	φ 1650×5000	0.60	有		φ 1800×4000	0.68	有	
	φ 1800×4000	0.68	有		φ 1800×5000	0.62	有	
	φ 1800×5000	0. 62	有		φ 2000×4000	0.83	有	
	$\phi 2000 \times 4000$ $\phi 2000 \times 5000$	0. 83 0. 76	有 有		φ 2000×5000	0.76	有	
	0 4 4 4 1 - 47 65 1-105				2-4-1-1 小口径管切断			
	2-4-1-1 小口径管切断 第 1-2 表	歩掛表	(1 箇所当り)	第 1-2 表	f歩掛表	(1 箇所当り
				1 箇所当り) 雑材料	第 1-2 表			
	第 1-2 表		(普通作業員(人) 0.01	1 箇所当り) 雑材料			(普通作業員(人) 0.01	1箇所当り 諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)		第 1-2 表 呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13	配管工(人)	普通作業員(人) 0.01		第 1-2 表 呼び径 (mm) 13	配管工(人) 0.01	普通作業員(人) 0.01	1箇所当り
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20	配管工(人) 0.01 0.01	普通作業員(人) 0.01 0.01		第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20	配管工(人) 3 0.01 0.01	普通作業員(人) 0.01 0.01	
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25	配管工(人) 0.01 0.01 0.01	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01	諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01	諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65 80	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65 80 100	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65 80 100	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02	諸雑費
	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	雑材料	第 1-2 表 呼び径 (mm) 13 20 25 32 40 50 65 80	配管工(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.02 0.02 0.02 0.03 0.03	普通作業員(人) 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	諸雑費

		現行(平成 25 年	丰 度)				改定(平成 26 年	手度)
2-4-1-2 小口径管ね	じ切り歩掛表				2-4-1-2 小口径管ねじ	切り歩掛表		
第 1-3 表		(1 箇所当り)		第 1-3 表		(1 箇所当り)
呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	雑材料	li	呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	諸雑費
13	0.03	0.02	↑ ★世代] 시기		13	0.03	0.02	阳作具
20	0.03	0.02			20	0. 03	0. 02	
25	0.04	0.03			25	0. 04	0. 03	
32	0.04	0.04			32	0.04	0.04	
40	0.04	0.04			40	0.04	0.04	
50	0.05	0.05	労務費の		50	0. 05	0.05	労務費の
65	0.05	0.05	3%		65	0.05	0. 05	3%
80	0.05	0.05			80	0.05	0. 05	
100	0.06	0.06			100	0.06	0.06	
125	0.07	0.07			125	0.07	0.07	
150	0.08	0.08			150	0.08	0.08	
2-4-1-3 小口径管ね 第 1-4 表	じ込み接合歩掛表		(2口当り)		2-4-1-3 小口径管ねじ 第 1-4 表	込み接合歩掛表		(2口当り)
呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	雑材料		呼び径 (mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	諸雑費
13	0.02	0.04			13	0.02	0.04	
20	0.02	0.04			20	0.02	0.04	
25	0.02	0.04			25	0.02	0.04	
32	0.02	0.04			32	0.02	0.04	
40	0.02	0.04	学数弗の		40	0.02	0.04	労務費の
50	0.02	0.05	労務費の 3%		50	0.02	0.05	カ伤負の 3%
150	0.05	0.08			150	0.05	0.08	
65 80 100 125 150	0. 02 0. 03 0. 03 0. 03 0. 05	0. 05 0. 05 0. 06 0. 07 0. 08	3%		65 80 100 125 150	0. 02 0. 03 0. 03 0. 03 0. 05	0. 05 0. 05 0. 06 0. 07 0. 08	3%

-					現行(平成 25 年	達 度)							改定(平成 26 年	F度)		
	2-4-4 電気溶								2-4-4 電気浴	容接歩掛表						
	(1) 呼び厚さ	A 種							(1) 呼び厚さ	A 種						
	第4表								第4表							
	77 1 2							(1箇所当り)								(1箇所当り
			ILE.		労務費		++*心 弗. 7. :	1200 日 1日水1			IE E		労務費		まれた事。 (++)い 書	- T. マドロ 日 +日小门
	呼び径 (mm)	鋼管規格	板厚 (mm)	溶接工	特殊作業員	世話役		び器具損料	呼び径 (mm)	鋼管規格	板厚 (mm)	溶接工	特殊作業員	世話役	- 諸雑費(材料費	(及い谷具頂科)
	(IIIII)			(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合	(mm)		(IIIII)	(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合
	80	STW370	4. 5	0.20	0.20	0.20	1		80	STW370	4. 5	0.20	0.20	0.20	_	
	100	IJ	4.9	0. 22	0. 22	0. 22	1		100	11	4. 9	0. 22	0. 22	0. 22	1	
	125]]	5. 1	0. 25	0. 25	0. 25	1		125	"	5. 1	0. 25	0. 25	0. 25	4	
-	150	"	5. 5	0. 26	0.26	0. 26	-		150	11	5. 5	0. 26	0.26	0. 26	4	
-	200 250	JJ	6.4	0. 33 0. 38	0.66 0.76	0. 33	1		200 250	"	6. 4	0. 33 0. 38	0.66 0.76	0. 33	-	
	300	"	6. 4 6. 4	0. 30	0.76	0. 30	┛ 労務費の2.0%	労務費の5.0%	300	"	6. 4	0. 38	0.76	0. 38	┛ 労務費の2.0%	労務費の5.0%
	350	STW400	6. 0	0.41	0. 82	0.47	J 7为 頁 072.0/l	刀幼貝 炒 0.0/0	350	STW400	6. 0	0.41	0. 82	0.47		777万頁 070.0/0
	400	JI	6.0	0.49	0.98	0.49	†		400	JI 1100	6. 0	0.49	0.98	0.49	†	
	450	"	6. 0	0. 50	1.00	0.50	†		450	"	6. 0	0. 50	1.00	0. 50	†	
	500	"	6. 0	0. 55	1. 10	0.55	†		500	"	6. 0	0.55	1. 10	0.55	1	
	600	//	6.0	0. 63	1. 26	0.63	-		600	"	6.0	0.63	1. 26	0.63	1	
- 11	700	IJ	7.0	0.92	1.84	0.92	1		700	IJ	7.0	0.92	1.84	0.92	1	
	800	IJ	8.0	1.01	2.02	IJ			800	"	8.0	1.01	2.02	"		
	900	JJ	8.0	1. 13	2.06	11]		900	IJ	8.0	1.13	2.06	IJ]	
	1000	IJ	9.0	1. 39	2. 29	0.93			1000	IJ	9.0	1.39	2. 29	0.93		
- [[1100	IJ	10.0	1. 69	2.54	1.03]		1100	IJ	10.0	1.69	2.54	1.03]	
	1200	IJ	11.0	2.03	3.05	1.04	労務費の4.5%	労務費の9.5%	1200	IJ	11.0	2.03	3.05	1.04	労務費の4.5%	労務費の9.5%
	1350	"	12.0	2. 51	3.77	IJ	1		1350	IJ	12.0	2.51	3.77	"	1	
	1500	IJ	14.0	3. 31	4. 41	1.21	1		1500	II.	14. 0	3. 31	4. 41	1.21	_	
	1600	"	15.0	3. 85	5. 13	1. 28	1		1600	"	15.0	3.85	5. 13	1. 28	_	
	1650	"	15. 0	3. 97	5. 29	1. 32			1650	"	15. 0	3. 97	5. 29	1. 32		
	1800	"	16. 0	3. 69	4. 92	1. 23	-		1800))))	16. 0	3. 69	4. 92	1. 23	4	
	1900 2000	II	17. 0 18. 0	4. 00 4. 35	5. 20 5. 22	1. 29 1. 31	1		1900 2000	"	17. 0 18. 0	4. 00 4. 35	5. 20 5. 22	1. 29 1. 31	1	
	2100	"	19. 0	5. 01	6. 01	1.50	1		2100	"	19. 0	5. 01	6.01	1. 50	1	
 	2200	"	20.0	5. 74	6.89	1.72	†		2200	"	20. 0	5. 74	6.89	1.72	1	
 	2300	JJ.	21.0	6. 53	7.84	1. 96	†		2300	"	21. 0	6. 53	7. 84	1. 96	1	
	2400	"	22.0	7. 38	8.86	2. 21	・ 労務費の6.5%	労務費の12.5%	2400	IJ	22. 0	7. 38	8.86	2. 21	- 労務費の6.5%	労務費の12.5%
	2500	IJ	23.0	8.30	9. 96	2.49	1		2500	IJ	23.0	8.30	9.96	2.49	1	
	2600	IJ	24.0	9. 30	11.16	2.79	1		2600	IJ	24. 0	9.30	11.16	2.79]	
	2700	IJ	25. 0	10.36	12.43	3.11]		2700	IJ	25. 0	10.36	12. 43	3. 11]	
	2800	IJ	26.0	11.50	13.80	3.45]		2800	IJ	26.0	11.50	13.80	3.45]	
	2900	IJ	27.0	12.72	15. 26	3.82	1		2900	IJ	27.0	12.72	15. 26	3.82	_	
	3000	IJ	29.0	14. 90	17.88	4. 47			3000	IJ	29.0	14.90	17.88	4.47		

頁番号 P61 (2) 呼び厚 第 5 表				現行(平成 25 年	[度]							改定(平成 26 年	重度)		
	さ B 種							(2) 呼び厚さ	B 種						
								第5表							
							(1箇所当り)								(1箇所当り)
呼び径		板厚		労務費		材料費及7	12. 12. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13	呼び径		板厚		労務費		諸雑費(材料費	及び器具指料)
(mm)	鋼管規格	(mm)	溶接工	特殊作業員	世話役			(mm)	鋼管規格	(mm)	溶接工	特殊作業員	世話役		
- 00	CTWOO	4.0	(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合	- 00	CTWOO	4.0	(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合
80 100	STW290	4. 2 4. 5	0. 18 0. 20	0. 18 0. 20	0. 18 0. 20	4		80 100	STW290	4. 2 4. 5	0. 18 0. 20	0. 18 0. 20	0. 18 0. 20	-	
125	"	4. 5	0. 20	0. 20	0. 20	+		125	"	4. 5	0. 20	0. 20	0. 20	1	
150	"	5. 0	0. 24	0. 24	0. 24	■ 労務費の2.0%	労務費の5.0%	150	"	5. 0	0. 24	0. 24	0. 24	- 労務費の2.0%	労務費の5.0%
200	"	5.8	0. 29	0.58	0. 29	1		200	"	5.8	0.29	0.58	0. 29		
250	"	6.6	0.40	0.80	0.40]		250	IJ	6.6	0.40	0.80	0.40		
300	IJ	6.9	0.45	0.90	0.45			300	11	6.9	0.45	0.90	0.45		
350						4		350						1	
400						4		400						-	
450 500						-		450 500						-	
600						1		600				 		1	
700	STW400B	6.0	0. 75	1.50	0.75	労務費の2.0%	労務費の5.0%	700	STW400B	6.0	0.75	1. 50	0.75	労務費の2.0%	労務費の5.0%
800	ıı	7. 0	0. 91	1. 82	0.83	7		800	II.	7. 0	0. 91	1.82	0.83	2	7. 7. 7. 7. 7. 7.
900	IJ	7.0	1.02	1.86	0.83]		900	IJ	7.0	1.02	1.86	0.83]	
1000	IJ	8.0	1. 26	2.08	0.84]		1000	II	8.0	1.26	2.08	0.84		
1100	IJ	8.0	1. 39	2.09	0.85	4		1100	IJ	8.0	1. 39	2.09	0.85	1	
1200	"	9.0	1. 67	2.51	0.85	4		1200	"	9.0	1. 67	2.51	0.85	4	
1350 1500))])	10.0	2. 08 2. 54	3. 12 3. 39	0.86	-		1350 1500	11	10.0	2. 08 2. 54	3. 12 3. 39	0. 86 0. 93	-	
1600	"	11. 0 12. 0	2. 98	3. 39	0. 93	1		1600	"	11. 0 12. 0	2. 98	3. 39	0. 93	1	
1650	"	12. 0	3. 07	4. 09	1. 02	1		1650	"	12. 0	3. 07	4. 09	1. 02	†	
1800	"	13. 0	3. 66	4. 88	1. 22	1		1800	"	13. 0	3. 66	4. 88	1. 22	1	
1900	"	14.0	4. 21	5. 47	1. 36	労務費の5.5%	労務費の11.0%	1900	"	14.0	4. 21	5. 47	1. 36	労務費の5.5%	労務費の11.0%
2000	IJ	15.0	4.82	5. 78	1.45]		2000	II	15.0	4.82	5. 78	1.45]	
2100	IJ	16.0	4. 31	5. 17	1. 29	4		2100	IJ	16.0	4. 31	5. 17	1. 29	4	
2200	11	16. 0	4. 51	5. 41	1. 35	4		2200	11	16.0	4. 51	5. 41	1. 35	4	
2300 2400	"	17. 0 18. 0	4. 85 5. 22	5. 82 6. 26	1. 46 1. 57	-		2300 2400	11	17. 0 18. 0	4. 85 5. 22	5. 82 6. 26	1. 46 1. 57	1	
2500	"	18. 0	5. 44	6. 53	1.63	1		2500	"	18. 0	5. 44	6. 53	1. 63	1	
2600	"	19. 0	6. 21	7. 45	1.86	1		2600	"	19. 0	6. 21	7. 45	1.86	1	
2700	11	20.0	7.05	8.46	2. 12			2700	11	20.0	7.05	8.46	2. 12]	
2800	"	21.0	7. 96	9. 55	2.39]		2800	IJ	21.0	7. 96	9. 55	2.39]	
2900	"	21.0	8. 25	9. 90	2. 48	_		2900	IJ	21.0	8. 25	9. 90	2. 48	_	
3000	"	22.0	9. 24	11.09	2.77			3000	11	22.0	9. 24	11.09	2.77	ļ	

					現行(平成 25 年	度)							改定(平成 26 年	度)		
		容接歩掛表(裏)	当溶接)							容接歩掛表(裏:	当溶接)					
Ē	第6表							(1箇所当り)	第6表							(1箇所当り
					労務費		Libiol ## TZ						労務費		74-17-44 / L Lital 44	
	呼び径 (mm)	鋼管規格	板厚 (mm)	溶接工	特殊作業員	世話役	材料費及	び器具損料	呼び径 (mm)	鋼管規格	板厚 (mm)	溶接工	特殊作業員	世話役	■ 諸雑費(材料費	なび器具損料)
				(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合				(人)	(人)	(人)	交流溶接の場合	直流溶接の場合
	800	STW400	8.0	1.04	2.08	0.95	兴 李典 ⋒	労務費の6.5%	800	STW400	8.0	1.04	2. 08	0.95	労事の9 FM	労務費の6.5%
	900	11	8.0	1. 16	2. 11	0.95	- 労務費の3.5%	労務費の7.0%	900	11	8.0	1. 16	2. 11	0.95	- 労務費の3.5%	労務費の7.0%
	1000	IJ	9.0	1. 46	2.41	0. 98	労務費の4.0%	労務費の8.0%	1000	"	9. 0	1.46	2. 41	0.98	労務費の4.0%	労務費の8.0%
	1100	IJ	10.0	1.82	2.73	1. 11	労務費の4.5%	労務費の9.0%	1100	"	10.0	1.82	2.73	1. 11	労務費の4.5%	労務費の9.0%
	1200	IJ	11.0	2. 20	3. 30	1. 12	- 労務費の5.0%	労務費の9.5%	1200	"	11.0	2. 20	3.30	1. 12	- 労務費の5.0%	労務費の9.5%
	1350	IJ	12.0	2.74	4.11	1. 14	→ 为伤負♡フ5.0%	労務費の10.0%	1350	"	12.0	2.74	4. 11	1. 14	→ 为伤負♡5.0%	労務費の10.0
	1500	11	14. 0	3. 68	4. 91	1. 35	- 労務費の5.5%		1500	11	14. 0	3.68	4. 91	1. 35	- 労務費の5.5%	
	1600	IJ	15. 0	4. 33	5. 77	1. 44	■ 力伤負の3.3%	兴 李弗の11 00/	1600	"	15. 0	4. 33	5. 77	1. 44	■ カ伤質♡3.3%	・労務費の11.0
	1650	11	15. 0	4. 43	5. 91	1.48		- 労務費の11.0%	1650	11	15. 0	4. 43	5. 91	1. 48		力務質の11.0
	1800	11	16.0	5. 28	7.04	1. 76	労務費の6.0%		1800	11	16. 0	5. 28	7.04	1.76	労務費の6.0%	
	1900	IJ.	17. 0	6. 10	7. 93	1. 97		労務費の11.5%	1900	11	17.0	6. 10	7. 93	1. 97		労務費の11.5
	2000	II	18. 0	6. 91	8. 29	2. 07			2000	11	18.0	6.91	8. 29	2. 07		
	2100	IJ.	19. 0	7. 83	9.40	2. 35	1	公 李書 ②10 00/	2100	11	19.0	7.83	9. 40	2. 35	1	兴 李典 の10 0
	2200	11	20.0	8.85	10.62	2. 66		労務費の12.0%	2200	JJ	20.0	8.85	10.62	2.66		労務費の12.0
	2300	11	21.0	9. 95	11. 94	2. 99			2300	JJ	21.0	9.95	11.94	2.99		
	2400	11	22.0	11. 15	13. 38	3. 35			2400	11	22.0	11. 15	13. 38	3. 35		
	2500	11	23.0	12. 44	14. 93	3. 73	労務費の6.5%		2500	11	23.0	12.44	14. 93	3.73	労務費の6.5%	
	2600	IJ.	24. 0	13. 83	16.60	4. 15]		2600	11	24. 0	13.83	16.60	4. 15		
	2700	IJ.	25. 0	15. 31	18. 37	4. 59		労務費の12.5%	2700	11	25. 0	15. 31	18. 37	4. 59		労務費の12.5
	2800	11	26. 0	16. 88	20. 26	5. 06			2800	"	26. 0	16.88	20. 26	5.06		
	2900	11	27.0	18. 58	22. 30	5. 57			2900	"	27. 0	18. 58	22. 30	5. 57		
	3000	IJ	29.0	21. 59	25. 91	6. 48]		3000	"	29. 0	21.59	25. 91	6.48		

頁番号 P64 2-4-6 ステ 第8表 呼び径	・ンレス鋼管雷気		現行(平成	25 年度)						改定(平成	26 年度)		
		溶接歩掛表					2-4-6 ステン	レス鋼管電気	[[溶接歩掛表				
呼び径							第8表						
呼び径						(1箇所当り)							(1箇所当り)
1,1 0 圧	板厚		労 務 費		材料費及	び器具損料	呼び径	板厚		労 務 費		諸雑費(材料費	及び器具指料)
(mm)	(mm)	ステンレス溶接工	特殊作業員	世話役			(mm)	(mm)	ステンレス溶接工		世話役		
	3.0	(人) 0.22	(人) 0.44	(人) 0.22	父流浴接の場合	直流溶接の場合		3. 0	(人)	(人) 0.44	(人) 0. 22	交流溶接の場合	直流浴接の場合
80	4. 0	0. 26	0. 44	0. 22			80	3. 0 4. 0	0. 26	0. 44	0. 22		
	5. 5	0. 32	0. 64	0.32	1			5. 5	0.32	0. 64	0. 32	1	
	3. 0	0. 25	0.50	0. 25]			3. 0	0.25	0.50	0. 25]	
100	4. 0	0.30	0.60	0.30			100	4.0	0.30	0.60	0.30		
	6. 0	0.44	0.88	0.44				6. 0	0.44	0.88	0.44		
105	3. 4	0.30	0.60	0.30	1		105	3. 4	0.30	0.60	0.30		
125	5. 0 6. 6	0. 40 0. 57	0. 80 1. 14	0. 40 0. 57	-		125	5. 0 6. 6	0. 40 0. 57	0. 80 1. 14	0. 40 0. 57	1	
	3. 4	0.32	0. 64	0.32	-			3. 4	0.32	0. 64	0. 32	1	
150	5. 0	0. 42	0.84	0. 42	1		150	5. 0	0.42	0.84	0. 42	1	
	7. 1	0.64	1. 28	0.64	1			7. 1	0.64	1. 28	0.64	1	
	4. 0	0.42	0.84	0.42]			4.0	0.42	0.84	0.42		
200	6. 5	0.69	1. 38	0.69			200	6. 5	0.69	1. 38	0.69		
	8. 2	0.88	1. 76	0.88	労務費の6.0%	労務費の9.0%		8. 2	0.88	1. 76	0.88	労務費の6.0%	労務費の9.0%
250	4. 0	0. 47	0.94	0. 47	_		250	4. 0	0.47	0.94	0. 47		
250	6. 5 9. 3	0. 79	1. 58 2. 28	0. 79 1. 14	1		250	6. 5 9. 3	0. 79 1. 14	1. 58 2. 28	0. 79 1. 14	1	
	4. 0	0. 54	1. 08	0. 54	1			4. 0	0. 54	1. 08	0. 54	1	
	4. 5	0.58	1. 16	0. 58	1			4. 5	0.58	1. 16	0. 58	1	
300	6. 5	0.90	1.80	0.90]		300	6. 5	0.90	1.80	0.90		
	10. 3	1.49	2. 98	1. 49				10.3	1.49	2. 98	1. 49		
350	5. 0	0.66	1. 32	0.66	1		350	5. 0	0.66	1. 32	0.66		
	6. 0	0.87	1. 74	0. 87 0. 72				6. 0	0.87	1. 74	0. 87 0. 72		
400	5. 0 6. 0	0. 72 0. 92	1. 44 1. 84	0.72	1		400	5. 0 6. 0	0. 72 0. 92	1. 44 1. 84	0. 72	•	
	5. 0	0. 76	1. 52	0. 76	†			5. 0	0.76	1. 52	0. 76	1	
450	6. 0	0.97	1. 94	0.97	1		450	6.0	0.97	1. 94	0. 97	1	
500	5. 5	0.90	1.80	0.90]		500	5. 5	0.90	1.80	0.90		
300	6. 0	1.06	2. 12	1.06]		300	6.0	1.06	2. 12	1. 06		
600	6. 0	1. 15	2. 30	1. 15	_		600	6. 0	1. 15	2. 30	1. 15		
	6. 5	1. 25	2. 50	1. 25	-			6. 5	1. 25	2. 50	1. 25	-	
700	6. 0 7. 0	1. 30 1. 52	2. 60 3. 04	1. 30 1. 52	1		700	6. 0 7. 0	1. 30 1. 52	2. 60 3. 04	1. 30 1. 52		
	8. 0	1. 75	3. 50	1. 75	1			8. 0	1.75	3. 50	1. 75	1	

25 年度版 現行(平成25年度) 頁番号 P65

> 内面:液状エポキシ樹脂塗装(0.3mm、0.5mm 塗) 外面:タールエポキシ(2回塗り、0.3 mm)

第9表

2-4-7 内外面塗装歩掛表

(1箇所当り)

$\ \lceil$				内 面 🥸	金 装 費			外	面 塗 装	費
	呼		0.3mm			0.5mm		2[回塗り(0.3m	m)
ı	び	労務費	材料	斗費	労務費	材料	斗費	労務費	材料費	
	径	塗装工	エポキシ	消耗品及び	塗装工	エポキシ	3年代ロガイド	塗装工	タール	消耗品及び
ı	(mm)		樹脂	用料品及び 工具損料		樹脂	消耗品及び 工具損料		エポキシ	工具損料
		(人)	(kg)	174XII	(人)	(kg)	17,0(T)	(人)	(kg)	
ı	80	_	_	_	_	_	_	0.10	0.06	
ı	100	_	_	_	_	_	_	0.10	0.07	
ı	125	_	_	_	_	_	_	0.10	0.09	
l	150	_	_	_	_	_	_	0.10	0.10	
l	200	_	_	_	_	_	_	0.10	0.14	
l	250	_	_	_	_	_	_	0.11	0. 17	
I	300	_	_	_	_	_	_	0.11	0.20	
ĺ	350	_	_	_	_	_	_	0.11	0.22	
ĺ	400	_	_	_	_	_	_	0.18	0. 26	
l	450	_	_	_	_	_	_	0.18	0. 29	材料費の
ı	500	_	_	_	_	_	_	0.19	0.32	75%
L	600	_	_		_			0.19	0.38	
Γ	700	0.27	0.37		0.40	0.62		0.20	0.45	
l	800	0.40	0.60		0.60	1.00		0.27	0.61	
l	900	0.40	0.68		0.60	1. 13		0.27	0.69	
ı	1000	0.60	0.75	材料費の	0.90	1. 26	材料費の	0.40	0.77	
ı	1100	0.60	0.83	75%	0.90	1.38	75%	0.40	0.84	
ı	1200	0.60	0.90		0.90	1.51		0.40	0.92	
ı	1350	0.60	1.02		0.90	1.70		0.40	1.03	
l	1500	0.60	1. 13		0.90	1.88		0.50	1. 15	
l	1600	0.60	1.70		0.90	2.85		0.50	1.74	
L	1650	0.60	1.76		0.90	2. 94		0.50	1.79	
ľ	1800	0.60	1. 92		0.90	2. 21		0.50	1. 95	
l	1900	1.00	2.03		1.50	3. 38		0.83	2.06	
l	2000	1.00	2. 13		1.50	3. 56		1.00	2. 17	
l	2100	1.00	2. 24		1.50	3.74		1.00	2. 28	
ĺ	2200	1.00	2. 34		1.50	3.92		1.00	2. 39	
ĺ	2300	1.20	2. 45	材料費の	1.80	4.09	材料費の	1.20	2.50	材料費の
l	2400	1.20	2. 56	100%	1.80	4. 27	100%	1.20	2.60	100%
ĺ	2500	1.20	2.66		1.80	4. 45		1.20	2.71	
l	2600	1.20	2.77		1.80	4. 63		1.20	2.82	
١	2700	1.50	2.88		2.25	4.80		1.50	2. 93	
I	2800	1.50	2. 98		2.25	4. 98		1.50	3.04	
I	2900	1.50	3.09		2. 25	5. 16		1.50	3. 15	
	3000	1.50	3. 19		2.25	5. 33		1.50	3. 26	

- 備考 1. 内外面塗装費には、ウエス、マスク、ワイヤブラシ、手袋、塗装刷毛、その他雑品工具類を含む。
 - 2. 口径700mm以下については現場状況によりオールステンレス、管端ステンレス、管端ステンレスクラット等を
 - 3. 塗装口数が著しく少ない場合は、別途算出することが出来る。
 - 4. 外面塗装がエポキシ樹脂の場合、タールエポキシ樹脂をエポキシ樹脂と読み替える。

2-4-7 内外面塗装歩掛表

内面:液状エポキシ樹脂塗装(0.3mm、0.5mm 塗)

外面:タールエポキシ(2回塗り、0.3 mm)

第9表

(1箇所当り)

		内 面	塗 装 費	(現場塗装幅	第240mm)		外	面 塗 装	費
呼		0.3mm			0.5mm		2[可塗り(0.3㎜	m)
び	労務費	材料	斗費	労務費	材料		労務費	材料費	諸雑費
径	塗装工	エポキシ	諸雑費 (消耗品	塗装工	エポキシ	諸雑費 (消耗品	塗装工	タール	(消耗品
(mm)		樹脂	(消耗品 及び		樹脂	(消耗品 及び		エポキシ	及び エロ Halta
	(人)	(kg)	及び 工具損料)	(人)	(kg)	及び 工具損料)	(人)	(kg)	工具損料)
80	_	_	_	_	_	_	0.10	0.06	
100	l –	_	_	_	_	_	0.10	0.07	
125	l –	_	_	_	_	_	0.10	0.09	
150	l –	_	_	_	_	_	0.10	0.10	
200	_	_	_	_	_	_	0.10	0.14	
250	-	_	_	_	_	_	0.11	0. 17	
300	-	_	_	_	_	_	0.11	0. 20	
350	-	_	_	_	_	_	0.11	0. 22	
400	-	_	_	_	_	_	0.18	0. 26	
450	-	_	_	_	_	_	0.18	0. 29	材料費の
500	_	_	_	_	_	_	0.19	0.32	75%
600	-	_	_	_	_	_	0.19	0.38	
700	0. 27	0.37		0.40	0. 62		0.20	0.45	
800	0.40	0.60		0.60	1.00		0. 27	0.61	
900	0.40	0. 68		0.60	1. 13		0.27	0.69	
1000	0.60	0.75		0.90	1. 26		0.40	0.77	
1100	0.60	0.83	材料費の	0.90	1. 38	材料費の	0.40	0.84	
1200	0.60	0.90	75%	0.90	1. 51	75%	0.40	0. 92	
1350	0.60	1. 02		0.90	1. 70		0.40	1. 03	
1500	0.60	1. 13		0.90	1. 88		0.50	1. 15	
1600	0.60	1. 21		0.90	2. 01		0.50	1. 74	
1650	0.60	1. 24		0.90	2. 08		0.50	1. 79	
1800	0.60	1. 36		0.90	2. 27		0.50	1. 95	
1900	1.00	1. 43		1.50	2. 39		0.83	2.06	
2000	1.00	1. 51		1.50	2. 52		1.00	2. 17	
2100	1.00	1. 58		1.50	2. 64		1.00	2. 28	
2200	1.00	1. 66	- # 이너나	1.50	2. 77	# Palat #	1.00	2. 39	# Polor#
2300	1. 20	1. 73	材料費の	1.80	2. 90	材料費の	1. 20	2. 50	材料費の
2400	1. 20	1. 81	100%	1.80	3. 02	100%	1. 20	2. 60	100%
2500	1.20	1. 88		1.80	3. 15		1. 20	2. 71	
2600	1. 20	1. 96		1.80	3. 27		1. 20	2. 82	
2700	1.50	2. 04		2. 25	3. 40		1.50	2. 93	
2800	1.50	2. 11		2. 25	3. 53		1.50	3. 04	
2900	1.50	2. 19		2. 25	3. 65		1.50	3. 15	
3000	1.50	2. 26		2.25	3. 78		1.50	3. 26	

改定(平成26年度)

- 備考 1. 本歩掛表は現場塗装幅を240mmとして算出したものである。その他の塗装幅の場合は別途算出すること。なお、 現場塗装幅240mm以上340mm以下の場合の労務費は、本歩掛表の値を適用できる。
 - ・エポキシ樹脂塗装 (0.3mm塗) のエポキシ樹脂使用量 (kg) = 塗装面積 (m2) ×1.00 (kg/m2)
 - ・エポキシ樹脂塗装 (0.5mm塗) のエポキシ樹脂使用量 (kg) =塗装面積 (m2) ×1.67 (kg/m2)
 - 2. 内外面塗装費については、ウエス、マスク、ワイヤブラシ、手袋、塗装刷毛、その他雑品工具類を含む。
 - 3. <u>呼び径700mm</u>以下については現場状況によりオールステンレス、管端ステンレス、管端ステンレスクラット等を 考慮すること。
 - 4. 塗装口数が著しく少ない場合は、別途算出することが出来る。
 - 5. 外面塗装がエポキシ樹脂の場合、タールエポキシ樹脂をエポキシ樹脂と読み替える。

面塗装費			
5冷壮弗			
京			
11 坐衣貝			
	0.5mm		
な ま	軸方向部(1㎡当	(+ n)	
労務費			
塗装工	エポキシ	諸雑費 (消耗品	
(人)	樹脂 (kg)	及び 工具損料)	
_		ナナVI 弗 の	
1. 60	2. 16	75%	
ナのでなる 2	その他の浄壮紀	の担合	
上340mm以下の	での他の坐表幅)場合の労務費に	v) 物 ロ は、	
の使用量=涂料	装面積×2 16kg	$/\mathrm{m}^2$	
・ 人の主 主。	жшү <u>ң</u> ха. 10115	, 111	
	:ものである。 (上340mm以下 <i>0</i>	1.60 2.16 1.60 2.16 thorophysical content of the state	1.60 2.16 材料費の 75%

頁番号			現行(平	成 25 年度)	成 26 年度)	改定(平原
		表(ジョイントコー	F)			長(ジョイントコート)
	 熱収縮系タイプ 					
	第 10 表					
				(1箇所当り)	(1箇所当り)	
	呼び径	塗装工	ジョイントコート		諸雑費	塗装工 ジョイントコート
				消耗品及び工具損料	(消耗品及び工具損料)	(熱収縮タイプ)
	(mm)	(人)				(人) (個)
	80	0.03	1.00	材料費の5%	材料費の5%	0.03 1.00
	100 125	0. 03 0. 04	1. 00 1. 00		 	0. 03 1. 00 0. 04 1. 00
	150	0. 04	1. 00			0. 04 1. 00 0. 05 1. 00
	200	0.06	1. 00			0.06
	250	0.08	1. 00			0. 08 1. 00
	300	0. 09	1. 00	材料費の6%	材料費の6%	0.09 1.00
	350	0.10	1.00			0.10 1.00
	400	0.11	1. 00			0.11 1.00
	450	0. 13	1.00			0.13 1.00
	500	0.16	1. 00			0.16 1.00
	600	0. 19	1.00			0. 19 1. 00
	700	0. 22	1.00			0. 22 1. 00
	800	0. 26	1.00			0. 26 1. 00
	900 1000	0. 29 0. 35	1. 00 1. 00	材料費の8%	材料費の8%	0. 29 0. 35 1. 00
	1100	0. 39	1. 00			0.39 1.00
	1200	0. 42	1. 00			0. 42
	1350	0. 47	1. 00			0. 47
	1500	0. 53	1.00			0.53 1.00
	1600	0.61	1. 00			0.61 1.00
	1650	0.63	1.00	材料費の9%	材料費の9%	0.63
	1800	0.69	1. 00	77.77 頁 *2.0/0	1/3 1/1 貝 シンジ/0	0.69 1.00
	1900	0.73	1.00			0.73
	2000	0. 77	1.00		<u> </u>	0.77 1.00
	2100	0.80	1.00			0.80 1.00
	2200 2300	0. 84 0. 88	1. 00 1. 00			0.84 1.00 0.88 1.00
	2400	0. 92	1. 00			0. 92
	2500	0.96	1. 00	I I dat ette	I I data the	0. 96
	2600	1.00	1.00	材料費の10%	材料費の10%	1.00 1.00
	2700	1.03	1.00			1.03 1.00
	2800	1.07	1.00			1.07 1.00
	2900	1. 11	1. 00			1.11 1.00
L	3000	1. 15	1. 00		<u> </u>	1. 15 1. 00

号			現	行(平成 25 年度)				改定(平成 26 年度)
	2) ゴム系シートタ	イプ			2) ゴム系シートタ	'イプ		
	第11表				第11表			
	>/· >/			(1箇所当り)				(1箇所当り)
	呼び径		外面塗装費		呼び径		外面塗装物	
	(mm)	労務費		料費	(mm)	労務費		材料費
		塗装工(人)	ゴムシート材(個)	工具損料		塗装工(人)		(個) 諸雑費 (工具損料)
	80	0.06	1.00		80	0.06	1.00	
	100 125	0. 06 0. 06	1.00 1.00		100 125	0. 06 0. 06	1. 00 1. 00	
	150	0.00	1.00		150	0.00	1.00	
	200	0. 07	1.00		200	0. 07	1.00	
	250	0. 07	1. 00		250	0. 07	1.00	
	300	0.07	1.00		300	0. 07	1.00	
	350	0.10	1.00		350	0. 10	1.00	
	400	0.11	1.00		400	0. 11	1.00	
	450	0.13	1.00		450	0. 13	1.00	
	500	0.14	1.00		500	0.14	1.00	
	600	0.18	1.00		600	0. 18	1.00	
	700	0. 20	1.00	材料費の2%	700	0. 20	1.00	材料費の2%
	800	0. 26	1.00		800	0. 26	1.00	
	900	0.31	1.00		900	0. 31	1.00	
	1000 1100	0. 40 0. 44	1.00 1.00		1000 1100	0. 40 0. 44	1. 00 1. 00	
	1200	0. 49	1.00		1200	0. 44	1.00	
	1350	0. 49	1.00		1350	0. 49	1.00	
	1500	0. 54	1.00		1500	0. 54	1.00	
	1600	0. 59	1. 00		1600	0. 59	1.00	
	1650	0.63	1.00		1650	0. 63	1.00	
	1800	0.71	1.00		1800	0.71	1.00	
					1000		1.00	
	1900	0.75	1.00		1900	0. 75	1.00	
	1900 2000	0. 75 0. 80			11			
		0.80	1.00	(100m当り)	1900 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表	0.75 0.80 -プ歩掛表	1. 00 1. 00	(100m当り)
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表	0.80	1.00 1.00	(100m当り) ⁻ 端明示の有無	1900 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法(i	0.75 0.80 -プ 歩掛表 - ご歩掛表	1.00 1.00	天端明示の有無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管 口径・寸法	0.80	1.00 1.00	端明示の有無	1900 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法 (1	0.75 0.80 -プ歩掛表 - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・	1.00 1.00 作業員(人) 0.09	天端明示の有無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表	0.80 プ歩掛表 普通作業 0.	1.00 1.00		1900 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法(0.75 0.80 -プ 歩掛表 - 一 普通(1.00 1.00 作業員(人) 0.09 0.11	天端明示の有無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法 φ 50以下	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0.	1.00 1.00	端明示の有無 無	1900 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法 (i	0.75 0.80 -プ歩掛表 - プ歩掛表 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	1.00 1.00 1.00 作業員(人) 0.09 0.11 0.10	天端明示の有無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第3表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0. 0. 0.	1.00 1.00 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次	端明示の有無 無 無	1900 2000 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法(i	0.75 0.80 -プ歩掛表 - プ歩掛表 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12	天端明示の有無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	1.00 1.00 2.00 1.00 2.00 2.00 2.00 2.00	端明示の有無 無 無 無	1900 2000 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法(1	0.75 0.80 -プ歩掛表 - でかける - では - では - では - では - では - では - では - では	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.10	天端明示の有無 無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. <td>1.00 1.00 2.00 1.00 2.09 11 10 12 10</td> <td>端明示の有無 無 無 無</td> <td>1900 2000 2000 2000 2000 第 3 表 呼び径・寸法(1</td> <td>0.75 0.80 -プ歩掛表 - プ歩掛表 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1</td> <td>作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.10 0.12</td> <td>天端明示の有無 無 無 無 無 無 無</td>	1.00 1.00 2.00 1.00 2.09 11 10 12 10	端明示の有無 無 無 無	1900 2000 2000 2000 2000 第 3 表 呼び径・寸法(1	0.75 0.80 -プ歩掛表 - プ歩掛表 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.10 0.12	天端明示の有無 無 無 無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	1.00 1.00 2.00 2.00 2.00 3.00 3.00 4.00 4.00 4.00 4.00 4.00 4	端明示の有無 無 無 無 無	1900 2000 2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 呼び径・寸法(1	0.75 0.80 -プ歩掛表 -プ歩掛表 - の 0 0 0 0 0 0 0	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.12 0.12	天端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	1.00 1.00 2.00 2.00 2.00 2.00 3.00 4.00 4.00 4.00 4.00 4.00 4.00 4	端明示の有無 無 無 無 無 無	1900 2000 2000 2000 2000 第 3 表 呼び径・寸法(i	0.75 0.80 -プ歩掛表 -プ歩掛表 - 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.10 0.12 0.12 0.11	天端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無 無
	2000 2-5-3 管明示テー 第3表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	1.00 1.00 1.00	端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無	1900 2000 2000 2000 2000 第 3 表 呼び径・寸法(0.75 0.80	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.12 0.12 0.12 0.11 0.13	天端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無 無 無
	2-5-3 管明示テー 第 3 表 管口径・寸法	0.80 プ歩掛表 普通作業 0.	1.00 1.00 1.00	端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無 無	1900 2000 2000 2000 2000 第 3 表 呼び径・寸法(i	0.75 0.80 -プ歩掛表 -プ歩掛表 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	作業員(人) 0.09 0.11 0.10 0.12 0.10 0.12 0.12 0.11	天端明示の有無 無 無 無 無 無 無 無 無

6-2 ポリエチレン管(融着接合 歩掛 呼び径 (mm) 据付コ 配管工(人) 50 0.10 75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工名 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品計 1-2表 鉄筋コンクリート管布 1-2表 鉄筋コンクリート管布 1 単位	ポリエチレン 工(10m当り) 普通作業員(人) 0. 18 0. 18 0. 20 0. 26 0. 49	0. 04 0. 05 0. 07 0. 09 0. 13	継手工 普通作業員(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13	(1箇所当り)) 諸雑費 (機械器具損料及び消耗品) 労務費の8.5% (1箇所当り) 金額 摘 要 労務費の8.5%
呼び径 (mm) 据付コ 配管工(人) 50 0.10 75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工名 名 称配管工普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品計) 1-2表 鉄筋コンクリート管布目 1-2表 鉄筋コンクリート管布目	ポリエチレン 工(10m当り) 普通作業員(人) 0. 18 0. 18 0. 20 0. 26 0. 49	配管工(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13	継手工 普通作業員(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13) 諸雑費 (機械器具損料及び消耗品 労務費の8.5% (1箇所当り) 金額 摘 要
呼び径 (mm) 配管工(人) 50 0.10 75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計	工(10m当り) 普通作業員(人) 0.18 0.20 0.26 0.49	配管工(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13	継手工 普通作業員(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13) 諸雑費 (機械器具損料及び消耗品 労務費の8.5% (1箇所当り) 金額 摘 要
(mm) 配管工(人) 50 0.10 75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計	工(10m当り) 普通作業員(人) 0.18 0.20 0.26 0.49	配管工(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13	継手工 普通作業員(人) 0.04 0.05 0.07 0.09 0.13) 諸雑費 (機械器具損料及び消耗品 労務費の8.5% (1箇所当り) 金額 摘 要
50 0.10 75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計	0. 18 0. 18 0. 20 0. 26 0. 49	0. 04 0. 05 0. 07 0. 09 0. 13 法 単位 人	0. 04 0. 05 0. 07 0. 09 0. 13	労務費の8.5% (1箇所当り) 金額 摘 要
75 0.10 100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計	0.18 0.20 0.26 0.49	0. 05 0. 07 0. 09 0. 13 法 単位 人	0.05 0.07 0.09 0.13	(1箇所当り) 金額 摘 要
100 0.12 150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管(融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計	0.20 0.26 0.49 形状寸	0. 07 0. 09 0. 13 法 単位 人	0.07 0.09 0.13	(1箇所当り) 金額 摘 要
150 0.18 200 0.25 代価表 リエチレン管 (融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費 (機械器具損料・消耗品 計	0.26 0.49 形状寸	0.09 0.13	0.09 0.13	(1箇所当り) 金額 摘 要
200 0.25 代価表 リエチレン管 (融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費 (機械器具損料・消耗品 計	0.49	3法 単位人人	0.13	金額 摘 要
代価表 リエチレン管 (融着接合)継手工 名 称 配管工 普通作業員 者雑費 (機械器具損料・消耗品 計	形状寸	法 単位 人 人	. 数量	金額 摘 要
リエチレン管 (融着接合) 継手工名 名 配管工 普通作業員 者雑費 (機械器具損料・消耗品 計	形 状 寸	人 人		金額 摘 要
配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計 1-2表 鉄筋コンクリート管布	<u> </u>	人 人		金額 摘 要
配管工 普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計 1-2表 鉄筋コンクリート管布	<u> </u>	人 人		
普通作業員 者雑費(機械器具損料・消耗品 計 1-2表 鉄筋コンクリート管布		人	8.5	労務費の8.5%
計 1-2表 鉄筋コンクリート管布 日 単位		%	8. 5	労務費の8.5%
1-2表 鉄筋コンクリート管布	「設歩掛表			
日単位	万設歩掛表			
殊作業員 人 0 通作業員 人 0	0. 31	66 0.68 0 66 0.68 0	0. 35	0.37 0.39 0.41 0.43 0.74 0.78 0.82 0.86 0.74 1.17 1.23 1.29 0.37 0.39 0.41 0.43

	!-7-3 ソケット		現行(平成 25 年度)							改定(平成 26 年度)					
第 [2-7-3	ノケット継	手歩掛表					
-	第4表							第4表							
[(1口当	当り)							(1□≝	áり)			
- 1 1	管径(mm)	配管工(人)	普通作業員()	人)				呼び	径(mm)	配管工(人)	普通作業員()	人)			
	75	0.04	0.04						75	0.04	0.04				
	100	0.04	0.04						100	0.04	0.04				
	125	0.04	0.05						125	0.04	0.05				
	150	0.04	0.05						150	0.04	0.05				
	200	0.05	0.06						200	0.05	0.06				
	250	0.05	0.07						250	0.05	0.07				
	300	0.05	0.08					11	300	0.05	0.08				
	350	0.05	0.09					11	350	0.05	0.09				
	400	0.06	0.10					11	400	0.06	0.10				
	450 500	0. 06 0. 06	0. 11 0. 12					11	450 500	0. 06 0. 06	0. 11 0. 12				
	600	0.00	0.12					11	600	0.07	0. 12				
	700	0.08	0.14					11	700	0. 08	0. 14				
	800	0. 10	0. 10					11	800	0. 10	0. 22				
	900	0. 12	0. 25					11	900	0. 12	0. 25				
	1000	0. 14	0. 29					11	.000	0. 14	0. 29				
	1100	0. 16	0.33						100	0. 16	0.33				
	1200	0. 20	0.39						.200	0. 20	0.39				
	1350	0. 24	0.48						350	0. 24	0.48				
	1500	0.30	0.59						.500	0.30	0.59				
	1650	0.36	0.71						650	0.36	0.71				
- 1 1															
	1800	0. 42	0.84					1	.800	0.42	0.84				
	1800 2000								800	0. 42 0. 50	0.84 1.00				
	2000	0.42 0.50]断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・S	0.84 1.00	イプ切削切断機			(1口当り)	2-8-3	铸鉄管切断。	0.50 ・ 溝切り加工歩掛 切り同時(NS 形・S	1.00 麦 SII形・GX 形/パイ	イプ切削切断機			(1口当り)
	2000 2-8-3 鋳鉄管 切 第 3-1 表 切断 呼び径	0.42 0.50 D断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・S NS形・SII)	0.84 1.00		GX形			2-8-3 章 第 3-1 表 呼び後	病鉄管切断 ・ 切断・溝	0.50 ・ 溝切り加工歩掛 切り同時(NS 形・S NS形・S II	1.00 長 SII形・GX 形/パイ		GX形	松計	
	2000	0.42 0.50 D断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・S NS形・SII) 「殊作業員 普通作業員	0.84 1.00 証 形・GX 形/パイ 機械損料	特殊作業員	GX形 普通作業員	機械損料 (日)	(1口当り) 諸雑費	2-8-3 第 3-1 表	3000 毒鉄管切断 ・ ・ 切断・溝 ・ 特殊作	0.50 ・ 溝切り加工歩掛 ・ 切り同時(NS 形・ NS形・S II 作業員 普通作業	1.00 長 SII形・GX 形/パイ 形 員 機械損料	特殊作業員	GX形 普通作業員	機械損料 (日)	(1口当り) 諸雑費
	2000 2-8-3 鋳鉄管 切 第 3-1 表 切断 呼び径	0.42 0.50 D断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・S NS形・SII)	0.84 1.00		GX形			2-8-3 章 第 3-1 表 呼び後	病鉄管切断 ・ 切断・溝	0.50 ・ 溝切り加工歩掛 切り同時(NS 形・S NS形・S II 作業員 普通作業 人) (人)	1.00 長 SII形・GX 形/パイ		GX形	機械損料 (日) 0.21	
	2000 2-8-3 鋳鉄管 5 第 3-1 表 切断 呼び径 _(mm) 年 75 100	0. 42 0. 50 D断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・S NS形・S II 音 ・ 深作業員 (人) 0. 15 1. 00 0. 16 1. 02	0.84 1.00 ii II 形・GX 形/パイ ii ii ii ii ii ii ii ii ii ii ii ii ii	特殊作業員 (人) 0.15 0.16	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02	(日) 0.21 0.22		2-8-3 第 第 3-1 表 呼びを (mm)	病鉄管切断 ・ 一切断・溝 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	0.50 ・溝切り加工歩掛割 ・満切り同時(NS 形・SII 作業員 普通作業 人) (人) 15 1.00	1.00 長 SII 形・GX 形/パイ 形 員 機械損料 (日)	特殊作業員 (人)	GX形 普通作業員 (人)	(日)	
	2000 2-8-3 鋳鉄管 5 第 3-1 表 切断 呼び径 _(mm) 年 75 100 150	0. 42 0. 50 D断・溝切り加工歩掛え ・溝切り同時(NS 形・S NS形・SII) F殊作業員 (人) 0. 15 0. 16 1. 00 0. 16 1. 02 0. 18 1. 06	0.84 1.00 記 が 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06	(日) 0.21 0.22 0.25		2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150	持鉄管切断・ ・ 切断・溝 ・ 切断・溝 ・ 特殊() 0. 0. 0.	0.50 ・溝切り加工歩掛乳 切り同時(NS 形・SII 作業員 普通作業 人) (人) 15 1.00 16 1.02 18 1.06	1.00 を が が が が が が が が	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06	(日) 0.21 0.22 0.25	
	2000 2-8-3 鋳鉄管ち 第 3-1 表 切断 呼び径 _(mm) 年 75 100 150 200	0. 42 0. 50 D断・溝切り加工歩掛え ・溝切り同時(NS 形・S NS形・S II ・ 準通作業員 (人) 0. 15 1. 00 0. 16 1. 02 0. 18 1. 06 0. 20 1. 10	0.84 1.00 II 形・GX 形/パイ 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費	2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150 200	持鉄管切断・ ・ 切断・溝 ・ 切断・溝 ・ 特殊() 0. 0. 0. 0.	0.50 ・溝切り加工歩掛乳 ・満切り同時(NS 形・S II 作業員 普通作業 人) 15 1.00 16 1.02 18 1.06 20 1.10	1.00 長 SII 形・GX 形/パイ 形 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費
	2000 2-8-3 鋳鉄管ち 第 3-1 表 切断 呼び径 (mm) 年 75 100 150 200 250	0. 42 0. 50 D断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・SII) ・溝切り同時(NS 形・SIII) ・溝切り同時(NS 形・SIII) ・溝切り同時(NS 形・SIII) ・溝切り同時(NS 形・SIII) ・溝切り同時(NS 形・SIII) ・ 1. 00 0. 15 0. 16 0. 10 0. 18 0. 20 0. 10 0. 12 1. 14	0.84 1.00 E II 形・GX 形/パイ を 検検損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06	(日) 0.21 0.22 0.25		2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150 200 250	持鉄管切断・ ・ 切断・溝 ・ 切断・溝 ・ 特殊() 0. 0. 0. 0.	0.50 ・溝切り加工歩掛る ・満切り加工歩掛る ・	1.00 1.00	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30	
	2000 2-8-3 鋳鉄管り 第 3-1 表 切断 呼び径 (mm) 年 75 100 150 200 250 300	0. 42 0. 50 3断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・SII) ・森作業員 (人) 0. 15 1. 00 0. 16 1. 02 0. 18 1. 06 0. 20 1. 10 0. 22 1. 14 0. 24 1. 18	0.84 1.00 II 形・GX 形/パイ 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30 0.32	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費	2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150 200 250 300	持鉄管切断・ ・ 切断・溝 ・ 切断・溝 ・ 特殊(0.50 ・溝切り加工歩掛割 ・満切り加工歩掛割 ・	形 最 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30 0.32	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費
	2000 2-8-3 鋳鉄管切 第 3-1 表 切断 呼び径 (mm) 75 100 150 200 250 300 350	0. 42 0. 50 の. 50 の. 50 の. 50 の. 50 の. 15 の. 15 の. 16 の. 16 の. 16 の. 20 0. 18 0. 20 1. 10 0. 22 1. 14 0. 24 0. 24 1. 18 0. 26 1. 50	0.84 1.00 II 形・GX 形/パイ 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30 0.32 0.35	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費	2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150 200 250 300 350	# 禁管切断・ 切断・溝 特殊(の. 0. 0. 0. 0. 0.	0.50 ・溝切り加工歩掛え ・満切り加工歩掛え ・	1.00 1.00 	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30	諸雑費
	2000 2-8-3 鋳鉄管り 第 3-1 表 切断 呼び径 (mm) 年 75 100 150 200 250 300	0. 42 0. 50 3断・溝切り加工歩掛 ・溝切り同時(NS 形・SII) ・森作業員 (人) 0. 15 1. 00 0. 16 1. 02 0. 18 1. 06 0. 20 1. 10 0. 22 1. 14 0. 24 1. 18	0.84 1.00 II 形・GX 形/パイ 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30 0.32	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27	諸雑費	2-8-3 章 第 3-1 表 呼びを (mm) 75 100 150 200 250 300	# 禁管切断・ ・ 切断・溝 ・ 切断・溝 ・ 特殊(の. の. の. の. の. の. 0.	0.50 ・溝切り加工歩掛乳 ・満切り同時(NS 形・SII 作業員 普通作業人) (人) 15 1.00 16 1.02 18 1.06 20 1.10 22 1.14 24 1.18 26 1.22 28 1.25	形 最 機械損料 (日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30 0.32	特殊作業員 (人) 0.15 0.16 0.18 0.20	GX形 普通作業員 (人) 1.00 1.02 1.06 1.10	(日) 0.21 0.22 0.25 0.27 0.30	諸雑費

番号					現	行(平成 25 年	現行(平成 25 年度)									改	改定(平成 26 年度)					
P80	第 3-3 表	切断・溝	切り2工程	(NS 形・GX	形/専用工具	使用)						第 3-3 表	切断・溝	切り2工程	(NS 形・GX	形/専用工具	使用)					
		<u> </u>	N	S形		Т	GΣ	'平/		(1口当り)				N.	S形				SX形		(1口当り)	
	呼び径 (mm)	特殊作業員		376 機械損料 (日)	溝切り・切断刃 損耗率	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)		溝切り・切断刃 損耗率	諸雑費		呼び径 (mm)	特殊作業員(人)		機械損料 (日)	溝切り・切断刃 損耗率	特殊作業員	普通作業員 (人)	機械損料(日)	溝切り・切断刃 損耗率	諸雑費	
	75	0.16	0.33	0. 19	0.014	0. 16	0. 33	0. 19	0.014			75	0. 16	0.33	0.19	0.014	0.16	0. 33	0. 19	0.014		
	100 150	0. 17 0. 18	0. 34	0. 19 0. 21	0. 017 0. 025	0. 17 0. 18	0. 34 0. 36	0. 19 0. 21	0. 017 0. 025			100 150	0. 17 0. 18	0. 34 0. 36	0. 19 0. 21	0. 017 0. 025	0. 17 0. 18	0. 34 0. 36	0. 19 0. 21	0. 017 0. 025		
	200	0.20	0.38	0. 22	0.032	0.20	0.38	0. 22	0.032			200	0. 20	0.38	0. 22	0.032	0.20	0.38	0. 22	0.032	W 75 # 0 40	
	250 300	0. 21 0. 25	0. 40	0. 24 0. 26	0. 040 0. 048	0. 21	0.40	0. 24	0.040	労務費の1%		250 300	0. 21 0. 25	0. 40 0. 46	0. 24 0. 26	0. 040 0. 048	0. 21 0. 25	0. 40 0. 46	0. 24 0. 26	0. 040 0. 048	労務費の1%	
	350	0.27	0.49	0. 28	0.055							350	0. 27	0.49	0.28	0.055		•				
	400 450	0. 28 0. 31	0. 52	0. 31 0. 33	0. 089 0. 100	-						400	0. 28 0. 31	0. 52 0. 54	0.31	0. 089 0. 100	-					
281	第4表	鋼管切断歩挂 —_									(1口当り)	第4表	鋼管切断歩 <u>持</u>				=14 +15 db		- Fe	No list open	34.46.40	
	呼び径 (mm) 80	規格 STW370	板) (m 4.	1) (接工 人) . 14	品及び工具損料	規格 STW290	板厚 (mm) 4.2	溶接工 (人) 0.13	消耗品及び	『工具損料	呼び径 (mm) 80	規格 STW37	(m	n)	接工 (人) (消耗 0.14	諸雑費 品及び工具損料)	規格 STW290	板厚 (mm) 4.2	溶接工 (人) 0.13	諸雑費 (消耗品及び工	
	100 125 150 200 250 300	וו וו וו וו	4. 5. 5. 6. 6.	9 0 1 0 5 0 4 0 4 0	. 15 . 18	ら務費の7.5%	11 11 11 11 11	4. 5 4. 5 5. 0 5. 8 6. 6 6. 9	0. 13 0. 14 0. 16 0. 18 0. 23 0. 27 0. 36	労務費の	D7.5%	100 125 150 200 250 300	וו וו וו	4 5. 5. 6. 6.	. 9 . 1 . 5 . 4 . 4	0. 15 0. 18	ኇ務費の7.5%	n n n n	4. 5 4. 5 5. 0 5. 8 6. 6 6. 9	0. 14 0. 16 0. 18 0. 23 0. 27	労務費の	
	350 400 450	STW400	6. 6. 6.	0 0	. 45 . 54 . 63		=					350 400 450	STW40	6.	. 0	0. 45 0. 54 0. 63		_				
	500 600 700	" "	6. 6. 7.	0 0	. 72 . 81 . 09		 STW400B	- - 6. 0	 0.94			500 600 700	"	6.	. 0	0. 72 0. 81 1. 09		 STW400B	- 6.0	_		
	800 900 1000 1100 1200 1350 1600 1600 1600 2000 2100 2200 2300 2400 2500 2600 2700 2800 2900	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	8. 8. 9. 10. 11. 12. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27.	0	. 24 . 38 . 68 . 82 . 11 . 57	労務費の7.5%	11 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	7. 0 7. 0 8. 0 8. 0 9. 0 10. 0 11. 0 12. 0 13. 0 14. 0 15. 0 16. 0 17. 0 18. 0 19. 0 20. 0 21. 0 21. 0	1. 14 1. 21 1. 49 1. 53 1. 73 2. 14 2. 58 2. 90 2. 99 3. 21 3. 64 4. 06 4. 56 4. 78 5. 28 5. 85 6. 09 6. 70 7. 29 7. 96 8. 24 8. 95	労務費(D7.5%	800 900 1000 1100 1200 1350 1500 1600 1650 1800 2000 2100 2200 2300 2400 2500 2600 2700 2800 2900 3000 3000	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	8 8 8 9 10. 11. 11. 12. 14. 15. 16. 17. 188 19. 20. 21. 22.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1. 24 1. 38 1. 68 1. 82 2. 11 2. 57 3. 29	庁務費の7.5%	n n n n n n n n n n n n n n n n n n n	7.0 7.0 8.0 8.0 9.0 10.0 11.0 12.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.0 18.0 19.0 20.0 21.0	1. 14 1. 21 1. 49 1. 53 1. 73 2. 14 2. 58 2. 90 2. 99 3. 21 3. 64 4. 06 4. 56 4. 78 5. 28 5. 85 6. 09 6. 70 7. 29 7. 96 8. 24	労務費の7	

25 年度版 頁番号 P84

現行(平成25年度)

2-9-1 仕切弁設置歩掛表(縦・横型) 第1表 鋳鉄製仕切弁設置(機械力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

呼び径	労	务費	クレー	ン機種	クレーン	クレーン
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	縦型	横型	運転時間(h)	賃料(日)
100以下	0.03	0.05			0.40	_
125	0.03	0.05	クレーン付 トラック 4t積、2.9t吊		0. 47	—
150	0.04	0.06			0.49	_
200	0.05	0.08		_	0. 57	_
250	0.06	0.10			0.73	_
300	0.11	0. 17			0. 91	_
350	0.18	0.43			1. 10	_
400	0.41	1. 13			_	0.29
450	0.62	1. 96	トラッククレーン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	_	0.30
500	0.82	2. 47	油圧伸縮ジブ型		_	0.32
600	1. 13	3. 61	4.9t吊		_	0.34
700	1.44	4. 22			_	0.36
800	1.65	5. 25				0.40
900	1.85	5. 97	16t吊	16t吊	_	0.43
1000	2.06	6.70	100111	100111	_	0.45
1100	2. 16	7. 11			_	0.52
1200	2.37	7. 31	20t吊	20t吊		0.53
1350	2.58	7.42	201171	25t吊	_	0.59
1500	2.79	7. 53	25t吊	30t吊	_	0.70

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 呼び径350mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、 バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(クレーン仕様)は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。

第2表 鋼板製仕切弁設置(機械力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

呼び径	労 利	 务費	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	機種	賃料(日)
1000	2.06	6. 18		0.43
1100	2. 16	6.71	16t吊	0.45
1200	2. 37	7. 24		0.48
1350	2. 58	7. 62	20t吊	0.53
1500	2.78	8. 29	25t吊	0.59
1600	2.88	8. 82	25tm	0.61
1650	2.98	9. 34	30t吊	0.62
1800	3.09	9. 87	35t吊	0.68
2000	3. 19	10.40	40t吊	0.79

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。

2-9-1 仕切弁設置歩掛表(縦・横型)

第1表 鋳鉄製仕切弁設置(機械力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

呼び径	労	务費	クレー	ン機種	クレーン	クレーン
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	縦型	横型	運転時間(h)	賃料(日)
100以下	0.03	0.05			0.40	
125	0.03	0.05			0. 47	_
150	0.04	0.06	クレーン付 トラック 4t積、2.9t吊		0.49	_
200	0.05	0.08		_	0. 57	
250	0.06	0.10			0.73	_
300	0.11	0. 17			0. 91	_
350	0. 18	0.43			1. 10	_
400	0.41	1. 13				0. 29
450	0.62	1. 96	トラッククレーン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊		0.30
500	0.82	2. 47	油圧伸縮ジブ型			0.32
600	1. 13	3. 61	4.9t吊			0.34
700	1. 44	4. 22				0.36
800	1.65	5. 25			_	0.40
900	1.85	5. 97	16t吊	16t吊	_	0.43
1000	2.06	6.70	101111	101111	_	0.45
1100	2. 16	7. 11			_	0.52
1200	2. 37	7. 31	20t吊	20t吊	_	0.53
1350	2. 58	7.42	20tm	25t吊	_	0.59
1500	2.79	7. 53	25t吊	30t吊	_	0.70

改定(平成26年度)

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。

 - 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 呼び径350mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、 バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(ク レーン仕様)は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
 - 5. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

第2表 鋼板製仕切弁設置(機械力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

呼び径	労績	 务費	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型		
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	機種	賃料(日)	
1000	2.06	6. 18		0. 43	
1100	2.16	6.71	16t吊	0.45	
1200	2.37	7. 24		0.48	
1350	2.58	7.62	20t吊	0. 53	
1500	2.78	8. 29	· 25t吊	0. 59	
1600	2.88	8. 82	Z5tH1	0.61	
1650	2.98	9. 34	30t吊	0.62	
1800	3.09	9.87	35t吊	0.68	
2000	3. 19	10.40	40t吊	0.79	

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

25 年度版 現行(平成25年度) 改定(平成26年度) 頁番号 P85

第3表 仕切弁 バタフライ弁設置(人力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

職種 呼び径(㎜)	配管工 (人)	普通作業員 (人)
50	0.03	0. 15
75	0.05	0. 19
100	0.07	0. 23
125	0.09	0.30
150	0.10	0.37
200	0.17	0.45
250	0.24	0.61
300	0.37	0.90
350	0.53	1. 27

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。

第4表 バタフライ弁設置(機械力)歩掛表(鋳鉄製及び鋼板製)

(1基当り)

呼び径	労	務費	クレー	ン機種	クレーン	クレーン
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	縦型	横型	運転時間(h)	賃料(日)
200	0.05	0.08	2- 2		0. 57	_
250	0.06	0. 10	クレーン 付トラック		0.73	_
300	0.11	0. 17	4t積、2.9t吊		0.91	_
350	0.18	0.43			1. 10	_
400	0.41	1. 13			_	0.28
450	0.62	1.60	トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	_	_	0.29
500	0.82	2.04			_	0.30
600	1. 13	2.95			_	0.32
700	1.44	3. 44			_	0.33
800	1.65	3. 94			_	0.34
900	1.85	4. 44			_	0.35
1000	2.06	4. 94		4.9t吊	_	0.36
1100	2. 16	5. 46			_	0.39
1200	2.37	6.08			_	0.41
1350	2.58	6. 59	16t吊		_	0.43
1500	2.78	7. 52	1001 1	16t吊	_	0.45
1600	2.88	7.83			_	0.47
1650	2.99	7. 98			_	0.48
1800	3.09	8. 14	20t吊		_	0.50
2000	3. 19	8. 45	20011	20t吊	_	0.55
2100	3. 29	8.60	25t吊	20111	_	0.56
2200	3.40	8. 76	20011	25t吊		0.59
2400	3.50	8. 96	30t吊	251173	_	0.62

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 呼び径350mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、 バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(ク レーン仕様)は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。

第3表 仕切弁 バタフライ弁設置(人力)歩掛表(縦・横型)

(1基当り)

職種呼び径(㎜)	配管工(人)	普通作業員 (人)
50	0.03	0. 15
75	0.05	0. 19
100	0.07	0. 23
125	0.09	0.30
150	0.10	0.37
200	0.17	0.45
250	0.24	0.61
300	0.37	0.90
350	0.53	1. 27

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

第4表 バタフライ弁設置(機械力)歩掛表(鋳鉄製及び鋼板製)

(1基当り)

呼び径	学习	务費	クレー	·ン機種	クレーン	クレーン
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	縦型	横型	運転時間(h)	賃料(日)
200	0.05	0.08			0.57	
250	0.06	0.10	クレーン 付トラック		0.73	_
300	0.11	0. 17	り トノック 4t積、2.9t吊		0.91	
350	0. 18	0.43	10/2001	_	1.10	_
400	0.41	1. 13			_	0. 28
450	0.62	1.60	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊		_	0. 29
500	0.82	2.04			_	0.30
600	1. 13	2. 95			_	0.32
700	1. 44	3. 44			_	0. 33
800	1. 65	3. 94			_	0. 34
900	1.85	4. 44			_	0.35
1000	2.06	4. 94		4.9t吊	_	0.36
1100	2. 16	5. 46			_	0.39
1200	2. 37	6.08			_	0.41
1350	2. 58	6. 59	16t吊		_	0.43
1500	2. 78	7. 52	100111	16t吊	_	0.45
1600	2. 88	7.83			_	0.47
1650	2. 99	7. 98			_	0.48
1800	3. 09	8. 14	20t 吊		_	0.50
2000	3. 19	8. 45	201市	20t吊	_	0. 55
2100	3. 29	8.60	25t 吊	20 t m	_	0. 56
2200	3. 40	8. 76	20tm	25t吊		0. 59
2400	3. 50	8.96	30t吊	ZƏ t ∏	_	0.62

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 呼び径350mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、 バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(クレーン仕様)は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
 - 5. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

25 年度版 頁番号

現行(平成 25 年度)

改定(平成 26 年度)

第5表 合成樹脂製弁設置(人力)歩掛表

(1基当り)

職種 呼び径(mm)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	摘要
50	0.03	0.12	
75	0.05	0.12	
100	0.07	0.12	
125	0.09	0.13	
150	0.10	0.13	

- 備考 1. 本表の合成樹脂製弁とは、水道用合成樹脂(耐衝撃性塩化ビニル)製仕切弁及びバタフライ弁をいう。
 - 2. 合成樹脂製弁と直接接合する管は硬質塩化ビニル管もしくはポリエチレン管に限るものとする。
 - 3. 本表には管との接合は含まれていない。
 - 4. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 5. 現場の状況に応じ、割増することができる。

2-9-2 空気弁及び空気弁座設置歩掛表

第6表

(1基当り)

呼び径	空気等	弁設置	空気弁座(人	孔ふた)設置
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)
16~25	0.05	0.10	_	_
50	0.10	0. 21	_	_
75	0.15	0.31	0. 26	0.52
100	0.21	0.41	0. 26	0.52
150	0.31	0.62	0. 26	0.52
200	0.41	0.82	0. 26	0.52

備考 歩掛は、20m程度の現場内小運搬、据付及び接合を含む。

P87

第8表 緊急遮断弁設置(機械力)歩掛表

(1基当り)

					(1左ヨリ)
呼び径	労?	務費	クレーン機種	クレーン	クレーン賃料
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	プレーン位列	運転時間(h)	(目)
100	0.06	0.10	クレーン付	0.73	_
150	0.11	0. 17	トラック	0.91	_
200	0. 18	0.43	4t積、2.9t吊	1.10	_
250	0.71	1. 79			0.30
300	0.81	2. 03			0.30
350	0. 92	2. 31	トラック		0.31
400	1.02	2. 59	クレーン	_	0.31
450	1. 22	3. 09	油圧伸縮ジブ型	_	0.32
500	1. 33	3. 38	4.9t吊		0.32
600	1. 58	4. 04			0.34
700	1. 72	4. 42			0.34
800	1. 96	5. 05			0.36
900	2. 27	5. 85	16t吊		0.38
1000	2. 44	6. 30			0.39

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 緊急遮断弁の作動確認試験のための費用は含まれていない。
 - 5. 呼び径200mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(クレーン仕様)は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。

第5表 合成樹脂製弁設置(人力)歩掛表

(1基当り)

職種 呼び径(mm)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	摘要
50	0.03	0. 12	
75	0.05	0. 12	
100	0.07	0. 12	
125	0.09	0. 13	
150	0.10	0. 13	

- 備考 1. 本表の合成樹脂製弁とは、水道用合成樹脂(耐衝撃性塩化ビニル)製仕切弁及びバタフライ弁をいう。
 - 2. 合成樹脂製弁と直接接合する管は硬質塩化ビニル管もしくはポリエチレン管に限るものとする。
 - 3. 本表には管との接合は含まれていない。
 - 4. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 5. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 6. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

2-9-2 空気弁及び空気弁座設置歩掛表

第6表

(1基当り)

l	呼び径	空気等	中設置	空気弁座(人	孔ふた)設置
	(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	配管工(人)	普通作業員(人)
l	16~25	0.05	0.10	_	_
l	50	0. 10	0. 21	_	_
l	75	0. 15	0.31	0.26	0.52
l	100	0. 21	0.41	0.26	0.52
l	150	0.31	0.62	0.26	0.52
	200	0.41	0.82	0.26	0.52

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬、据付及び接合を含む。
 - 2. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

第8表 緊急遮断弁設置(機械力)歩掛表

(1基当り)

					(1をヨリ)
呼び径	労?	 	クレーン機種	クレーン	クレーン賃料
(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	グレーンが対里	運転時間(h)	(日)
100	0.06	0. 10	クレーン付 トラック	0.73	_
150	0.11	0. 17		0. 91	_
200	0.18	0. 43	4t積、2.9t吊	1.10	_
250	0.71	1. 79		_	0.30
300	0.81	2. 03		_	0.30
350	0.92	2. 31	トラック		0.31
400	1.02	2. 59	クレーン		0.31
450	1. 22	3. 09	油圧伸縮ジブ型	_	0.32
500	1. 33	3. 38	4.9t吊	_	0.32
600	1.58	4. 04		_	0.34
700	1.72	4. 42		_	0.34
800	1.96	5. 05		_	0.36
900	2. 27	5. 85	16t吊	_	0.38
1000	2.44	6. 30		_	0.39

- 備考 1. 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。
 - 2. 本表にはフランジ接合は含まれていない。
 - 3. 現場の状況に応じ、割増することができる。
 - 4. 緊急遮断弁の作動確認試験のための費用は含まれていない。
 - 5. 呼び径200mm以下の吊込み機械は、現場の状況に応じ、トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型4.9t吊、または、バックホウ(クレーン仕様)クローラ型クレーン機能付2.9t吊を使用することができる。なお、バックホウ(クレーン仕様)は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。
 - 6. 撤去歩掛は、上記歩掛に補正係数0.6を乗じて算出する。

				現行(平成	25 年度)								改定(平成	え 26 年度)			
接合材使用量									接合材使用量								
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		円分	形		負	角形					円	形			角形	7
	単位	1号	2号	3号	4号	1号	3号			単位	1号	2号	3号	4号	1号	2号	1
接合材	g/箇所	25	30	25	30	35	45		接合材	g/箇所	25	30	25	30	35	45	
第2表									第2表								
	管種			補正	対象歩掛			補正係数		管種				正対象歩			補正係
	K	形		カニカ						K	形		カニカ				
	フラ		-	ランジ				0.60		フラ		- フ	ラン				0.60
	S II	形形	l T	形継	于 歩	掛 衣	J			S II	形形形	' I	形継	手	歩 掛	表	
.,	S	形	ſχ	カニカ	ル継手	歩掛 表		1.00		S	形	「 メ	カニカ	ル継	手 歩 掛	、表」	1.00
鋳鉄管	N S	形	75~450	「 NS →	形継手技	接合歩	掛表」	2.50		N S	712	75~450	ſ NS	形継号	F 接 合	歩 掛 表] 2.50
	直	***	500~1000			II .		0.70		直		500~1000	<u> </u>		11		0.70
	N S	₩ —	75~250			"		2. 50		N S	形	75~250			"		2. 50
	異形		300~450	_	カニカル			2. 50	鋳鉄管	異形	》 管	300~450				歩掛表	
	11 A 1 . 1- 9 IB II		500~1000		形継手技			0. 70		G X		500~1000				歩掛表	_
	対象とする歩掛 彡、S形およびN					い継手歩	掛表を指す。			直	管	75~300	ΓGΣ	化形 継号	手接合	歩掛表」	2.30
3. NS形	直管500~1000m 以外の継手の場	mmにおいて	ライナ取外	しを含む場		補正係数	を10%割増する	5		G X 異 形	形管	75~300	ΓGΣ	化形継	手接合	歩 掛 表」	2. 50
										G X	7.42	75~300	[CV Ⅲ⁄	妙 工 拉	A # #	表(直管) , , , , ,
										P - I	Link	75, ~ 300	1 UA 115	桩 于 佞	一少 #	1 久(臣日	1.80
									3. NS形直	G X G-I 対象とする歩排 、S形、NS形 * 1管500~1000n	形 Link 身は、離脱[らよびGX形の mmにおいて	75~300 防止・異形行 の場合、ロッ ライナ取外	「GX 形 が ・P-Link ックリング しを含む場	継 手 接 ・G-Linkで 取外しま 湯合のみ、	合 歩 掛 等の割増を で含む。	表(異形を考慮しなり	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
									2. SII形 3. NS形直 4. GX形直	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形‡	形 Link かは、離脱 らよびGX形 mmにおいて よライナ取り	75~300 防止・異形行の場合、ロッライナ取外外しの有無何	「GX 形 A ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適	継 手 接 ・G-Linkで 取外しま 湯合のみ、	合 歩 掛 等の割増を で含む。	表(異形を考慮しなり	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
2-10-4 石綿	管継手取外し歩	掛表							2. SⅡ形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表以	G X G-L け象とする歩排 、S形、NS形 に管500~1000 に管においては 以外の継手の場	形 Link 計は、離脱 GよびGX形 mmにおいて よライナ取 場合は別途	75~300 防止・異形行の場合、ロッライナ取外外しの有無何	「GX 形 A ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適	継 手 接 ・G-Linkで 取外しま 湯合のみ、	合 歩 掛 等の割増を で含む。	表(異形を考慮しなり	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
	管継手取外し歩 手取外しエ	掛表	((2) 鋳鉄継ョ	手取外して				2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表以 2-10-4 石綿管	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形 * 直管500~1000n 直管においては 以外の継手の場	形 Link 計は、離脱 GよびGX形 mmにおいて よライナ取 場合は別途	75~300 防止・異形行の場合、ロッライナ取外外しの有無何	「GX 形 A ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適	継手接 ・G-Link 取外しま 弱合のみ、 用する。	合 歩 掛 等の割増をで含む。 補正係数	表(異形管を考慮しないを10%割増	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
2-10-4 石綿 (1) カラー継 ⁻ 第 3 表		掛表	((2) 鋳鉄継目	手取外し工 第 4				2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形 * 直管500~1000n 直管においては 以外の継手の場	形 Link 計は、離脱 GよびGX形 mmにおいて よライナ取 場合は別途	75~300 防止・異形行の場合、ロッライナ取外外しの有無何	「GX 形 A ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適	継 手 接 ・G-Linki 取外しま 場合のみ、 用する。	合 歩 掛 等の割増をで含む。 補正係数 鋳鉄継手	表(異形管を考慮しないを10%割増	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
(1) カラー継	手取外し工		(1	1口当り)	第4	表		(1口当り)	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表以 2-10-4 石綿管	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形 * 直管500~1000n 直管においては 以外の継手の場	形 Link 計は、離脱 GよびGX形 mmにおいて よライナ取 場合は別途	75~300 防止・異形管 の場合、ロッ ライナ取外 外しの有無値 考慮すること	「GX 形 A ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適	継 手 接 ・G-Linki 取外しま 場合のみ、 用する。	合 歩 掛 等の割増をで含む。 補正係数	表(異形管を考慮しないを10%割増	管) 」 1.60 い継手歩掛表を
(1) カラー継事第3表管径(mm)	手取外し工 配管工	.(人)	(1 普通作業)	1口当り) 員(人)	第4	表 径(mm)		普通作業員(人)	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形 * 直管500~1000n 直管においては 以外の継手の場	形 Link は、離脱 SよびGX形 mmにおいて はライナ取 場合は別途 掛表	75~300 防止・異形管 の場合、ロッ ライナ取外 外しの有無値 考慮すること	「GX 形 が ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適 こ こ こ い に い に に い に に に に に に に に に に に に に	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛 等の割増を で含む。 補正係数 鋳鉄継手	表(異形管 を考慮しない を10%割増 取外し工	管)」 1.60 い継手歩掛表を すること。
(1) カラー継= 第3表 管径(mm) 75	手取外し工 配管工 0.0	(人)	(1 普通作業) 0.02	1口当り) 員(人) 2	第 4	表 径(mm) 75	0.04	普通作業員(人) 0.04	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第 3 表	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形ま で管500~1000r でにおいては 以外の継手の場	形 Link 神は、離脱に GよびGX形の mmにおいて はライナ取り 場合は別途 掛表	75~300 防止・異形行の場合、ロップ・ライナ取外 外しの有無係 考慮すること	「GX 形 が ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適 と。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛 等の割増を で含む。 補正係数 鋳鉄継手	表(異形管 を考慮しない を10%割増 取外し工	管) 」 1.60 い継手歩掛表を すること。 (1口当り
(1) カラー継 ² 第 3 表 管径(mm) 75 100	手取外し工 配管工 0.0 0.0	.(人) 02 04	(1 普通作業) 0.02	1口当り) 員(人) 2 4	第 4	表 径(mm) 75 100	0. 04 0. 05	普通作業員(人) 0.04 0.05	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表	G X G-I 対象とする歩排 、S形、NS形よ 直管500~1000i 直管においては 以外の継手の場	形 Link は、離脱 らよびGX形 mmにおいて まライナ取 計合は別途 掛表	75~300 防止・異形での場合、ロップライナ取外外しの有無信 考慮すること ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「GX 形 が ・P-Link ツクリング しを含む場 そわらず適 と。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛 等の割増さ で含む。数 鋳鉄継手 4 表 び径(mm)	表(異形管 を考慮しない を10%割増 取外しエ 配管工(***
(1) カラー継 ² 第 3 表 管径(mm) 75 100 125	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04	(1 普通作業) 0.02 0.04	1口当り) 員(人) 2 4 4	第 4	表 径 (mm) 75 100 125	0. 04 0. 05 0. 05	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表 呼び径(mm) 75	G X G-L 対象とする歩排 、S形、NS形料 直管500~1000 直管においては 以外の継手の場 継手取外し歩 取外し工	形 _ ink	75~300 防止・異形 の場合、ロッ ライナ取外 外しの有無値 考慮すること 普通作業 0.00	「GX 形 が ・P-Link y クリング しを含む場 系わらず適 と。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等の割増をで含む。 の割増をで含む。数 の割増をできる。数 は、数 が各(mm) 75	表(異形行 を考慮しない を10%割増 取外し工 配管工(0.04	(1口当り 人) 普通作業員(0.04 0.05 0.05
(1) カラー継= 第3表 管径(mm) 75 100 125 150	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04 04	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04	1口当り) 員(人) 2 4 4	第 4	表 径 (mm) 75 100 125 150	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第 3 表 呼び径(mm) 75 100	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形 * 2管500~1000r 2管においては 以外の継手の場 継手取外し歩 取外し工 配管工 0.0 0.0	形 _ ink	75~300 防止・異形行の場合、ロップライナ取外外しの有無係 外しの有無係 外しの有無係 がはすることでは、 普通作業 0.02 0.04	「GX 形 が ・P-Link ックリング しを含む場 系わらず適 と。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛 等の割増さ で含む。 補正係数 鋳鉄継手 4 表 び径 (mm) 75 100	表(異形管 を考慮しない を10%割増 を10%割増 の.04 0.05	**E*** 1.60 **小継手歩掛表を すること。 (1口当り 人) 普通作業員(人) 0.04 0.05
(1) カラー継 ⁻ 第 3 表 管径(mm) 75 100 125 150 200	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0	(人) 92 94 94 94 94	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4	第 4	表 (Yes) (mm) (75 100 125 150 200 120 120 120 120 120 120 120 120 12	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200	G X G-I 対象とする歩排、S形、NS形は でで1000~1000~1000~1000~1000 でにおいては 以外の継手の場 継手取外し歩 取外しエ 配管エ 0.0 0.0 0.0 0.0	形 link	75~300 防止・異形 の場合、ロッ ライナ取外 外しの有無値 考慮すること ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「GX 形 が ・P-Link ツクリング しを含む場 系わらず適 と。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等の割増をできる。 等の割増をできる。 新正係数 参数 参数 参数 が径 (mm) 75 100 125 150 200	表(異形管 と考慮しなり を10%割増 を10%割増 の.04 0.05 0.05	(1口当り 大) 普通作業員(人) 0.04 0.05 0.07 0.08
(1) カラー継事 第3表 管径(mm) 75 100 125 150 200 250	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04 04 04 05	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04 0.04	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4 5	第 4	表 径 (mm) 75 100 125 150 200 250	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08 0. 11	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11	2. SII 形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200 250	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形ま で管500~1000r でにおいては 外の継手の場 を を 取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	形 cink	75~300 防止・異形行の場合、取外外しの有無付 外しの有無付 考慮すること 普通作業 0.02 0.04 0.04 0.04 0.04 0.04	「GX 形 が ・P-Link y クリング いっとう まっとっ いっとう が 適 とっ いっとう は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等で含む。数 等で含む。数	表(異形管 と考慮しなり を10%割増 を10%割増 の.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11	(1口当り 人) 普通作業員(0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11
(1) カラー継事 第3表 管径(mm) 75 100 125 150 200 250 300	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04 04 04 05 05	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04 0.04 0.05	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4 5 5	第 4	表 径 (mm) 75 100 125 150 200 250 300	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08 0. 11 0. 13	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200 250 300	G X G-1 対象とする歩排、S形 NS形 に管500~1000にでにおいては 以外の継手の場 を取外し歩 取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	形 cink	75~300 防止・異形行の場合、ログライナ取外外しの有無信 考慮すること 普通作業 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05	「GX 形 が ・P-Link ソクリング しを含む場 (人) 2 1 1 1 1 5 5 5 5 5 6 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等の割増をで含む。 の割増をで含む。数 の割増をできる。数 が径 (mm) 75 100 125 150 200 250 300	表(異形管 を考慮しない を10%割増 を10%割増 の.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13	(1口当り 人) 普通作業員(0.04 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13
(1) カラー継事 第3表 管径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04 04 04 05 07	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4 5 5	第 4	表 (Ye (mm)) 75 100 125 150 200 250 300 350	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08 0. 11 0. 13 0. 15	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第 3 表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350	G X G-I 対象とする歩排、S形、NS形は でで1000で1000で1でにおいては 以外の継手の場 を事取外し歩 取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	形 link 離脱 S Link	75~300 防止・異形行の場合、ロップライナ取外外しの有無係 外しの有無係 考慮すること 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05 0.05 0.05	「GX 形 が ・P-Link ソクリング しを から ず 適 と 。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等の割増をで含む。 等で含む。数 の割増をで補正係数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表(異形管 を 10%割増 を 10%割増 を 10%割増 の . 04 0 . 05 0 . 05 0 . 07 0 . 08 0 . 11 0 . 13 0 . 15	(1口当り 小継手歩掛表を すること。 (1口当り 人) 普通作業員() 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15
(1) カラー継事 第3表 管径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350 400	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	(人) 02 04 04 04 04 05 05 07	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05 0.07	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4 5 5 7	第 4	表 径 (mm) 75 100 125 150 200 250 300 350 400	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08 0. 11 0. 13 0. 15 0. 17	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15 0.17	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第3表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350 400	G X G-I け象とする歩排 、S形、NS形よ で管500~1000r でにおいては 人外の継手の場 を を 取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	形 ink	75~300 防止・異形行の場合、取外外しの有無付 ・関連すること 普通作業 0.02 0.04 0.04 0.05 0.05 0.07 0.07 0.07	「GX 形 が ・P-Link y クリング いっとう が あらず 適 と 。	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛 等で含む。数 鋳鉄継手 4 表 び径 (mm) 75 100 125 150 200 250 300 350 400	表(異形管 を 10%割増 を 10%割増 を 10%割増 の 04 0 05 0 05 0 07 0 08 0 11 0 13 0 15 0 17	(1口当り 小継手歩掛表を すること。 (1口当り 人) 普通作業員() 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15 0.17
(1) カラー継事 第3表 管径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350	手取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	(人))2)4)4)4)4)5)5)7)7	(1 普通作業) 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05	1口当り) 員(人) 2 4 4 4 4 5 5 7 7	第 4	表 (Ye (mm)) 75 100 125 150 200 250 300 350	0. 04 0. 05 0. 05 0. 07 0. 08 0. 11 0. 13 0. 15	普通作業員(人) 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15	2. SII形 3. NS形直 4. GX形直 5. 本表り 2-10-4 石綿管 (1) カラー継手 第 3 表 呼び径(mm) 75 100 125 150 200 250 300 350	G X G-I 対象とする歩排、S形、NS形は でで1000で1000で1でにおいては 以外の継手の場 を事取外し歩 取外し工 配管工 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	形 cink	75~300 防止・異形行の場合、ロップライナ取外外しの有無係 外しの有無係 考慮すること 0.02 0.04 0.04 0.04 0.05 0.05 0.05 0.05	「GX 形 が ・P-Link アクリング しを含む	継手接 ・G-Link 取外しま 動合かの の の る。 (2) 第	合 歩 掛等の割増をで含む。 等で含む。数 の割増をで補正係数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表(異形管 を 10%割増 を 10%割増 を 10%割増 の . 04 0 . 05 0 . 05 0 . 07 0 . 08 0 . 11 0 . 13 0 . 15	(1口当り 小継手歩掛表を すること。 (1口当り 人) 普通作業員() 0.04 0.05 0.05 0.07 0.08 0.11 0.13 0.15 0.17

25 年度版 頁番号			現行	(平成 25 年度)				改足	定(平成 26 年度)	
77H 7	2-10-6 石綿管吊上					2-10-6 石綿管吊.	 上げ積込み歩掛表			
	(1) 機械力					(1) 機械力				
	第6表									
	弗 O 衣				(10m当り)	第6表				(10m当り)
		労務費(Д)	トラッククレーン(油)			労務費()	٨)	トラッククレーン	
	管径(mm)	配管工	普通作業員		料(日)	呼び径(mm)	配管工	普通作業員	機種	賃料(日)
	200	0.04	0.05		0.07	200	0. 04	0.05		0.07
	250	0.04	0.06		0.08	250	0. 04	0.06		0. 08
	300	0.04	0. 07		0.08	300	0. 04	0.07	トラッククレーン	0. 08
	350	0.04	0.09	由圧伷縮ジブ型	0.08	350	0. 04	0.09	油圧伸縮ジブ型	0. 08
	400	0.04	0.11	4.9t吊	0.09	400	0. 04	0. 11	4.9t吊	0. 09
	450	0. 05	0. 12		0.09	450	0. 05	0. 12	-	0.09
	500	0.05	0. 13		0.10	500 600	0. 05 0. 05	0. 13 0. 17	-	0. 10 0. 12
	600	0.05	0. 17	<u> </u>	0. 12	600	0.05	0.17		0.12
						(2) 人力				
	(2) 人力 第7表					第7表				
		The same of the sa	(10m当り)			呼び径(mm) i	配管工(人) 普通作	(10m当り) 業員(人)		
			作業員(人)			75). 11		
	75 100		0. 11			100		0. 12		
	125		0. 12 0. 12			125	0.08). 12		
	150		0. 17			150). 17		
	200		0. 32			200). 32		
	250		0. 42			250		0. 42		
	300	0.20	0. 65			300	0. 20). 65		
P97	第1表 貯水槽の名 貯水槽容量(m³) 50	管径 (mm) 1500 2000	長さ(m) 28.9 17.0			第1表 貯水槽の3 <u>貯水槽容量(m³)</u> 50	呼び径 (mm) 1500 2000	長さ(m) 28.9 17.0		
İ		1500	34. 9			60	1500	34. 9		
	60	2000	20.0				2000 2600	20. 0 12. 3		
		2600	12. 3	_			2000	33. 0		
	100	2000	33. 0	_		100	2600	19. 3		
		2600	19. 3				2000	10.0		
P98	第4表 給水室内配	2管工(分散型)		(1式当り)		第 4 表 給水室内		I 16 57 11 116		3当り)
	管 径	配管工	普通作業員	諸 雑 費		呼び径 (mm)	配 管 工	普通作業		費
	100	4.74人	7.82人	労務費の1%		100	4.74人	7.82人	労務費の	1 %
	150	4. 82	7.92	11		150	4. 82	7. 92	"	
	200	4. 94	8.04	"		200	4. 94	8. 04	"	
	250	5. 12	8. 22	11		250	5. 12	8. 22	"	
	第6表 空気弁室内	P配管工(集中型)		(1箇所当り)		第6表 空気弁室	内配管工(集中型)		(1箇所	行当り)
	管 径	配 管 工	普通作業員	諸雑費		呼び径(mm)	配管工	普通作業		
	100	1.16人	2.30人	労務費の1%		100	1.16人	2.30人	労務費の	
	150	1. 22	2. 36	月毎頁 7/1/0		150	1. 22	2. 36	11	
	200	1. 28	2. 42	"		200	1. 28	2.42	11	
	250	1. 40	2. 54	JJ		250	1.40	2.54	"	

質 経 配 管 100 2.13月 150 2.79 200 3.42 250 4.04 第6-3表 コンクリートセグメントタート・ログメート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログメントタート・ログスト・ログスト・ログスト・ログスト・ログスト・ログスト・ログスト・ログス	1.10人 労務費の1% 1.35 " 1.97 " 2.53 " ト寸法表 [参考] 単位:mm	第7表 貯水槽内 「呼び径(mm) 100 150 200 250 第6-3表 鋼製セ	配管工 2.13人 2.79 3.42 4.04	普通作業員 1.10人 1.35 1.97 2.53	(1式当り) 諸 雑 費 労務費の1% " "	
 管 径 配 管 100 2.13月 150 2.79 200 3.42 250 4.04 P102 第 6-3 表 コンクリートセグメン 標準番号 セグメント外 S5 ~ S8 S9 ~ S12 S13 ~ S14 2.150 	工 普通作業員 諸 雑 妻 1.10人 労務費の1% 1.35 " 1.97 " 2.53 " ト寸法表 [参考] 単位:mm 径 厚さ セグメント内径	呼び径 (mm) 100 150 200 250	配管工 2.13人 2.79 3.42 4.04	1.10人 1.35 1.97	諸 雑 費 労務費の1% "	
100 2.13月 150 2.79 200 3.42 250 4.04 第 6-3 表 コンクリートセグメン 標準番号 セグメント外 S5 ~ S8 2000 S9 ~ S12 S13 ~ S14 2150	1.10人 労務費の1% 1.35 " 1.97 " 2.53 " ト寸法表 [参考] 単位:mm 径 厚さ セグメント内径	100 150 200 250	2. 13 \(\) 2. 79 3. 42 4. 04	1.10人 1.35 1.97	労務費の1% " "	
150 2.79 200 3.42 250 4.04 第 6-3 表 コンクリートセグメン 標準番号 セグメント外 S5 ~ S8 S9 ~ S12 S13 ~ S14 2150	1.35	150 200 250	2. 79 3. 42 4. 04	1.10人 1.35 1.97	11	
200 3.42 250 4.04	1.97 " 2.53 " ト寸法表 [参考] 単位:mm 径 厚さ セグメント内径	200 250	3. 42 4. 04	1.97	11	
第 6-3 表 コンクリートセグメン 標準番号 セグメント外 S5 ~ S8 2000 S9 ~ S12 2150	2.53 " ト寸法表 [参考] 単位:mm 径 厚さ セグメント内径	250	4. 04			
P102 第 6-3 表 コンクリートセグメン 標準番号 セグメント外 S5 ~ S8 2000 S9 ~ S12 S13 ~ S14 2150	ト寸法表 [参考] 単位:mm 径 厚さ セグメント内径			2. 53	11	
標準番号 セグメントタ S5 ~ S8 S9 ~ S12 S13 ~ S14	単位:mm 径 厚さ セグメント内径	第 6-3 表 <mark>鋼製</mark> セ				
標準番号 セグメントタ S5 ~ S8 S9 ~ S12 S13 ~ S14	単位:mm 径 厚さ セグメント内径	第 6-3 表 鋼製セ				
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	径 厚さ セグメント内径		グメント寸法表 [参	考]	単位:mm	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		標準番号	セグメント外径	厚さ セグ	メント内径	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		S5 ~ S8		75	1850	
S13 ~ S14 2150	100 1800	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2000	100	1800	
2150	100 1950	S13 ~ S14		100	1950	
	125 1900	S15 ~ S17	→ 2150 ⊢	125	1900	
S18 ∼ S19	100 2150	S18 ~ S19			2150	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	125 2100	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2350	125	2100	
S23 ∼ S24	100 2350	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1		2350	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	125 2300	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2550		2300	
S28 ~ S29 2750	100 2550	S28 ∼ S29			2550	
S30 ~ S32	125 2500	S30 ~ S32	2750		2500	
S33 ~ S34	100 2750	S33 ∼ S34			2750	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	125 2700	S35 ∼ S37	2950	125	2700	
S38 ~ S40 3150	125 2900	S38 ∼ S40	0150	125	2900	
S41 ~ S43	150 2850	S41 ∼ S43	3150	150	2850	
S44 ~ S46 3350	125 3100	S44 ~ S46	2250	125	3100	
S47 ∼ S49	150 3050	S47 ∼ S49	3350	150	3050	
S50	125 3300	S50		125	3300	
S51 ~ S52 3550	150 3250	S51 ~ S52	3550	150	3250	
S53	175 3200	S53		175	3200	
S54	125 3550	S54		125	3550	
S55 ~ S56 3800	150 3500	S55 ∼ S56	3800	150	3500	
S57	175 3450	S57		175	3450	
129 5-3-4 配管歩掛表 5-3-4-1 ダクタイル鋳鉄管(既設 1. 標準工程	管内配管用)	1. 標準工程	長 イル鋳鉄管 (既設管内配	管用)		
第 12 表		(m/日) 第 12 表				(/8)
管 径(mm) 400以下 500	600 700 800 900		4001111 500	600 700 00	0 000 1000 11	(m/日)
日進量(m) 28 26		1100 1200 1350 呼び径(mm) 日進量(m)		600 700 80		100 1200 1350
日 年 (Ⅲ/ 20 20	20 21 22 21		28 26	25 24 2	2 21 20 1	18 17 16

를				現行(平成 25	年度)						改定(平成 2	6 年度)		
	2. 標準歩掛							2. 標準歩掛						
	(1) 管据付費							(1) 管据付費						
	第13表							第13表						
	为10 汉						(1m当り)	第13 衣						(1m当
	新設管径	世話役	配管	工 禁通	作業員	トラッククレー		新設呼び径	世話役	配管	工 報道	作業員	トラッククレーン	
	(mm)	(人)	(人		入)	規格	(目)	(mm)	(人)	(人		(入)	規格	(目)
	400以下	0.010	0. 02	1 0.	031		0. 024	400以下	0.010	0.02	1 0.	031		0.024
	500	0.015	0.02	9 0.	043		0. 026	500	0.015	0.02	9 0.	043		0.026
	600	0.018	0. 03	6 0.	055	4.9t吊	0. 028	600	0.018	0.03	6 0.	055	4.9t吊	0.028
	700	0.022	0.04	4 0.	066	4.9tm	0. 030	700	0.022	0.04	4 0.	066	4.9tm	0.030
	800	0.026	0.05		080		0. 032	800	0.026	0.05		080		0.032
	900	0.030	0.06		092		0. 034	900	0.030	0.06		092		0.034
	1000	0.039	0. 07		117		0. 036	1000	0.039	0.07		117		0.036
	1100	0.047	0.09		138	16 t 吊	0. 039	1100	0.047	0.09		138	16 t 吊	0. 039
	1200 1350	0. 054 0. 066	0. 10 0. 13		163 206	<u> </u>	0. 042 0. 046	1200 1350	0. 054 0. 066	0. 10 0. 13		206	<u> </u>	0. 042
	(2) 管接合費	ша)						(2) 管接合費	ш<					
	第 14-1 表 (P II	形)			(1箇所当り)			第 14-1 表 (P II	形)			(1箇所当り)	
	新設管径 (mm)	世話役 (人)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費 (式)]		新設呼び径 (mm)	世話役 (人)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費 (式)		
	400以下	0.07	0.14	0.14				400以下	0. 07	0. 14	0.14		7	
	500	0.08	0.15	0. 15				500	0.08	0. 15	0.15	1		
	600	0.08	0.16	0. 16				600	0.08	0.16	0.16]		
	700	0. 17	0.33	0.33				700	0. 17	0.33	0.33	_		
ļ	000	0. 18	0.36	0.36	労務費の1%			800	0. 18	0.36	0.36	■ 第務費の1%		
	800	+	0.38	0.38	74 1/4 24 1/2 1/4			900	0. 19	0.38	0.38	1,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7		
	900	0. 19				l		11		0.40	0.40		1	
	900 1000	0.20	0.40	0.40				1000	0. 20	0.40	0.40	4		
	900 1000 1100	0. 20 0. 22	0. 40 0. 44	0.44				1100	0. 22	0.44	0.44	1		
	900 1000	0.20	0.40								†			
	900 1000 1100 1200 1350	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25	0. 40 0. 44 0. 47	0. 44 0. 47				1100 1200 1350	0. 22 0. 24 0. 25	0. 44 0. 47	0. 44 0. 47			
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN)	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50	0. 44 0. 47 0. 50		(1箇所当り	<u>)</u>	1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN)	0. 22 0. 24 0. 25	0. 44 0. 47 0. 50	0. 44 0. 47 0. 50		(1箇所当り)
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN)	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人)	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人)	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人)	機械損料 (日)	(1箇所当り 諸雑費 (式))	1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm)	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人)	0.44 0.47 0.50 配管工 (人)	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人)	機械損料 (日)	(1箇所当り 諸雑費 (式))
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14	(日) 0.14	諸雑費 (式))	1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07	0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14	(日) 0.14	諸雑費(式))
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15	(日) 0.14 0.15	諸雑費)	1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08	0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15	0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15	(日) 0.14 0.15	諸雑費)
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 	(日) 0.14 0.15 0.16	諸雑費 (式)		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08	0.44 0.47 0.50 配管工 (人) 0.14 0.15 0.16	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 	(日) 0.14 0.15 0.16	諸雑費(式))
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 33	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17	諸雑費 (式)		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17	0.44 0.47 0.50 配管工 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17	諸雑費(式)	
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800	の. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18	0. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 33 0. 36	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17 0.18	諸雑費 (式)		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18	配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 33 0. 36	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17 0.18	諸雑費(式)	
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18 0. 19	の. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 33 0. 36 0. 38	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 	(日) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 17 0. 18 0. 19	諸雑費 (式) 労務費の6%		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18 0. 19	0.44 0.47 0.50 配管工 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17 0.18 0.19	諸雑費 (式) 労務費の6%	
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000	の、20 の、22 の、24 の、25 形) 世話役 (人) の、07 の、08 の、08 の、17 の、18 の、19 の、20	の、40 0、44 0、47 0、50 配管工 (人) 0、14 0、15 0、16 0、33 0、36 0、38 0、40	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 0.40 	(日) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 17 0. 18 0. 19 0. 20	諸雑費 (式) 労務費の6%		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18 0. 19 0. 20	配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 33 0. 36 0. 38 0. 40	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 0.40 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17 0.18 0.19 0.20	諸雑費 (式) 労務費の6%)
	900 1000 1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	0. 20 0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18 0. 19	の. 40 0. 44 0. 47 0. 50 配管工 (人) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 33 0. 36 0. 38	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 	(日) 0. 14 0. 15 0. 16 0. 17 0. 18 0. 19	諸雑費 (式) 労務費の6%		1100 1200 1350 第 14-2 表 (PN) 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	0. 22 0. 24 0. 25 形) 世話役 (人) 0. 07 0. 08 0. 08 0. 17 0. 18 0. 19	0.44 0.47 0.50 配管工 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38	 0.44 0.47 0.50 普通作業員 (人) 0.14 0.15 0.16 0.33 0.36 0.38 	(日) 0.14 0.15 0.16 0.17 0.18 0.19	諸雑費 (式) 労務費の6%	

年度版 [番号				現行(平成 25	年度)						改定(平成 26	6年度)		
- -	(3) 管挿入費							(3) 管挿入費						
	ア. 編成人員							ア. 編成人員						
	第15表							第15表						
	77 10 10				(1m当り)			77 10 10				(1m当り)		
	新設管径 (mm)	世 話 役 (人)	配 管 工 (人)	普通作業員 (人)	電 工 (人)]		新設呼び径 (mm)	世 話 役 (人)	配 管 工 (人)	普通作業員 (人)	電 工 (人)		
	400以下	0. 02	0.04	0.04	0. 02	1		400以下	0. 02	0.04	0.04	0.02	†	
	500	0. 02	0.04	0.04	0. 02	1		500	0. 02	0.04	0.04	0.02	†	
	600	0.02	0.04	0.04	0.02	1		600	0.02	0.04	0.04	0.02	1	
	700	0.03	0.06	0.06	0.03			700	0.03	0.06	0.06	0.03	Ī	
	800	0.03	0.07	0.07	0.03]		800	0.03	0.07	0.07	0.03	[
	900	0.04	0.07	0.07	0.04			900	0.04	0.07	0.07	0.04		
	1000	0.04	0.08	0.08	0.04			1000	0.04	0.08	0.08	0.04]	
	1100	0.04	0.09	0.09	0.04	1		1100	0.04	0.09	0.09	0.04	1	
	1200	0.05	0.09	0.09	0.05			1200	0.05	0.09	0.09	0.05		
	1350	0.05	0.10	0.10	0.05]		1350	0.05	0.10	0.10	0.05	1	
	第 16 表				(400m全損)			第 16 表				(400m全損)	_	
					(400回王頂)	1		I		3°. 3./5	100 - 1		7	
	新設管径	先導金具 (個)	ジャッキ台	挿入台	押し角			新設呼び径	先導金具 (個)	ジャッキ台 (kg)	挿入台 (kg)	押し角 (kg)		
	(mm)	(個)	(kg)	(kg)	(kg)			(mm)	(個)	(kg)	(kg)	(kg)	<u> </u>	
	(mm) 400以下	(個)	(kg) 50	(kg) 417	(kg) 200			(mm) 400以下	(個) 4	(kg) 50	(kg) 417	(kg) 200		
	(mm) 400以下 500	(個) 4 4	(kg) 50 50	(kg) 417 417	(kg) 200 220			(mm) 400以下 500	(個) 4 4	(kg) 50 50	(kg) 417 417	(kg) 200 220		
	(mm) 400以下 500 600	(個)	(kg) 50 50 50	(kg) 417 417 417	(kg) 200 220 240			(mm) 400以下	(個) 4	(kg) 50	(kg) 417	(kg) 200		
	(mm) 400以下 500	(個) 4 4 6	(kg) 50 50	(kg) 417 417	(kg) 200 220			(mm) 400以下 500 600	(個) 4 4 6	(kg) 50 50 50	(kg) 417 417 417	(kg) 200 220 240		
	(mm) 400以下 500 600 700	(個) 4 4 6 6	(kg) 50 50 50 50	(kg) 417 417 417 417	(kg) 200 220 240 240			(mm) 400以下 500 600 700	(個) 4 4 6 6	(kg) 50 50 50 50	(kg) 417 417 417 417	(kg) 200 220 240 240 280 410		
	(mm) 400以下 500 600 700 800	(個) 4 4 6 6 8	(kg) 50 50 50 50 70	(kg) 417 417 417 417 417	(kg) 200 220 240 240 280			(mm) 400以下 500 600 700 800 900	(個) 4 4 6 6 8	(kg) 50 50 50 50 50 70	(kg) 417 417 417 417 417 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500		
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550			(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550		
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550			(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550		
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550			(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550		
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550		(400m全損)	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550		(400m全損)
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550	油圧ホース能力 (T)×5台	(400m全損) 作動油 (L/m・台)	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm)	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010	油圧ホース能力 (T)×5台	作 動 油 (L/m・台)
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550 580 1,010	(T)×5台 50	作動油 (L/m・台) 0.25	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010	(T)×5台 50	作動油 (L/m・台) 0.25
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12 7 12 7 7 12 7 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010	(T)×5台 50 50	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12 7 12 7 12 7 12 7 12 6 6 7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010	(T)×5台 50 50	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 11 12 12 12 7 7 12 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703 703 703 7 03	(kg) 200 220 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7	(T)×5台 50 50 50	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12 12 7 (組×kg) 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7	(T)×5台 50 50 50	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 11 12 12 12 ストラット (組×kg) 672 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 3.7	(T)×5台 50 50 50 50	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25 0.25 0.25	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700	(個) 4 4 6 6 8 8 10 10 12 12 12 2 12 2 5 6 7 6 7 6 7 6 8 8 7 7 8 8 8 9 6 7 8 8 9 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 100	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 3.7	(T)×5台 50 50 50 50 50	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25 0.25 0.25
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 12 12 12 12 7 12 672 672 672 672 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50 50 50 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 3.7 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 50 100	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 12 12 12 12 672 672 672 672 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50 50 50 50 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 3.7 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 50 100	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 11 12 12 12 12 7 7 672 672 672 672 672 672 672 672 67	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50 50 50 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 7.5 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 50 100 100	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30 0.30	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 12 12 12 12 ストラット (組×kg) 672 672 672 672 672 672 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50 50 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 7.5 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 100 100	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 10 12 12 12 672 672 672 672 672 960	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50 50 80 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 7.5 7.5 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 100 100 100	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30 0.30	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 12 12 12 12 672 672 672 672 672 960	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50 50 50 80 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 7.5 7.5	50 50 50 50 50 50 100 100	作動油 (L/m・台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30 0.30
	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設管径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 11 12 12 12 12 7 7 672 672 672 672 672 672 672 672 67	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 油圧ジャッキ能力 (T)×2台 50 50 50 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 7.5 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 50 100 100	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30 0.30	(mm) 400以下 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1350 第 17 表 新設呼び径 (mm) 400以下 500 600 700 800 900	(個) 4 4 6 6 8 8 8 10 10 12 12 12 12 ストラット (組×kg) 672 672 672 672 672 672 672 672 672	(kg) 50 50 50 50 70 70 70 100 100 100 100 50 50 50 50 50 50 80 80	(kg) 417 417 417 417 417 703 703 703 703 703 1,107	(kg) 200 220 240 240 240 280 410 500 550 580 1,010 油圧ポンプ (kVA) 3.7 3.7 3.7 7.5 7.5	(T)×5台 50 50 50 50 100 100	作動油 (L/m·台) 0.25 0.25 0.25 0.25 0.30

度版 号				現行(平成 25	年度)						改定(平成 26	6年度)		
-	第18表							第 18 表						
							(1箇所当り)					1 .		(1箇所当り
	新設管径	世話役	とびエ	普通作業員		ーン運転時間	床版材	新設呼び径	世話役	とびエ	普通作業員		/一ン運転時間	床版材
	(mm)	(人)	(人)	(人)	規格	(日)		(mm)	(人)	(人)	(人)	規格	(日)	
	300~600 700~900	1.0	2. 0	3. 0 4. 0	4.9t吊 〃	2. 0 2. 0	労務費の10% パープログラス かいまま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	300~600 700~900	1. 0	2. 0	3. 0 4. 0	4.9t吊 "	2.0	労務費の10% " の15%
	1000~1350	1. 5	3. 0	5. 0	"	3. 0	" Ø15%	1000~1350	1. 5	3. 0	5. 0	"	3.0	" O15%
	1000	1.0			<u>!</u>		3 20,0	1000	11.5			ļ		1 2070
3	(1) 使用機械	157 -115						(1) 使用機械	1137 -1					
	ア. ウインチ引	込力式						ア. ウインチ引]] 込力式					
	第 23 表 管径 (mm)	トラックク	レーン・ウイン	/チ(複胴式)	先導金具	ワイヤー		第 23 表 呼び径 (mm)	トラックク	ノーン・ウイン	チ(複胴式)	先導金具	ワイヤー	
	800~1800	油圧伸縮ジブ		22KW3t		込・引戻用10mm		800~1800	油圧伸縮ジブを		2KW3t		ひ・引戻用10mm	
	000 1000	1円/上 中加マク:	至10 (1) 2	2211100	1 1 1 1	_ J//X//1110mm			1四/上 下州マッ	EIOCIJI	21(110)	11년 기/		
	(2) 編成人員							(2) 編成人員						
	第 24 表							第 24 表						
	管径(mm)	世 話 役	特殊作業員		工			呼び径	世 話 役	特殊作業員	配管	工		
	·	(人)	(人)	(人)				(mm)	(人)	(人)	(人)			
	800~1350 1500~1800	1	4	3				800~1350 1500~1800	1	4	3 4			
	1500, ~1900	1	4	4				1500, 51900	1	4	4			
	(3) 標準作業量							(3) 標準作業量						
	第 25 表		_					第 25 表						
	管径(mm)	作業量(m)	管径(mm)	作業量(n	1)			呼び径(mm)	作業量(m)	呼び径(mm)	作業量(r	n)		
	1000以下 1100	24 23	1500 1600	23				1000以下	24 23	1500 1600	23 22			
	1200	22	1800	20	 			1100 1200	22	1800	20	_		
	1350	20	1500					1350	20	1000				
			_						,	_				
	第 25-2 表							第 25-2 表						
	第 25 2 及 管径 (mm)	作業量(m)	管径(mm)	作業量(1	1)			第25 2 衣 呼び径 (mm)	作業量(m)	呼び径(mm)	作業量(r	n)		
	1000以下	18	1500	17				1000以下	18	1500	17			
	1100	17	1600	16				1100	17	1600	16			
	1200	16	1800	15				1200	16	1800	15			
	1350	15						1350	15					
	(2) 編成人員							(2) 編成人員						
	第 29 表							第 29 表						
	管径 (mm)	世話役	特殊作業員	溶接(人)	エ			呼び径 (mm)	世 話 役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接(人)	エ		
	800~1350	0. 5	3	2				800~1350	0.5	3	2			
	1500~1800	0. 5	4	2				1500~1800	0.5	4	2			
		1							•		•			

25 年度版 頁番号			:	現行(平成 25 年)	变)					ī	改定(平成 26 年	:度)		
P135	(3) 標準作業量							(3) 標準作業量						
	第 30 表	,		,	_			第 30 表						
	管径(mm)	作業量(m)	管径(mm)	作業量(m)				呼び径(mm)	作業量(m)	呼び径(mm)	作業量(m)			
	1000以下	24	1500	23				1000以下	24	1500	23			
	1100	23	1600	22	4			1100	23	1600	22	_		
	1200	22	1800	20				1200	22	1800	20			
	1350	20						1350	20	J				
	(1) 使用機械、消	耗品類						(1) 使用機械、消	耗品類					
	第 32 表			-			7	第 32 表			-	1		1
		チェーンブロック		溶 接 機	ゴムスペーサ	溶接棒	4		チェーンブロック		溶接機	ゴムスペーサ	溶接棒	
	800~1800	3t	3t	300A	4個	5kg	J	800~1800	3t	3t	300A	4個	5kg	
	(2) 編成人員							(2) 編成人員						
	第 33 表							第 33 表						
	管 径 (mm)	世 話 役 (人)	溶接工	特殊作業員 (人)				呼び径 (mm)	世話役(人)	溶接工	特殊作業員 (人)]		
	800~1800	0.5	2. 0	4. 0				800~1800	0.5	2. 0	4. 0	†		
	300 1000	,,,,		11.0							11. 0	1		
P136	(3) 標準作業量							(3) 標準作業量						
	第 34 表		_					第 34 表	T (2) (2)	_				
	管径(mm)	作業量(m)	_					呼び径(mm)	作業量(m)	_				
	800~1100	12	_					800~1100	12	_				
	1200~1350	11	_					1200~1350	11	_				
	1500 1600	10	_					1500 1600	10	\dashv				
	1800	8	\dashv					1800	8	\dashv				
	1000	1 0						1000						
	第 34-2 表		_					第 34-2 表	/	-				
	管 径(mm)	作業量(m)	_					呼び径(mm) 800~1100	作業量(m)	\dashv				
	$800 \sim 1100$ $1200 \sim 1350$	9 8	\dashv					1200~1350	8	\dashv				
	1500	8						1500	8	\dashv				
	1600	7	\dashv					1600	7					
	1800	6						1800	6					
	(9) 涂壮丁(水道F	用液状エポキシ樹脂	 上 注 注 上 注					(2) 塗装工(水道用	用液状エポキシ樹	脂塗装)				
	i i			関係の答品士ので	· 加士云管山土;						番管の管軸方向に	は、次式で算出する	5.	
		7 内外面塗装歩掛			、火丸で昇出する	υ ₀				・ ・軸方向塗装面積×		〜、 ハベ 、 弁山りで	∞ 0	
		接箇所塗装工=管										4. THO 94 \		
		当り塗装費=代価		÷(周長×0.24m	又は O. 34m)					j(1 口当り塗装費)	〒(同長×0.24	±m 火(± 0. 64m)		
	•	用無溶剤型エポキ						(3) 塗装工(水道用						
	積算は、「2-4-7	7 内外面塗装歩掛	」による。巻込釒	岡管の管軸方向は	た、次式で算出する	5.						は、次式で算出する	5	
	管軸方向溶	接箇所塗装工=管	軸方向塗装面積×	ベm ² 当り塗装費				管軸方向溶	接箇所塗装工=管	軸方向塗装面積×	/m2 当り塗装費			
	ただし、m²	当り塗装費=代価	(1口当り塗装費)	÷(周長×0.24m	又は 0.34m)			<u> ただし、m2</u>	当り塗装費=代価	斯(1 口当り塗装費)	→ (周長×0.24	m 又は 0.34m)		

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
P137	第 37 表 新設管径(mm) 換気ファン規格(軸流式) 空気清浄装置 800~1350 風量130m³/min 2.2kw 建損表 1500~1800	第 37 表
P141	第 51 表 (1日当り) 管 路	第51表 「1日当り) 「「中で径
	(2) 標準作業量 第 52 表 (1口当り) 作業量(T)(m) 継手箇所数(100m当り) 20以下 21~30 31以上 管 800~1100mm 90 70 50 径 1200~2600mm 110 90 70	(2) 標準作業量 第 52 表 (1口当り) (1口当り) (本業量(T)(m) (本手箇所数(100m当り) 20以下 21~30 31以上 呼 800~1100mm 90 70 50 (1200~2600mm 110 90 70
P143	第1表 (人/100m³) 掘削機種 世話役 普通作業員 山積0.08m³ [平積0.06m³] 2.9 5.0 山積0.13m³ [平積0.10m³] 1.3 3.5 山積0.28m³ [平積0.20m³] 1.1 3.0 山積0.45m³ [平積0.35m³] 0.9 2.4 山積0.80m³ [平積0.60m³] 0.5 1.3 備考1. 世話役は現場での指揮・指導を行うものとする。 2. 普通作業員は補助的作業(土砂の切崩し、床均し、埋設物付近の掘削、会所堀等)を行うものとする。	## 削 機 種 世 話 役 普通作業員

		現行(平成 25 年度)			改定(平成 26 年度)	
第2表				第2表		
ı		(100m ³ 当り)_			(100m ³ 当り)	
掘 削 機	種	運転時間 (時間)		掘削機種	運転時間 (時間)	
山積0.08m³ [平積	€0.06m³]	21.0		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)		
山積0.13m³ [平積	₹0.10m³]	17. 2			15. 2	
山積0.28m³ [乎積	[0.20m³]	12. 8		山積0.08m³[平積0.06m³]		
山積0.45m³ [平積	₹0.35m³]	9. 2		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)		
山積0.80m ³ [平積	[0.60m³]	6.3		山積0.13m³[平積0.1m³]	13. 6	
				クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m ³ [平積0.2m ³]	9. 7	
				クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡]	6. 6	
				クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡]	3. 0	
第3表				第3表		
 		(1日当	n)	7,702	(1日当り)	
掘削機	新			掘削機種	施工量 (m³)	
		施工量 (m³)	 		旭工里 (川)	
	積0.06m ³]	20		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	43	
	積0.10m ³]	32		山積0.08m³[平積0.06m³]		
山積0.28m³ [乎	積0.20m³]	43		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	48	
山積0.45m³ [平	積0.35m³]	60		山積0.13m³[平積0.1m³]	40	
山積0.80m³ [平	積0.60m³]	87		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m ³ [平積0.2m ³]	67	
				山積0.28m [平積0.2m] クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45m ³ [平積0.35m ³] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45m ³ [平積0.35m ³]	99	
				クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡]	217	
				備考 礫質土、砂、砂質土、粘性土に適用する。 (3) 単価表 第4表 小型バックホウ掘削積込		
					人 第15 人 " 日 第3表(100/日	当り施工量)
				名 称 形 状 世 話 役 普 通 作 業 員 バックホウ運転費 山積000m³(平積000m³)	人 第13 人	要 表 当り施工量) 理

									以近(十	z成 26 年月	夏)	
ホウ掘削積	沁					第5表 バック	ウホウ掘削積	 積込				
.4. У УМП11/18	·~			(100m	当り)							(1m³当り)
	形状	単 位	数量			名	称	形状	単 位	数量		摘要
役		人		第1表(必要に応じて	上)				人		第1表 (必要に応じて計上)
業員		人		л (п)				人			<i>II</i>
軍転費	山積000m³(平積000m³)	時間		第2表				山積000m³(平積000m³)				第2表
費		式	1	端数処理					式	1		端数処理
				100m³当り								100m ³ 当り
i b				計/100m³		1 m ³	当 り					計/100m ³
表						(4) 機械運転 第6表	专					
	規格		運転日当り	運転時間 指定	項	機械名		規格		適月	月単価表	指定事項
クローラ	型 排出ガス対策型 (第1 山積0.08m³[平積0.06m³]	次基準値)		燃料消費量	→ 3.20		山積0.08m		第1次基準値	i)	第15表	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 機械損料数量→ 1.8
I	型 排出ガス対策型 (第1 山積0.13m³[平積0.1m³]	次基準値)		燃料消費量	→ 4.40		クローラ型		(第1次基準値	[)	第16表	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量→ 29 機械損料数量→1.8
クローラ	型 排出ガス対策型 (第1 山積0.28m³[平積0.2m³]	次基準値)		運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	$ \begin{array}{ccc} \rightarrow & 0.17 \\ \rightarrow & 7.2 \\ \rightarrow & 1.0 \end{array} $				(第1次基準値			
	型 排出ガス対策型 (第1 山積0.45m³[平積0.35m³]	次基準値)		燃料消費量	→ 11.0		排出ガス対 山積0.45 m	対策型(第1次基準値)	能力2.9t			
クローラ	型 排出ガス対策型 (第1 山積 0.8m³[平積 0.6m³]	次基準値)		燃料消費量	→ 18.0		クローラ型 山積0. 45 m	nီ[平積0.35 m³]		第	第17表	
8m³の運転日	日当り運転時間は4.2時間。	とする。その	の他は建設機	巻械損料表による。	_		排出ガス対 山積0.8㎡ 又は	け策型(第2次基準値) [平積0.6㎡]				
							山積0.8㎡	[平積0.6㎡]				
						備考 山積 0.	98m⁺の運転	日当り運転時間は4.2	時間とする。	その他は	建設機械	関料表による。
	本 後 業 重 要 り し し し し し し し し し し し し し	世 を で で で で で で で で で で で で で	 ボ 役 大 人 業員 上積000m³(平積000m³) 時間費 支 方 方 方 方 方 方 方 力 口 一 ラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.13m³[平積0.06m³] ク ロ ー ラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.28m³[平積0.2m³] ク ロ ー ラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.45m³ [平積0.35m³] ク ロ ー ラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.45m³ [平積0.35m³] ク ロ ー ラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.45m³ [平積0.35m³] 	株	(100m ³	(100m³当り) ボ 形 状 単 位 数 量 摘 要 役 人 第1表(必要に応じて計上) 業 員 人 『 (『) 』	***********************************	作 形 状 単 位 数 量 摘 要 性 話 役 音 通 作 業 員 上稿000m³(平径000m²) 時間 第1表(必要に応じて計上)	(100m ² 当9)	(100m ³ 当り) (100m ³ は 学 日間 (100m ³	第 形 状 単 位 数 章 第 要	(100a ² 当り)

25 年度版 頁番号		現行(平成 25 年度)		改定(平成 26 年度)	
P145	第6表		第7表		
		(100m ³ 当り)		(100m ³ 当り)	
	機種	運転時間 (時間)	機種	運転時間 (時間)	
	山積0.08m³ [平積0.06m³]	14. 3	クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)	7. 9	
	山積0.13m³ [平積0.10m³]	10. 7	山積0.08m³[平積0.06m³]	1. 9	
	山積0.28m³ [乎積0.20m³]	9. 0	クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)		
	山積0.45m³ [平積0.35m³] 山積0.80m³ [平積0.60m³]	6. 9 4. 1	山積0.13m ³ [平積0.1m ³]	7. 2	
	四傾0.80㎜ [平傾0.60㎜]	4. 1			
			クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m³[平積0.2m³]	5. 6	
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡]	4. 2	
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡]	2. 3	
			バックホウ1日当り施工量は次表を標準とする。 第8表 堀 削 機 種	(1日当り) 施工量 (㎡)	
			クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.08m ³ [平積0.06m ³]	82	
			クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.13m³[平積0.1m³]	90	
			クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m³[平積0.2m³]	116	
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45㎡[平積0.35㎡]	155	
			クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡] 又は クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.8㎡[平積0.6㎡]	283	
	第7表 名 称 単位 普通作業員 人	(100m ³ 当り) 数 量 4	第9表 名 称 単位 数 世 話 役 人 2.	9 とする。	

25 年度版 現行(平成25年度) 頁番号 第8表 第10表 (100m³当り) 名 称 規 格 単 位 数 量 普通作業員 人 3 タンパ運転費 60~80kg 備考 普通作業員は、締固め補助とする。

(3) 単価表

第9表 管路埋戻費(機械埋戻)

(100m³当り)

	名	称	;		形	状	単位	数量	摘要
普	通	作	業	員			人		第7表(埋戻し)+第8表(締固め)
バッ	, ク ホ	こりょ	軍 転	費			時間		第6表
タ	ンパ	運	転	費	60~80	kg	目		第8表
埋	戻	材	料	費			\mathbf{m}^3		必要に応じて計上
諸	;	雑	1	費			式	1	端数処理
		計							100m ³ 当り
1	${\tt m}^3$	当	· ·	ŋ		•	·	·	計/100m³

(100m³当り)

改定(平成26年度)

名 称	規 格	単 位	数量
普通作業員		人	3
タンパ運転費	60~80kg	日	3

- 備考 1. 普通作業員は、締固め補助とする。
 - 2. タンパ1日当りの施工量は33㎡/日とする。

(3) 単価表

第11表 管路埋戻費(機械埋戻・小型バックホウ)

(1m³当り)

名 称	形状	単位	数量	摘 要
世 話 役		人	2.1	第9表
普 通 作 業 員		人	5.9	第9表(埋戻し)+第10表(締固め)
バックホウ運転費		目		第8表(100/日当り施工量)
タンパ運転費	60∼80kg	目	3.0	第10表
埋戻材料費		\mathbf{m}^3		必要に応じて計上
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				100m³当り
1 m^3 当 り		·		計/100m ³

- 備考 1. 埋戻土量は、第13表の土量変化率を考慮すること。
- 2. タンパは賃料とする。

第12表 管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)

(1m³当り)

	名 称		形状	単位	数量	摘要
世	話	役		人	2. 1	第9表
普	通 作 業	員		人	5. 9	第9表(埋戻し)+第10表(締固め)
バ	ックホウ運転	費		時間		第7表
タ	ン パ 運 転	費	60∼80kg	目	3.0	第10表
埋	戻 材 料	費		m^3		必要に応じて計上
諸	雑	費		式	1	端数処理
	計					100m ³ 当り
1	m³ ≝	ŋ				計/100m ³

- 備考 1. 埋戻土量は、第13表の土量変化率を考慮すること。
 - 2. タンパは賃料とする。

第13表 土量変化率

	分類名		変化率L	変化率C
主要	区分	記号	友 化辛L	変化学(
礫質土	礫	(GW) (GP) (GPs) (G-M) (G-C)	1. 20	0. 95
	礫質土	(GM) (GC) (GO)	1. 20	0.90
砂及び砂質土	砂	(SW) (SP) (SPu) (S-M) (S-C) (S-V)	1. 20	0. 95
Ⅳ以○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	砂質土 (普通土)	(SM) (SC) (SV)	1. 20	0. 90

ほぐした土量(m³)

締固め後の土量(m³)

地山の土量 (m³)

地山の土量(m³)

		現行(平	² 成 25 年度)				改定(平成	26 年度)		
(4	 機械運転表 	表			(4) 機械運転	表				
第	10表		1		第14表				_	
	機械名	規 格	運転日当り 運 転 時 間	指定事項	機械名	規格		適用単価表	指定事項	Į
小	^型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.08m ³ [平積0.06m ³]		運転労務数量→ 0.24 燃料消費量→ 3.2 機械損料数量→ 0.24(日)	小型バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 山積0.08m³[平積0.06m³]	(第1次基準値)	第15表	運転労務数量→ 燃料消費量→ 機械損料数量→	21
		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.13m³[平積0.10m³]		運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 4.4 機械損料数量→ 0.17(日)	小型ハックホワ	クローラ型 排出ガス対策型 山積0.13m³[平積0.10m³]	(第1次基準値)	表16表	運転労務数量→ 燃料消費量→ 機械損料数量→	29
		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.28m³[平積0.20m³]		運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 7.2 機械損料数量→ 1.0		クローラ型 排出ガス対策型 山積0.28m³[平積0.20m³]	(第1次基準値)			
	バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45m³ [平積0.35m³]		運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 11.0 機械損料数量→ 1.0		クローラ型 クレーン機能付排出ガス対策型 (第1次基準値				
		クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.80m ³ [平積0.60m ³]		運転労務数量→ 0.17 燃料消費量→ 18.0 機械損料数量→ 1.0	バックホウ	山積0.45m3 [平積0.35m3] 又は クローラ型 排出ガス対策型 山積0.45m ³ [平積0.35m ³]	(第1次基準値)	第17表		
	タンパ	60~80kg		運転労務数量→ 1.0 燃料消費量→ 4.5 機械損料数→ 1.38 主 燃料→ ガソリン 運転時間→ 5h/日 作業量→ 33m³/日		クローラ型 クレーン機能付排出ガス対策型 (第2次基準値 山積0.8m3 [平積0.6m3] 又は クローラ型 排出ガス対策型	I)			
					タンパ	山積0.8m³ [平積0.6m³] 60~80kg		第18表	運転労務数量→ 燃料消費量→ 機械賃料数→ 主 燃料 料 車 転 時 間→ 作 業 量→	4.5 1.38 ガソリン 5h/日
					本資料は、	各工種に使用する機械のうち、標		いて単価表示る	をしたものである。	
					2. 燃料の 3. 表題に 4. 燃料費 5. 機械指	掛は、土木工事標準歩掛の建設は 種類及び数量は、土木工事標準 は、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記 料の規格欄には、機械の規格を記 が、対象を関係を記しています。	歩掛の原動機燃料 入する。 記入する。		•	(1日当り)
					2. 燃料の 3. 表題に 4. 燃料費 5. 機械指	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記 料の規格欄には、機械の規格を記 料の規格欄には、機械の規格を記 リバックホウ運転1日当り単価表	歩掛の原動機燃料 入する。 記入する。			(1日当り)要
					 燃料の 表題に 燃料費 機械援 第15表 小型 名 特殊作業	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記が 対の規格欄には、燃料の種類を記が 対の規格欄には、機械の規格を認 が、クホウ運転1日当り単価表 の規格	歩掛の原動機燃料 入する。 記入する。 単位 数量 単 人	料消費量 による		
					2. 燃料の 3. 表題に 4. 燃料費 5. 機械提 第15表 小型 名 特殊作業 燃料	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記入料の規格欄には、機械の規格を記入があり、機械の規格を記入があり、大力で運転1日当り単価表際 規格 単	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 <u>単位 数量 単</u> 人 0	料消費量 による		
					2. 燃料の 3. 表題に 4. 燃機械 5. 機械指 第15表 小型 名 特殊作業 燃料 機 械 指	種類及び数量は、土木工事標準定は、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記 料の規格欄には、機械の規格を記 料の規格欄には、機械の規格を記 が 規格 単 費 世 供	歩掛の原動機燃料 入する。 記入する。 <u>単位 数量 単</u> 人 0 用日	料消費量 による		
					2. 燃料の 3. 表題に 4. 燃料費 5. 機械提 第15表 小型 名 特殊作業 燃料	種類及び数量は、土木工事標準定は、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記 料の規格欄には、機械の規格を記 料の規格欄には、機械の規格を記 が 規格 単 費 世 供	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 <u>単位 数量 単</u> 人 0	料消費量 による		
					2. 燃料の 3. 表料類 5. 機械 第 15 表 小型 名 件業 燃 械 損 務 機 機 損	種類及び数量は、土木工事標準定は、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記 対料の規格欄には、機械の規格を記 がリクホウ運転1日当り単価表 の 規格 単 関格 単 大学 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 自位 数量 巨 人 0 用日 1	料消費量 による		要
					2. 燃料の3. 燃料の4. 燃料板 4. 燃機械 5. 機械 第15表 小型 格殊料 機械 被 諸 計 第16表 小型	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記えば料の規格欄には、機械の規格を記入が少少な力運転1日当り単価表 「大き」が、対象をは、土木工事標準には、機械の規格を記されています。 「大き」が、対象をは、土木工事標準を表する。 「大き」が、対象を記されています。 「大き」が、対象をは、土木工事標準を表する。 「大き」が、対象を記されています。 「大き」が、対象をは、土木工事標準を表する。 「大き」が、対象を記されています。 「大き」が、表するには、対象を記されています。」 「大き」が、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されていますます。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、対象を記されています。」 「大き、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 <u>単位 数量 単</u> 人 用日 1	料消費量 による	有(円) 摘	
					2. 燃料の3. 表類に4. 燃機械 5. 機械 第15表 小型 名称作業 燃機械 機 諸 報 第16表 小型	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記え料の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格機には、機械の規格を記入する。 の規格を記入する。 の規格では、機械の規格を記入する。 の規格を記入する。 の規格では、機械の規格を記入する。 の規格では、機械の規格を記入する。 の規格を記入する。 のは、表述を記入する。 のは、表述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 <u>単位 数量 単</u> 人 用日 1	科消費量による 単価(円) 金額	有(円) 摘	要
					2. 燃料の 3. 表類類 4. 燃機械 5. 機械 第15表 小型 格殊料 機械 被 諸 計 第16表 小型	種類及び数量は、土木工事標準には、機械名を記入する。 の規格欄には、燃料の種類を記え料の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入料の規格欄には、機械の規格を記入料の規格欄には、機械の規格を記入する。 の規格欄には、機械の規格を記入がある。 は、一般では、一般では、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般をは、一般を	歩掛の原動機燃 入する。 記入する。 単位 数量 単 人 0 用日 1	科消費量による 単価(円) 金額	有(円) 摘	要

年度版 頁番号				現行(平成 25 年度)					改定(平成 26	6年度)		
						第17表 バックホウ	運転 1 時間当り単価	表				
												(1時間当
						名 称	規格	単位	数量 単価	五(円) 金額(円)	摘	要
						運転手 (特殊)		人				
						燃料費		<u>ℓ</u> h	1.0			
						<u>機 械 損 料 </u> 諸 雑 費		n 式	1.0			
						計		- (-			
									-	•		
						第18表 タンパ運転	1日当り単価表					
						h 11-	144	以上	业。	r /m \	-lest-	(1日当)
						名	規格	単位人	数量単位	五(円) <u>金額(円)</u>	摘	要
						燃料費		Q.				
						<u>賃料</u>		供用日				
								式	1			
						p l	<u> </u>			<u> </u>		
						第 <mark>23</mark> 表						
48	第 15 表				2	N = V					(1m ² ≝	í 9)
	h «		JI.		00m ² 当り)	名 称	形状	単	. 位 数 :	量 摘	要	
	名 称		状		要	世 話 役			人	第2	20表	
	世話役			人 表12		普 通 作 業 員	Į.		人	第2	21表	
	普通作業員		· ***** 3\	人 表13		バックホウ運転費	' 山積000m³(平積0)00m ³)	寺間	第2	22表	
	バックホウ運転費		-槓000m³)	時間 表14		諸雑費			式 1	端数	(処理	
	諸雑費			式 1 端数処		計				100m	² 当り	
	計 1 m ² 当たり			100m ² 当 計/100		1 m ² 当たり					100m ²	
50	路盤工(施工幅 1.8m; 第 21 表	未満)100m²・1 層当	的 単価表			路盤工(施工幅 1.8m 第 29 表	ı 未満) <mark>1m²</mark> ・1 層当り	単価表				
	372130				(100m ² ・1層当り)		·		ı			$(1m^2 \cdot 1)$
	名 称	規格	単 位	数量	摘要		規格	単 位	1	数量		
	普通作業員				100 女	名 称	が 竹	 			揺	更 要
			人			普通作業員	八九 竹	人			Ĵ	新 要 第 <mark>26</mark> 表
			m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第18表	普通作業員 路盤材		人 m³		m)×(1+ロス率)	j	新 要 第 <mark>26</mark> 表 第 <mark>28</mark> 表
	<u>路盤材</u> タンパ運転	60~80kg	_			普通作業員 路盤材 タンパ運転	60~80kg	人 m ³ 日			j j	第 <mark>26表</mark> 第 <mark>28表</mark> 第 <mark>27</mark> 表
		60~80kg	m^3		第18表 第20表	普通作業員路盤材タンパ運転諸雑費		人 m³			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	第 <mark>26表</mark> 第28表 第27表 器数処理
	タンパ運転	60~80kg	m ³ 日	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第18表 第20表 第19表	普通作業員路盤材タンパ運転諸雑費計		人 m ³ 日			第 第 10	新 要 第26表 第28表 第27表 計数処理 10m ² 当り
	タンパ運転 諸雑費	60~80kg	m ³ 日	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第18表 第20表 第19表 端数処理	普通作業員路盤材タンパ運転諸雑費		人 m ³ 日			第 第 10	第 <mark>26表</mark> 第28表 第27表 器数処理
	タンパ運転 諸雑費 計		m ³ 日 式	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ²	普通作業員路盤材タンパ運転諸雑費計	60~80kg	人 m³ 日 式			第 第 10	新 要 第26表 第28表 第27表 計数処理 10m ² 当り
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m.		m ³ 日 式	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り	普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m	60~80kg	人 m³ 日 式	100×厚さ(第 第 10 音	第26表 第28表 第27表 對数処理 $100m^2$ 当り $1/100m^2$
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m. 第 22 表	以上)100m ² ・1 層当	m ³ 日式 1 日式 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ²	普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表	60~80kg ロ以上) 1m²・1 層当り	人 m³ 日 式 単価表	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1	第 第 10 言	第26表 第28表 第27表 湯数処理 10m ² 当り 十/100m ²
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m. 第 22 表	以上)100m ² ・1 層当	m ³ 日 式	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ²	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表 	60~80kg ロ以上) 1m²・1 層当り	人 m³ 日 式 単価表	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1	道 第 10 言	第26表 第28表 第27表 第27表 影数処理 10m ² 当り 十/100m ²
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m. 第 22 表	以上)100m ² ・1 層当 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型	m ³ 日式	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 数量	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ² (100m ² ・1層当り) 摘 要 第18表	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表 名 称 普通作業員	50~80kg 以上)1m ² ・1 層当り 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型	人 n³ 日式 単価表	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 女 量	描 第 10 言	第26表 第28表 第27表 計数処理 100m ² 当り 十/100m ² (1m ² ・1層 要
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m. 第 22 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転	以上)100m ² ・1 層当 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m ³ 日式 ゴ もり単価表 単位 人 m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 数量	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ² (100m ² ・1層当り) 摘 要 第18表 第20表	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転 	60~80kg 以上)1m ² ・1 層当り 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	人 m ³ 日式 単価表 単 人 m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 女 量	端 10 言 第 第	第26表 第28表 第27表 第27表 第27表 第27名 第26表 第28表
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 22 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転	以上)100m ² ・1 層当 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型	m ³ 日 式 るり単価表 単 位 人 m ³ !!	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 数量	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ² (100m ² ・1層当り) 摘 要 第18表 第20表 第19表	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転 タンパ運転 	50~80kg 以上)1m ² ・1 層当り 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型	人 n³ 日式 単価表 単 位	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 女 量	第 第 第 第	第26表 第28表 第27表 第27表 影数処理 10m ² 当り 十/100m ² (1m ² ・1層 要 第26表 第28表
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m. 第 22 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転 タンパ運転 諸雑費	以上)100m ² ・1 層当 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m ³ 日式 ゴ もり単価表 単位 人 m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 数量	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ² (100m ² ・1層当り) 摘 要 第18表 第20表 第19表 第19表 端数処理	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転 タンパ運転 諸雑費 	60~80kg 以上)1m ² ・1 層当り 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	人 m ³ 日式 単価表 単 人 m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 女 量	指 第 第 第 第 第 第	第26表 第28表 第27表 湯数処理 100m ² 当り 十/100m ² (1m ² ・1厘 要 第26表 第28表 第27表
	タンパ運転 諸雑費 計 1 m ² 当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 22 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転	以上)100m ² ・1 層当 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m ³ 日 式 るり単価表 単 位 人 m ³ !!	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 数量	第18表 第20表 第19表 端数処理 100m ² 当り 計/100m ² (100m ² ・1層当り) 摘 要 第18表 第20表 第19表	 普通作業員 路盤材 タンパ運転 諸雑費 計 1 m²当り 路盤工(施工幅 1.8m 第 30 表 名 称 普通作業員 路盤材 振動ローラ運転 タンパ運転 	60~80kg 以上)1m ² ・1 層当り 規 格 排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	人 n³ 日式 単価表 単 位	100×厚さ(m)×(1+ロス率) 1 女 量	指 第 第 第 第 第 第	第26表 第28表 第27表 第27表 影数処理 10m ² 当り 十/100m ² (1m ² ・1層 要 第26表 第28表

計/100m²

1 m²当り

計/100m²

1 m²当り

		:	現行(平成 25 年度)					改定(平成 26 年度)	
(4) 単価表					(4) 単価表				
不陸整正工(施工幅	1.8m 未満)100m ² ・1	層当り単位	 表		不陸整正工(施工幅	1.8m 未満)1m ² ・1層	勇当り単価	表	
第 28 表					第 36 表				
31 20 X				(100m ² ・1層当り)	7,002				(<mark>1m²</mark> ・1層当
名 称	規格	単 位	数量	摘 要	名 称	規格	単 位	数量	摘要
普通作業員		人		第25表	普通作業員		人		第33表
補足材		m^3	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第27表	路盤材		m^3	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第35表
タンパ運転	60∼80kg	目		第26表	タンパ運転	60∼80kg	日		第34表
諸雑費		式	1	端数処理	諸雑費		式	1	端数処理
計				100m ² 当り	計				100m ² 当り
1 m ² 当り				計/100m ²	1 m ² 当り				計 $/100$ m 2
第 29 表	1.8m以上)100m ² ·1 履 規 格	単位		(100m ² ・1層当り) 摘 要	第 37 表	規格	単位	数量	(<mark>1m²・</mark> 1層当 摘 要
普通作業員	八九 1行	上			普通作業員	/90 TH	人	<u>м</u> ±	
補足材	1	m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第27表	路盤材		m ³	100×厚さ(m)×(1+ロス率)	第35表
IIII/C P1	排出ガス対策型	III	100.1,4-C (m) 1. (1 1 1 2 1 1)	7,1212	SH IIIE 1.3	排出ガス対策型		20010)] C (m)) V-0-24
振動ローラ運転	搭乗式 コンバインド型 3~4t	日		第26表	振動ローラ運転	搭乗式 コンバインド型 3~4t	日		第34表
タンパ運転	60∼80kg	日		第26表	タンパ運転	60∼80kg	日		第34表
諸雑費		式	1	端数処理	諸雑費		式	1	端数処理
計				100m ² 当り	計				100m ² 当り
1 m ² 当り				計 $/100$ m ²	1 m ² 当り				計 $/100$ m ²
				#T/100m	<u>1 m~当り</u>	<u> </u>			計/100m²

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
P153	1) ダンプトラック(4t、2t 積車)による 10m³当り運搬日数は次表を標準とする。	1) ダンプトラック(4t、2t 積車)による 10m³当り運搬日数は次表を標準とする。
	第 31 表 $(10m^3 \pm 9)$	第 39 表 $(10\text{m}^3 \pm 9)$
	ボックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	恒込機械・規格 山積0.08m³(平積0.06m³) 運搬機種・規格 ダンプトラック 2t車	恒込機械・規格 山積0.08m³(平積0.06m³) 運搬機種・規格 ダンプトラック 2t積
	DID区間: なし	DID区間: なし
	運搬距離(km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 以下	運搬距離 (km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 4.0 5.0 6.5 9.0 11.5 16.5 20.0 以下
	運搬日数(日) 0.56 0.66 0.71 0.81 0.86 0.96 1.06 1.16 1.36 1.56 1.86	運搬日数 (日) 0.5 0.6 0.65 0.75 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0
	連 版 距 離 (km) 以下 以下	DID区間:あり SE tim UE 解 (1) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.5 6.0 8.0 11.0 15.0 20.0
	運搬日数(日) 2.36 3.06 DID区間: あり	連搬 ^{融 (km)} 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下
		運搬日数 (日) 0.5 0.6 0.7 0.8 0.85 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0
	運搬距離 (km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 4.0 5.0 6.5 8.0 11.0 以下	(10m³当り)
	運搬日数 (日) 0.56 0.66 0.71 0.81 0.86 0.96 1.06 1.16 1.36 1.56 1.86	積込機械・規格
		運搬機種・規格 ダンプトラック 2t積
	運搬日数 (目) 2.36 3.06 (10m ³ 当り)	DID区間:なし 対理 form (1-m) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 17.0 20.0
	バックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	
	「類点ででできる。 山積0.13m³(平積0.10m³) 運搬機種・規格 ダンプトラック 2t車	運搬日数 (日) 0.5 0.6 0.65 0.75 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0 DID区間: あり
	DID区間: なし	運搬距離 (km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 4.0 5.0 6.5 8.0 11.0 15.0 20.0 以下
	運搬距離(km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以	運搬日数 (日) 0.5 0.6 0.65 0.75 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0
	運搬日数(日) 0.5 0.6 0.65 0.75 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8	
	運搬距離 (km) 17.0 20.0 以下 以下 以下	
	運搬日数 (日) 2.3 3.0 DID区間: あり	1
	SEE HOU, DES 186F (1) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 4.0 5.0 6.5 8.0 11.0	
	連搬 印 (km) 以下 以下 <td></td>	
	運搬距離 (km) 15.0 20.0 以下 以下	
	運搬日数 (日) 2.3 3.0	

	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)					
	(10m ³ 当り)_	(10m³当り)					
積込機械・	パックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 規格	バックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 積込機械・規格					
運搬機種・	山槓0. 28m(平槓0. 20m)	恒 ^{- (}					
上 水 水 生	DID区間: なし	DID区間: なし					
運搬距離	(km) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.5 4.5 5.5 6.5 8.0 10.5	運搬距離 (km) 以下					
運搬日数 (理 撤 ^{理 職 (km)} 以下					
運搬距離	(1.) 14.0 20.0	DID区間: あり					
運搬日数 (運搬距離(km) 0.5 1.0 1.5 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0 7.5 9.5 12.5 17.5 20.0 以下 以下					
建	DID区間: あり	運搬日数 (日) 0.4 0.5 0.55 0.65 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0					
運搬距離	(km) 0.5 1.0 1.5 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0 7.5 9.5 12.5 以下						
運搬日数 (
運搬距離	(1.) 17.5 20.0						
運搬日数 (
医	(10m ³ 当り)	$(10\text{m}^3 \pm 9)$					
積込機械・	バックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	積込機械・規格 バックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.28m³(平積0.20m³)					
運搬機種・	山積0.28m(平積0.20m)	運搬機種・規格ダンプトラック 4t積					
建 掀機性•	DID区間: なし	DID区間: なし					
運搬距離	(1) 0.5 1.0 2.0 3.0 4.5 6.5 10.0 13.0 19.0 20.0	運搬距離 (km) 0.5 1.0 2.0 3.0 4.5 6.5 10.0 13.0 19.0 20.0 以下					
		運搬日数(日) 0.25 0.3 0.35 0.4 0.5 0.6 0.8 0.9 1.1 1.5					
運搬日数	(日) 0.25 0.3 0.35 0.4 0.5 0.6 0.8 0.9 1.1 1.5 DID区間: あり	DID区間 : あり					
運搬距離	(1) 0.5 1.0 2.0 3.0 4.5 6.5 9.0 12.0 17.0 20.0	運搬距離 (km) 0.5 1.0 2.0 3.0 4.5 6.5 9.0 12.0 17.0 20.0 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以					
運搬日数		運搬日数(日) 0.25 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.1 1.5					
里 版 口 级	(日) 0.25 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.1 1.5 $(10\mathrm{m}^3当り)$	(10m³当り)					
積込機械・	バックホウ クローラ型・排出ガス対策型(第1次基準値)	バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1次基準値) 積込機械・規格 山積0.45m³(平積0.35m³)又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.45m³[平積0.35m³]					
	山槓U. 45m (平槓U. 35m)						
運搬機種・	規格 ダンプトラック 4t車 DID区間: なし	運搬機種・規格 ダンプトラック 4t積					
運搬距離	(1) 0.5 1.0 2.0 3.5 5.0 6.5 8.0 10.5 13.5 20.0	連					
		See Hall DE 1886 (1.1) 0.5 1.0 2.0 3.5 5.0 6.5 8.0 10.5 13.5 20.0					
運搬日数	(日) 0.2 0.25 0.3 0.4 0.5 0.55 0.7 0.8 0.9 1.1 DID区間:あり						
運搬距離	(1) 0.5 1.0 2.0 3.5 5.5 7.5 9.5 12.5 17.5 20.0	運搬日数(日) 0.2 0.25 0.3 0.4 0.5 0.55 0.7 0.8 0.9 1.1 DID区間: あり					
	UT UT UT UT UT UT UT UT						
運搬日数	(日) 0.2 0.25 0.3 0.4 0.55 0.7 0.8 0.9 1.1 1.5						
		運搬日数(日) 0.2 0.25 0.3 0.4 0.55 0.7 0.8 0.9 1.1 1.5					

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
P155	2) ダンプトラック (10t 積車)による 100m³ 当り運搬日数は次表を標準とする。 第 32 表	2) ダンプトラック (10t 積車)による 100m³ 当り運搬日数は次表を標準とする。 第 40 表
	(100m³当り)	(100m ³ 当り) バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)又は クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)山積0.45m ³ [平積0.35m ³]
		運搬機種・規格 ダンプトラック 10t積 DID区間: なし UT 以下
	 運搬日額(Hm) 以下 /li>	DID区間: あり 運搬距離(km) 0.5 以下
	(100m³当り) 積込機械・規格	(100m ³ 当り) バックホウ クローラ型 クレーン機能付 吊能力2.9t 排出ガス対策型(第2次基準値) 積込機械・規格
	 運搬距離 (km) 0.5 以下 /li>	DID区間: なし 運搬距離 (km) 0.5 以下
	運搬距離(km) 0.5 以下	世報日数(日) 3.1 3.8 4.7 6.3 9.4 DID区間:あり 正報日数(日) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0 5.0 6.0 7.5 以下

		玥	見行(平成 25 年度)					改定(平成	26 年度)	
(3) 単価表 1) 発生土処理 第 33 表					(3) 単価表 1) 発生土処理 第 41 表					
名 称 発生土運 処 分 計			単位数量 摘要 m³ 必要に応じて計上	1m ³ 当り)	名 称 発生土運搬 処 分 計		形状ラック土砂運搬	単位 m ³		(1m³当り) 摘 要 :応じて計上
発生土運搬費 ; 34 表					2) 発生土運搬費 第 42 表					(1m³当り)
名 称 シプトラック 計 1m³当り			(10 単 位 数 量 摘 要 日 10m ³ 当り 計/10m ³	0m ³ 当り)	名 称 ダンプトラック 計 1m ³ 当り		形 状 t2t積	日日	数 量 10m ³ 当 計/10r	摘 要 り
第 35 表			(10	Om ³ 当り)	第 43 表		T	Iw u.I	W E	(1m³当り)
名 称 ダンプトラック 計 1m ³ 当り		形状単	単位数量 摘要 日 100m³当り 計/100m³		名 称 ダンプトラックご 計 1m³当り		形 状	日日	数 重 100m ³ 計/100	
4)機械運転表 § 36 表					(4) 機械運転表 第 44 表					
	規格	運転日当り運転時間	指定事項	7	機械名	規 格	適用単価表	運転労務	指定事項 務数量 → 1.	00
機械名	10t積		運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 72 機械損料数量 → 1.22			10t積		燃料消		
機 械 名	10t積 4t積		燃料消費量 → 72 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 41 機械損料数量 → 1.22	_	ダンプトラック	10t積 4t積	第45表	燃料消機械損料 医分泌 医大线性 医大线性 医大线性 医大线性 医大线性 医大线性 医大线性 医大线性	斗数量 → 1.	22 00 22
			燃料消費量 → 72 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 41		ダンプトラック		第45表	燃料損機械 転料損運燃機 転料損運燃料 転料	斗数量 → 1. 务数量 → 1. 費 量 → 41	22 00 22 00 6
	4t積		燃料消費量 → 72 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 41 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 26		ダンプトラック	4t積 2t積		燃料損機械 転料損運燃機 転料損運燃料 転料	→ 1. 参数量 → 1. 費量 → 41 → 43 →	22 00 22 00 3 22
	4t積		燃料消費量 → 72 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 41 機械損料数量 → 1.22 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 26			4t積 2t積 トラック運転1 F 規格	当当り単価表	燃機 機械 重燃機 運燃機 軽料損 一 類 類 機 機 板 一 数 機 機 板 長 料 損 人 形 利 長 利 長 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	→ 1. 参数量 → 1. 費量 → 41 → 43 →	22 00 22 00 3 22

25 年度版 現行(平成25年度) 頁番号 P157 4) 使用材料 ① アスファルト混合物 アスファルト混合物の使用量は、次式による。 使用量(t)=設計面積(m²)×仕上りの厚さ(mm)/1,000×締固め後の密度(t/m³)×(1+ロス率) 第41表 ロス率 種 別 歩車道区分 ロス率 車道及び路肩 +0.07アスファルト混合物 歩道 +0.10(注) 1. ロス率は、材料ロスに対する材料補正である。 2. すりつけに使用する混合物は、ロス率に含まないので別途計上する。 P158 (3) 単価表 1) 舗装工(人力施工)100m2・1 層当り単価表 第 45 表

				(100m²・1層当り)
名 称	規格	単 位	数量	摘要
世 話 役		人	第39表×100/D	第39.40表
特殊作業員		"	" ×100/D	IJ
普 通 作 業 員		"	" ×100/D	IJ
アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm) /1,000×締固後密度 (t/m³)× (1+ロス率)	第41表
瀝 青 材 料		Q		第42表 (本舗装の場合等必要に応じて計上)
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	第38表×100/D	第38.40表
振動コンパクト運転	40∼60kg	IJ	" ×100/D	II
砂 散 布 費		式	1	第43表 (本舗装の場合等必要に応じて計上)
諸 雑 費		"	1	第44表
計				100m ² 当り
1 m²当り	·			計/100m ²

4) 使用材料

① アスファルト混合物

アスファルト混合物の使用量は、次式による。

使用量(t)=設計面積(m²)×仕上りの厚さ(mm)/1,000×締固め後の密度(t/m³)×(1+ロス率)

改定(平成26年度)

第50表 ロス率

種別	歩車道区分	ロス率
アフフッルト泪入脇	車道及び路肩	+0.07
アスファルト混合物	歩道	+0.10

- (注) 1. ロス率は、材料ロスに対する材料補正である。
 - 2. すりつけに使用する混合物は、ロス率に含まないので別途計上する。

アスファルト混合物の締固め後密度は、次表を参考とする。

第51表 アスファルト混合物締固め後密度

		(t/m³)
区 分アスファルト混合物	車道及び路肩	歩 道
粗粒度及び密粒度アスファルト混合物	2. 35	2. 20
細粒度アスファルト混合物	2.30	2. 15
開粒度アスファルト混合物	1. 94	_
瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材	2. 35	_

- (注) 密粒度アスファルト混合物及び細粒度アスファルト混合物にはそれぞれギャップアスファルト混合物を含む。
- (3) 単価表
- 1) 舗装工(人力施工) 1m²・1 層当り単価表

第55表

(<mark>1m²・</mark>1層当り)

				(1m ² ・1層当り)
名 称	規格	単 位	数量	摘要
世 話 役		人	第48表×100/D	第 <mark>48. 49</mark> 表
特殊作業員		IJ	" ×100/D	II
普 通 作 業 員		IJ	" ×100/D	II
アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm) /1,000×締固後密度 (t/m³)× (1+ロス率)	第50表
瀝 青 材 料		l		第52表 (本舗装の場合等必要に応じて計上)
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	第47表×100/D	第 47. 49 表
振動コンパクト運転	40∼60kg	"	" ×100/D	II
砂散布費		式	1	第 <mark>53</mark> 表 (本舗装の場合等必要に応じて計上)
諸 雑 費		"	1	第54表
計				100m ² 当り
1 m ² 当り				計 $/100$ m 2

現行(平成 25 年度)												改定	三(平成 26 年	F 度)		
1-3-4	管挿入歩掛表							1-3-4	管挿入歩掛表							
	管内鋳鉄管挿入所	要時間							一 管内鋳鉄管挿入	、所要時間						
項目			管挿入工			備	考	項目		管挿入工					備考	
	管据付時間①	管継手時間(② 管挿入時	間③管挿入	工所要(計) +②+③				管据付時間①	管継手	時間②	管挿入時間③	管挿入工所(1)+(2)	所要(計))+③)		
管路	1本当り(4m) (時間)	普通継手(耐加 1本当り (4 (時	m) 1本当り((4m) 普通約	迷手(耐震)			呼び径 (mm)	1本当り(4m) (時 間)	普通継号 1本当り 間	(4m) (時	1本当り(4m) (時 間)	普通継手 1本当り	(耐震)		
φ 75	0. 15	0. 40 (0.	52) 0.21	0, 76	(0.88)	ストラット		φ 75	0. 15	0.40	(0.52)	0. 21	0.76	(0. 88)	ストラット	-
φ 100	0. 15	0.40 (0.		0. 76	(0.88)	N=8個/4m		φ 100	0. 15	0. 40	(0. 52)	0.21	0.76	(0.88)	N=8個/4m	
φ 150	0. 15	0.48 (0.		0. 84	(0.98)	ストラット取行 0.0167h/個(φ 150	0. 15	0.48	(0.62)	0. 21	0.84	(0, 00)	ベトラット取付時間 0. 0167h/個(1分/個)	,
φ 200	0.15	0.56 (0.		0. 92	(1.09)	0.0167n/個(ジャッキ操作		φ 200	0. 15	0. 56	(0.73)	0.21	0.92		0.0107m/ 個 (1分/ 個) ジャッキ操作時間	
φ 250	0.15	0.64 (0.		1.00	(1. 19)	押し操作	9秒/回	φ 250	0. 15	0. 64	(0.83)	0.21	1.00	(1. 19)	押し操作 9秒/回	
φ 300	0. 15	0.72 (0.		1. 08	(1. 30)	引き操作		ф 300	0. 15	0.72	(0.94)	0.21		(1.30)	引き操作 17秒/回	
φ 350	0.20	0.72 (0.		1. 13	(1. 35)	0.0072時間/ 1本当り挿入時		φ 350	0.20	0.72	(0.94)	0.21	1. 13	(1. 35)). 0072時間/個 (26秒) 回)	′ [
φ 400	0. 20	0.80 (1.	04) 0.21	1. 21	(1.45)	$(t) = 8 \times (0)$		φ 400	0.20	0.80	(1.04)	0.21	1.21	(1. 45)	本当り挿入時間(t)	
φ 450	0. 20	0.88 (1.	14) 0. 21	1. 29	(1.55)	$0.0072) \times 1/$		φ 450	0.20	0.88	(1. 14)	0.21	1. 29	(1. 55)	$(t) = 8 \times (0.0167 +$	
φ 500	0. 20	0.96 (1.	25) 0. 21	1. 37	(1.66)	0.21時間/本	·	ф 500	0.20	0.96	(1. 25)	0.21	1. 37	(1.66)	0.0072)×1/0.9= 0.21時間/本	
ϕ 600	0.20	1. 12 (1.	46) 0.21	1. 53	(1.87)			φ 600	0.20	1.12	(1.46)	0.21	1.53	(1.87)	0.21时间/本	
φ 700	0.20	1. 28 (1.	66) 0.21	1. 69	(2.07)			φ 700	0.20	1. 28	(1.66)	0.21	1.69	(2.07)		
	雑 費 材 料 費 (発 計	泡スチロール、	式 合板) m ²	10	計÷	10		型枠	計	発泡スチロ	ュール、台	式 合板) m ²	10	計÷	10	
	m ² 当り				рг	10			n ² 当り				<u> </u>	₽I •	10	
1-3-6	水道管継手歩掛表 継手工(NS 形を除						(1箇所当り)		水道管継手歩挂 継手工(NS 形を						(1	簡所当
1-3-6 : A-3-1 ;	継手工(NS 形を除	<)	1 1		モルタル充填		(1箇所当り)	A-3-1	継手工(NS 形を	除く)	7 /b-W- D	T		モルタル充		.箇所当
1-3-6 : A-3-1 ; 管名	継手工(NS 形を除 配管工 (人)	普通作業員	諸雑費	配管工(人)	モルタル充填 普通作業員 (人)		(1箇所当り) 備 考	A-3-1 を 呼び (mm)	継手工(NS 形を <mark>径</mark> 配管]) (人)	除く)	通作業員 (人)	諸雑費	配管工(人)	モルタル充 普通作業 (人)	填工	1箇所当備
1-3-6 : A-3-1 ; 管径 (mm	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05	普通作業員 (人)	諸雑費 労務費の1%	配管工 (人) 一	普通作業員 (人)	エ モルタル量 (m³) —		A-3-1 デ 呼び (mm)	継手工(NS 形を <mark>径</mark> 配管コ) (人) 下 0.05	除く)		諸雑費 労務費の1%		普通作業	填工 員 モルタル量	
1-3-6 : A-3-1 ; 管径 (mm 75以 100	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05	普通作業員 (人) —	労務費の1%	配管工 (人) — —	普通作業員 (人) — —	エ モルタル量 (m³) — —		A-3-1 デ 呼び (mm) 75以 100	継手工(NS 形を 径 配管コ (人) 下 0.05 0.05	除く) 工 普i	(人) — —		(人)	普通作業 (人)	填工 員 モルタル量 (m³) — —	
1-3-6 A-3-1 管径 (mm 75以 100	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06	普通作業員 (人) — — —	労務費の1% " "	配管工 (人) — — —	普通作業員 (人) — — —	エ モルタル量 (m³) — — —		A-3-1 存 呼び (mm) 75以 100 150	継手工(NS 形を 径 配管コ (人) 下 0.05 0.05 0.06	除く) 工 普i	(人) — — —		(人) — — —	普通作業 (人) — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — —	
1-3-6 A-3-1 管径 (mm 75以 100 150 200	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07	普通作業員 (人) — — —	労務費の1% " " "	配管工 (人) — — — —	普通作業員 (人) — — — —	エ モルタル量 (m³) — — —		A-3-1 を 呼び (mm) 75以 100 150 200	継手工(NS 形を を 配管コ (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07	除く) 工 普i	(人) — —		(人)	普通作業 (人)	填工 員 モルタル量 (m³) — — — —	
1-3-6 A-3-1 管径 (mm 75以 100 150 200 250	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08	普通作業員 (人) — — — — — — — — — —	労務費の1% " " " "	配管工 (人) — — — — —	普通作業員 (人) — — — — —	エ モルタル量 (m³) — — — — —		A-3-1 が (mm) 75以 100 150 200 250	継手工(NS 形を 配管コ (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08	除く)	一 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		(人) — — — —	普通作業 (人) — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 : A-3-1 ; 管径 (mm 75以 100 150 200 250 300	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09	普通作業員 (人) — — — — —	労務費の1% " " " " "	配管工 (人) — — — —	普通作業員 (人) — — — — — —	エ モルタル量 (m³) — — — — — —		A-3-1 分 呼び (mm) 75以 100 150 200 250 300	継手工(NS 形を 径 配管コ (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09	除く) 工 普泊	一 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —		(人) - - - - -	普通作業 (人) — — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 : A-3-1 ; 管征 (mm 75以 100 150 250 250 300 350	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09	普通作業員 (人) — — — — — —	労務費の1% " " " " "	配管工 (人) — — — — — — —	普通作業員 (人) — — — — — — —	エ モルタル量 (m³) - - - - - - - - - - - - -		A-3-1 存 呼び (mm) 75以 100 150 200 250 300 350	継手工(NS 形を (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09	除く) - 普;	(人)		(人) - - - - - -	普通作業 (人) — — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 A-3-1 ; 管径 (mm 75以 100 150 200 250 300 350 400	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10	普通作業員 (人) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	労務費の1% " " " " " "	配管工 (人) — — — — — — —	普通作業員 (人) — — — — — — — —	エ モルタル量 (m³) - - - - - - -		A-3-1 を (mm) 75以 100 150 200 250 300 350 400	継手工(NS 形を (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10	除く) - 普;	(人)		(人) - - - - - - -	普通作業 (人) — — — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 A-3-1 等径 (mm 75以 100 150 200 250 300 350 400 450	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.09 0.10 0.11	普通作業員 (人) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	労務費の1% " " " " " " "	配管工 (人) — — — — — — — —	普通作業員 (人) — — — — — — — —	エ モルタル量 (m³)		A-3-1 が (mm) 75以 100 150 200 250 300 350 400 450	継手工(NS 形を (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10 0.11	除く)	(人)		(人) - - - - - - - -	普通作業 (人) — — — — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 A-3-1 管径 (mm 75以 100 150 250 300 350 400 450 500	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10 0.11 0.12	普通作業員 (人) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	労務費の1% " " " " " " "	配管工 (人) — — — — — — — —	普通作業員 (人) — — — — — — — — —	エ モルタル量 (m³)		A-3-1 分 呼び (mm) 75以 100 150 200 250 300 350 400 450 500	継手工(NS 形を (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10 0.11	除く)	(人)		(人) - - - - - - - -	普通作業 (人) 一 一 一 一 一 一	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	
1-3-6 A-3-1 等径 (mm 75以 100 150 200 250 300 350 400 450	継手工(NS 形を除 配管工 (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10 0.11 0.12 0.14	普通作業員 (人) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	労務費の1% " " " " " " "	配管工 (人) — — — — — — — —	普通作業員 (人) — — — — — — — —	エ モルタル量 (m³)		A-3-1 が (mm) 75以 100 150 200 250 300 350 400 450	継手工(NS 形を (人) 下 0.05 0.05 0.06 0.07 0.08 0.09 0.09 0.10 0.11 0.12 0.14	除く) 普達	(人)		(人) - - - - - - - -	普通作業 (人) — — — — — — — —	填工 員 モルタル量 (m³) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	

(1箇所当り)

0.12

0.13

0.14

0.11

0.12

0.10

0.10

0.11

0.12

0.13

0.14

0.11

0.12

0.10

0.10

0.11

0.11

0.12

0.13

0.10

0.11

0.09

0.09

0.10

0.11

0.12

0.13

0.10

0.11

0.09

0.09

0.10

0.10

0.11

0.12

0.09

0.10

0.08

0.08

0.09

25 年度版 現行(平成25年度) 頁番号 A-3-2 継手工(NS形) (1箇所当り) 普通作業員 管径 配管工 諸径費 (人) 労務費の1% 75 0.05 100 0.05 150 0.05 200 0.06 250 0.07 P166 1-4-2 サドル分水栓建込み歩掛表 第1表 配水管 20 管轄□○径 配管工 普通作業員 配管工 曹通作業員 配管工 普通作業員 配管工 普通作業員 配管工 普通作業員 配管工 曹通作業員 配管工 曹通作業員 75 100 0.07 0.07 0.08 0.09 0.08 0.09 0.10 150 200 0.08 0.09 **-**0.08 0.09 0.10 0.10 0.11 250 300 350 \ 0.09 0.09 0.10 0.10 0.11 0.11 0.12 400 40 0.06 **}**0.05 0.05 0.06 0.07 0.07 50 75 = 0.06 0.06 0.07 0.07 0.08 0.08 0.09 100 ル 125 管 150 \>0.07 0.07 0.08 0.08 0.09 0.09 0.10 200 50 0.05 0.05 0.06 0.06 75 0.06 0.06 0.07 0.07 0.08 100 0.06 0.06 0.07 0.07 0.08 150 0.07 0.07 0.08 0.08 0.09 200

1-4-3 止水栓取付け歩掛表

第2表

(1箇所当り)

	径	銅、鉛管用		鋼管用		VF	用	PP用		
Н	1生	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	
13		0.11	0.05	0.07	0.04	0.05	0.03	0.04	0.02	
20	1	0.13	0.07	0.09	0.04	0.07	0.03	0.05	0.02	
25		0.17	0.09	0.12	0.07	0.09	0.05	0.06	0.04	
30	1	0.17	0.09	0.14	0.07	0.11	0.05	0.08	0.04	
40	1	0.21	0.11	0.16	0.09	0.12	0.07	0.08	0.05	
50	1	0.24	0. 12	0. 18	0.10	0.13	0.08	0.09	0.05	

A-3-2 継手工(NS形)

(1箇所当り)

改定(平成26年度)

呼び径 (mm)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費
75	0.05	_	労務費の1%
100	0.05	_	"
150	0.05	_	"
200	0.06	_	"
250	0.07	_	11

1-4-2 サドル分水栓建込み歩掛表

第1表

(1箇所当り)

										(1箇所当り)			
	配水管	1	3	2	0	2	5	3	0	4	.0	5	0
管種	呼び径(mm)	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員
	75												
	100	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12
Δ .1.	150	J											
鋳鉄管	200	$_{0.08}$	0. 08	0.09	0.09	0. 10	0.10	0. 11	0. 11	0. 12	0. 12	0. 13	0. 13
管	250] * * * *	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	V. 11	V. 11	0.12	0.15	0.10	0.10
	300												
		0.09	0.09	0. 10	0.10	0. 11	0.11	0. 12	0. 12	0.13	0. 13	0.14	0. 14
	400	Į											
	40	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	0.07	_	_				_
1.00	50] ** **											
ビニ	75	0.06	0.06	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0. 10	0.11	0. 11
ル	100	Į											
管	125												
		0.07	0. 07	0.08	0.08	0.09	0.09	0. 10	0.10	0.11	0. 11	0. 12	0. 12
	200												
ポ	50	_	_	0.05	0.05	0.06	0.06	_	_	_	_	_	_
リエ	75	-	_	0.06	0.06	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10
チ	100	-	_	0.06	0.06	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10
レン	150	_	_	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10	0.11	0. 11
管	200	_	_	_	_	_	_	_	_	_	—	_	_

1-4-3 止水栓取付け歩掛表

第2表

(1箇所当り)

_								(20)1177				
I	呼び径	銅、鉛管用		鋼管用		VF	·用	PP用				
l	(mm)	配管工			普通作業員	配管工	普通作業員	配管工	普通作業員			
	13	0. 11 0. 05		0.07	0.04	0.05	0.03	0.04	0.02			
I	20	0.13	0.07	0.09	0.04	0.07	0.03	0.05	0.02			
I	25	0.17	0.09	0.12	0.07	0.09	0.05	0.06	0.04			
	30	0.17	0.09	0.14	0.07	0.11	0.05	0.08	0.04			
I	40	0.21	0.11	0.16	0.09	0.12	0.07	0.08	0.05			
	50	0. 24 0. 12		0.18	0.10	0.13	0.08	0.09	0.05			

1-4-4 第 3 表 口径 13 20 25	鋼管切断ネジ切	り歩掛表										
口径 13 20					1-4-4	鋼管切断ネジ	切り歩掛表					
13 20					第3表							
13 20		74 -H1 I		(1箇所当り)		1 "	76 -th					(1箇所当
20	一	務 費 普通作業員	諸 径 費	適用	呼び径 (mm)	<u></u>	務費 普通作業員		雑費	+	適	用
20	0.04	10.03 0.03			13	0.04	0.03					
11	0.04	0.03			20	0.04	0.03					
	0.05	0.04	労務費の3%	ネジ切りは、オースター使用による。	25	0.05	0.04	労務	費の3%	ネジ切	りは、オース	スター使用による
32	0.05	0.05			32	0.05	0.05					
40	0.06	0.05			40	0.06	0.05					
50	0.07	0.06			50	0. 07	0.06					
	不凍水栓取付け	歩掛表(VP用)				不凍水栓取付	け歩掛表(VP 用)					
第4表				(1箇所当り)	第4表							(1箇所当
	地	下式	地上式		呼び名	·	下式		地上式	T		
	配管工	普通作業員		作業員	(mm)	配管工				作業員	通	箇 用
13	0.06	0.04		06	13	0.06	0.04	0.11		. 06		
20	0.08	0.04	0. 13 0.	金がかけたチャルナス・グタール・ナク	20	0.08	0.04	0. 13		. 07	寒冷地にお	おける給水栓
25	0. 10 0. 12	0. 06 0. 06		及び立上り管の凍結防	25	0. 10	0.06	0. 17		. 09	及び立上り	管の凍結防
30 40	0. 12	0.08		⁰⁹ 止を目的とする。 11	30 40	0. 12 0. 13	0. 06 0. 08	0. 17 0. 21		. 09	止を目的と	:する。
50	0. 16	0. 08		11	50	0. 16	0. 08	0. 21		. 11		
① 小 ア. 討 第 10 表	細設計(新設、布	i設替)			第 10 表	細設計(新設、	布設替)					
補【	管径(mm) 床付深さ一定	350	300 250	200 150 100以下		<mark>呼び径</mark> (mm) 床付深さー:	350	300	250	200	150	100以下
正	(2.0m未満)	1.00	0. 96 0. 93	0. 92 0. 91 0. 90	正 _	(2.0m未満)	1.00	0.96	0.93	0. 92	0. 91	0.90
係数	床付深さ変化 (2.0m以上)	1. 31	1. 26 1. 22	1. 20 1. 19 1. 18	係	床付深さ変か (2.0m以上)	上 1.31	1. 26	1. 22	1. 20	1. 19	1. 18
	易設計				イ. 簡	易設計						
第 11 表		000	150 100	75 50	第 11 表		252		- ·	100		
	圣 (mm) 250 係 数 1.0		150 100 0.96 0.9				250 20 1. 0 0.		50 96	100 0. 94	75 0. 92	50 0. 7
	· 21 ***		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>	THI IE	DI X	1.0 0.	<u> </u>	<i>J</i> 0	v. Jt	0.34	0. 1
② 大	口径				② 大口	1径						
第 12 表					第 12 表							
	E (mm) 400∼		900 1000	- 			0~700	00 9	00	1000	1100	
補正	係 数 0.9	0.91	0. 92 0. 93	0.96	補正	係数	0.90 0.9	0.	92	0. 93	0.96	
管	E (mm) 120	0 1350	1500 16001	(E)	HT. TH	奴 ()	1000 1 10	-0 I	-00 I 1	200121.		
	係数 1.0		1.09 1.10				1200 13 1.00 1.0			00以上 1.10		
					[III]	VP 26A	1.00	1.	~~			

現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
第 14 表	第 14 表
指数 1 3 5 7	指数 1 3 5 7
主として郊外 主として小市 主として商業 1地域環境 又は住宅数 街地又は住居 地区又は住宅 一	主として郊外 主として小市 主として商業 1地域環境 又は住宅数 街地又は住居 地区又は住宅 ― ―
少量 地区 密集地 2道路幅員 広い 標準 狭い	少量 地区 密集地 2道路幅員 広い 標準 狭い
3埋設物 なし あり 多い 一	3埋設物 なし あり 多い 一
4土質 _ 大部分が検討を 要する	4土質 — 部分的に検討を 要する 要する
備考 1. 「地域環境」は住居等に対する振動、騒音の検討業務の度合いを示す。	備考 1. 「地域環境」は住居等に対する振動、騒音の検討業務の度合いを示す。
2.「道路幅員」は作業帯を確保したり残りの道路幅員が3.5mを標準とする。 3.「埋設物」は土工断面内に埋設物1本が設計区間の50%程度露出する場合を標準とする。	2. 「道路幅員」は作業帯を確保したり残りの道路幅院が.5mを標準をする。 3. 「埋設物」は土工断面内に埋設物1本が設計区間の50%程度露出する場合を「あり」とする。
4. 「土質」は軟弱地盤又は流動化しやすい砂質地盤等で、基礎構造又は仮設工法の検討業務の度合を示す。	4. 「土質」は軟弱地盤又は流動化しやすい砂質地盤で、基礎構造又は仮説工法の検討業務の度合いを示す。
第 16 表 管径 (mm) 700以下 800 900 1000 1100	第 16 表 「呼び径 (mm) 700以下 800 900 1000 1100
管径 (mm) 700以下 800 900 1000 1100 α 0.50 0.49 0.49 0.48 0.47	α 0.50 0.49 0.49 0.48 0.47
管径(mm) 1200 1350 1500 1600以上	呼び径(mm) 1200 1350 1500 1600以上 α 0.45 0.42 0.41 0.41
α 0. 45 0. 42 0. 41 0. 41	u 0.10 0.12 0.11
(6) 土工事を伴わない場合	(6) 土工事を伴わない場合
(6) 工工事を行わない場合 共同溝内等で土工事を伴わない工事の委託設計歩掛は、基本歩掛の 80%とする。	共同溝内等で土工事を伴わない工事の委託設計歩掛は、基本歩掛の 80%とする。
この場合、2-1-2 補正に準じて管径、延長及び工事案件数による補正を行う。	この場合、2-1-2 補正に準じて管径、延長及び工事案件数による補正を行う。
	(7) 複数管径を含む場合等の補正の考え方
	次の考え方により基本歩掛(第1表、第6表、第8表、第9表)を補正する。
	①適用する基本歩掛が同一で複数管径を含む場合
	・管径補正係数については、それぞれの管径における補正係数を設計延長で加重平均した値とする。
	・延長補正係数については、複数管径の合計設計延長に対する値とする。 ②適用する基本歩掛が異なる場合
	・適用する基本歩掛ごとに①の考え方により補正を行い、合算する。
	参考:設計人工の計算例
	①のケース:呼び径 200 mm・延長 100 m・新設、呼び径 300 mm・延長 300 m・新設(基本歩掛第 1 表)
	・管径補正係数=(100 m×0.92+300 m×0.96) / (100 m+300 m)=0.95
	・延長補正係数=0.70 (複数呼び径の合計設計延長=100 m+300 m=400 m の補正係数)
	・設計人工 =基本歩掛×管径補正係数×延長補正係数×その他の補正係数**
	=第1表歩掛×0.95×0.70×その他の補正係数**
	②のケース: <u>呼び径 200 mm・延長 100 m・新設</u> 、 <u>呼び径 300 mm・延長 300 m・新設</u> (基本歩掛第 1 表)
	<u>呼び径 400 mm・延長 200 m・新設</u> (基本歩掛第 8 表)
	a) <u>呼び径 200 mm・延長 100 m・新設</u> 、 <u>呼び径 300 mm・延長 300 m・新設</u> の設計人工(設計人工 a)
	・管径補正係数=0.95(①のケースと同様の考え方)
	・延長補正係数=0.70(")
	・設計人工 a) =第1表歩掛×0.95×0.70×その他の補正係数* b)呼び径 400 mm・延長 200 m・新設の設計人工(設計人工 b)
	・管径補正係数=0.90
	・延長補正係数=0.60
	・設計人工 b) = 第 8 表歩掛×0.90×0.60×その他の補正係数**
	c) 設計人工=設計人工a) +設計人工b)
	※その他の補正係数…設計条件による補正、工事案件数による補正、仮設配管による補正、土工事を伴わない場合の補
	※での他の伸上体数…設計条件による伸上、工事条件数による伸上、仮設配官による伸上、工工事を伴わない場合の伸 における各補正係数

平成 26 年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表 改定比較表 25 年度版 現行(平成25年度) 改定(平成 26 年度) 頁番号 P201 第11-2表 現地調査基本歩掛 第11-2表 現地調査基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業内容 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考 現地調查 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、各工種(土木、建築、電気)それぞれ1名としたものである。したがって、 2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木、建築、電気に係るものである。 業務に該当する工種がない場合は、その分歩掛から減じる。 業務に該当する工種がない場合は、それぞれ1工種につき、(歩掛×1/3)を減じる。 3-2-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 P208 3-2-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基本歩掛 第6表 設計協議基本歩掛 第6表 設計協議基本歩掛 1業務当り(単位:人) 主任技師 技師(B) 技師(C) 技術員 作業内容 技師長 技師(A) 備考 第1回打合せ 1.0 4.0 中 間 打 合 せ 1回当り 4.0 4. 0 最終打合せ 1.0 4.0 備考 1. 一般的な中間打合せは、設計計画、設計図作成、数量計算などの時点において、必要な打合せ回数を計上 する。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木、建築、機械、電気に係るものである。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、各工種(土木、建築、機械、電気)それぞれ1名としたものである。 業務に該当する工種がない場合は、それぞれ1工種につき、(歩掛×1/4)を減じる。 したがって、業務に該当する工種がない場合は、その分歩掛から減じる。 第7-2表 現地調査基本歩掛 第7-2表 現地調査基本歩掛 1業務当り(単位:人) 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考 作業内容 技師長 現地調査 5.10 5.10 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木、建築、機械、電気に係るものである。 2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、各工種(土木、建築、機械、電気)それぞれ1名としたものである。したがって、 業務に該当する工種がない場合は、それぞれ1工種につき、(歩掛×1/4)を減じる。 業務に該当する工種がない場合は、その分歩掛から減じる。

3-3-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基本歩掛

第6表 設計協議基本歩掛

P235

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
	八叶八	1.0		1X HP (D)	1X mp (0)	MMA	Vm· J
31 I II I C		1. 0	4.0				
中 間 打 合 せ			4.0	4.0			1回当り
最終打合せ		1.0	4.0				

備考 1. 一般的な中間打合せは、設計計画、設計図作成、数量計算などの時点において、必要な打合せ回数を計上で 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、各工種(土木、建築、機械、電気)それぞれ1名としたものである。 がって、業務に該当する工種がない場合は、その工種分を歩掛から減じる。

第7-2表 現地調査基本歩掛

1業務当り(単位:人)

1							->14334	/ (I 🕮 / •/
	作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
	現地調査			5. 1	5. 1			1回当り

備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。

2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、各工種(土木、建築、機会、電気)それぞれ1名としたものである。したがって 業務に該当する工種がない場合は、その工種分を歩掛から減じる。

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
現地調査			3.8	3.8			1回当り

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
第1回打合せ		1.0	4.0				
中 間 打 合 せ			4.0	4.0			1回当り
最終打合せ		1.0	4.0				

備考 1. 一般的な中間打合せは、設計計画、設計図作成、数量計算などの時点において、必要な打合せ回数を計上

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
現地調査			5. 10	5. 10			1回当り

第6表 設計協議基本歩掛

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
第1回打合せ		1.0	4.0				
中 間 打 合 せ			4.0	4.0			1回当り
最終打合せ		1.0	4.0				

- 備考 1. 一般的な中間打合せは、設計計画、設計図作成、数量計算などの時点において、必要な打合せ回数を計上
 - 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木、建築、機械、電気に係るものである。 業務に該当する工種がない場合は、それぞれ1工種につき、(歩掛×1/4)を減じる。

第7-2表 現地調査基本歩掛

1業務当り(単位:人)

作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
現地調査			5. 1	5. 1			1回当り

備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。

3-3-2-3 設計協議(基本設計及び詳細設計)基本歩掛

2. 技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木、建築、機械、電気に係るものである。 業務に該当する工種がない場合は、それぞれ1工種につき、(歩掛×1/4)を減じる。

頁番号	現行(平成 25 年度)		改定(平成 26 年度)	
P240	第4章 耐震補強設計歩掛	第 (「第1節 水管橋 耐震診断(詳細診断)歩掛 に追加し、現行(平成25年度)の「第1節 浄水		
		第1節 水管橋 耐震	雲診断(詳細診断)歩掛及び耐 が	寰補強設計歩掛
		4-1-1 適用範囲 この積算歩掛は、水管橋に係る耐震診断(詳細語 耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細語 かどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含め 本設計歩掛では、この手順を基本として考える一震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する場 を別々に示した。 第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の多 歩掛表使用ケース 標準的な手順 耐震診断のみ (耐震診断のお果、補強が必要ない場合) 耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合) 高度な解析(動的解析等)を実施する場合	参断)を行い、既存施設の耐震性 めた耐震化対策の検討を経た上 一方、耐震診断(詳細診断)の 場合を想定し、耐震診断(詳細診 基施設計における歩掛表使用ケ 耐震診断(詳細診断) 基本歩掛(第3表) 基本歩掛(第3表) 一 別途積算	生の程度を把握し、耐震性能を満足していで、耐震補強工事の設計を行う手順となる。 古果、補強を必要としない場合、あるいは 参断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩 ース 耐震補強工事の実施設計 基本歩掛(第5表) ー 基本歩掛(第5表) 別途積算
		掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途語 (ア)河川あるいは道路に付随する管理用道路、((イ)景観を考慮した特殊な構造及び形状の異なる (ウ)河川占用申請業務 (エ)水管橋の設計分界は、右・左岸橋台の伸縮部 (オ)上下流10mを超える護岸及び河川改修 (カ)動的解析による照査 (キ)既設水管橋の取りこわしの設計 (ク)水管橋の劣化状況を把握するための各種試験 (ケ)水管橋の管体本体の補強設計 (コ)水管橋の補修設計	設計委託料を算出する。 仮設道路(迂回路含む)及び造る水管橋の設計に係る業務 可とう管までとし、それに接続	成
		掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途語 (ア) 河川あるいは道路に付随する管理用道路、((イ) 景観を考慮した特殊な構造及び形状の異なる(ウ) 河川占用申請業務 (エ) 水管橋の設計分界は、右・左岸橋台の伸縮で(オ) 上下流 10m を超える護岸及び河川改修(カ) 動的解析による照査 (キ) 既設水管橋の取りこわしの設計(ク) 水管橋の劣化状況を把握するための各種試験(ケ) 水管橋の管体本体の補強設計(コ) 水管橋の補修設計 4-1-2 基本歩掛 4-1-2-1 耐震診断(詳細診断)	設計委託料を算出する。 仮設道路(迂回路含む)及び造る水管橋の設計に係る業務 可とう管までとし、それに接続	
		掛を適用するものとする。 また、次に示す診断・設計業務については別途部では、で、河川あるいは道路に付随する管理用道路、で、河川占用申請業務で、は、水管橋の設計分界は、右・左岸橋台の伸縮では、大・大下流 10m を超える護岸及び河川改修で、カ、動的解析による照査で、おいで橋の取りこわしの設計で、力、水管橋の第化状況を把握するための各種試験で、大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	設計委託料を算出する。 仮設道路(迂回路含む)及び造る水管橋の設計に係る業務 可とう管までとし、それに接続	成

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)				改定	(平成 26 4	年度)				
		第 3-1 表	水管橋上部工の耐震診断(診	詳細診断)	パイフ	プビーム形	/式基本歩				
									橋当り(草		
			作業項目	技師長	主任技師		技師(B)			計	
		既存資料調査	既存資料収集・整理			0.3	0.5	0.5	0.3	1.6	
		診断条件				0.3	0.5	0.4	0.3	1.5	
		整理	耐震基本方針及び設計地震動設定			0.3	0.5	0.4	0.3	1.5	
			解析モデル作成		0.1	0. 1	0.2	0.2		0.6	
		耐震診断	耐震診断		0.2	0. 2	0.3	0.4		1. 1	
		評価	耐震性能の照査		0.1	0.1	0.2	0.2		0.6	
			総合評価		0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4	
			補強対策検討			0.1	0.2	0.4	0.3	1.0	
		lu Martha	劣化対策検討		0.1	0. 1	0.2	0.3	0. 1	0.7	
		対策案の 検討	対策後の構造解析 施工検討		0.1	0. 1	0.2	0.3	0. 3	0.7	
		1天日1				0. 1	0.2		-	0.9	
			対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成		 	0. 1	0.2	0.3	0.3	0.9	
			報告書作成		 	0. 1	0.3	0. 5 0. 6	0. 5 0. 7	1.4	
			報告書作成 照査		0.2		0.4		0. /	1.8	
					0.3	0. 3 2. 4	0. 6 4. 6	0. 6 5. 5	3. 1	1. 8 16. 5	
		/	<u> </u>	ナロッパチ				მ. მ	ə. 1	10. 0	
			作業項目の耐震診断評価にお 水管橋上部工の耐震診断(話					掛			,
			小 光式口	社在日	シ // ++ fi	++ hz / x \	++-在 (p)		橋当り(単		
		旺大次料理木	作業項目	抆 即扙	土仕抆則		技師(B) 0.5			計 1.6	
			既存資料収集・整理								
		診断条件 整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設定			0. 3	0. 5 0. 5	0. 4	0. 3	1. 5	
			解析モデル作成	0. 1	0.1	0. 3	0.3	0.4	0.0	1. 0	
		耐震診断	耐震診断	0. 1	0.3	0. 5	0. 5	0.7		2. 1	
		評価	耐震性能の照査	0. 1	0.1	0. 2	0.2	0.4		1.0	
			総合評価	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0.2		0.6	
			補強対策検討			0. 1	0.5	0.7	0.8	2. 1	
			劣化対策検討			0. 1	0.3	0.5	0.5	1. 4	
		対策案の	対策後の構造解析	0. 1	0.1	0.3	0.3	0.4		1. 2	
		検討	施工検討			0. 1	0.5	0.6	0.7	1.9	
			対策案の概算工事費作成			0. 1	0.5	0.6	0.7	1.9	
			補強図・補修図の作成			0. 1	0.7	0.9	1.0	2.7	
			報告書作成			0.1	0.9	1.2	1.4	3. 6	
			照査		0.3	0.3	0.7	0.9		2. 2	
			小計	0. 5	1.0	3. 1	6.9	8.8	6. 0	26. 3	
		2. ス 3. イ 設定 たが	基準橋長(径間)25m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、別 作業項目の耐震診断評価にお	レベル1均・解説20 ・解説20 り途計上す	地震動及で 09年版方 ける。	ドレベ <i>ル</i> 25 1~4による	地震動を行るものと	含むものる する。			0

					改定	(平成 26 年	F度)			
		第 3-3 寿	水管橋上部工の耐震診断(詞	詳細診断)	トラス	補剛形式	基本歩掛			
		370032	11日間工品工公司及6月(HT/1442 F917	1 //	. 1111111111111111111111111111111111111	25/TY/14		橋当り(重	单位:人
			作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(R)	技師(C)	技術員	計
		既存資料調查		지배지	그니스(XHI)	0.3	0.5	0.5	0.3	1.6
		診断条件				0. 3	0.5	0. 4	0. 3	1.5
		整理	耐震基本方針及び設計地震動設定	2		0. 3	0.5	0.4	0. 3	1.5
			解析モデル作成	0.1	0.3	0.6	0.9	1.4	0.0	3. 3
				0. 1	0. 7	1. 3	1.9	2.8		6. 9
			耐震性能の照査	0. 2	0. 7	0.6	0.9	1.4		3. 3
		р, рщ	総合評価	0. 1	0.3	0. 4	0. 9	0.8		2. 1
			補強対策検討	0.1	0.2				1.0	
						0. 1	1.3	2.0	1. 9	5.3
		lu Marcha	劣化対策検討	0.1	0.4	0. 1	0.9	1.3	1. 2	3. 5
		対策案の 検討		0. 1	0.4	0.8	1.1	1.7	1 0	4. 1
		使削	施工検討			0. 1	1.2	1.7	1. 6	4.6
			対策案の概算工事費作成			0.1	1.2	1.7	1.6	4.6
			補強図・補修図の作成			0.1	1.7	2.6	2. 5	6.9
			報告書作成			0.1	2.3	3.4	3. 2	9.0
			照査	0.3	0.3	0.5	1.2	2.0		4. 3
			J. ⊕1.				40.5			
		2. 3 3. 4 設 た 4. 4	小計 基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、原 作業項目の耐震診断評価にお	レベル15 十・解説20 別途計上で	也震動及で 109年版方 する。	ドレベル25 1~4による	也震動を含 るものとで	含むものと ける。		ベル2地加
		2. 3. 設 設 た 4. 4	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用で ドレベル25 1~4による	するものと 地震動を含 るものとっ	: する。 含むものと †る。	el, v	ベル2地別
		2. 3. 設 設 た 4. 4	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 水管橋 耐震補強工事の実施	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用で ドレベル25 1~4による	するものと 地震動を含 るものとっ	: する。 含むものと トる。)解析手法	el, v	ベル2地震
		2. 3. 設 設 た 4. 4	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 k管橋 耐震補強工事の実施 業務内容	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用 ⁻ ドレベル25 1〜4により 静的解析。	するものと 地震動を含 るものとっ とし、他の 基準	:する。 含むものと rる。)解析手注	さし、レイ	ベル2地加
		2. 3. 設 設 た 4. 4	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 、とで 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用で ドレベル25 1〜4によど 静的解析の	するものと 地震動のとす とし、他の 基準 6 表によ	:する。 :含むものと たる。)解析手注 :歩掛 :り積算計	とし、レイ	ベル2地類
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 k管橋 耐震補強工事の実施 業務内容	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用で ドレベル25 1~4によど 静的解析の	するものと 地震動を含 るものとっ とし、他の 基準	さする。 さむものと かまる。 か解析手法 か が が が が が が が が が が が が が が が が が が	: し、レ たによる ⁵ ・上 ・上	ベル2地加
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 k管橋 耐震補強工事の実施 業務内容 設計協議 現地調査	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	けるもの も も も も も し 、 他 基 は き も る も る も る も る も る た し 、 た る た る た る た る た る た る た る た る た る た	まする。 さむものと かける。 か解析手法 かり積算計 より積算計	さし、レイ 生による ⁴ ・上 ・上	ベル2地別
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 定は、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 体管橋 耐震補強工事の実施 業務内容 設計協議 現地調査 関係機関との協議資料作成	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用 ⁻ ドレベル2 ⁺ 1~4によど 静的解析。 第 第 第	するもの もの もの もの とし、 他 基 を き る 表 表 表 に る も え ま の と っ る も る ま る た る る る る る る る る る る る る る る る る	まする。 さむものと かける。 か解析手法 かり積算算計 より積算計 より積算計	: し、レベ : 上 : 上 : 上	
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長 (径間) 72.5m 本表の内、必要でない作業項作業項目の診断条件整理は、 作業項目の診断条件整理は、 方法1による場合は、別 作業項目の耐震診断評価にお がし、方法1による場合は、別 作業項目の耐震診断評価にお が 大大法1による場合は、別 作業項目の耐震診断評価にお が 大大法1による場合は、別 作業項目の耐震診断評価にお が 大管橋 耐震補強工事の実施 業務内容 設計協議 現地調査 関係機関との協議資料作成 施工計画 既存資料調査 水管橋上部工の	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	するもの も を も も も も も し 、 他 を も る も し 、 他 を も る も る も る も る も る と る と る と る と る と る	まする。。 される。 かける。 が手持 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	:し、レ : : : : : : : : : : : : :	ベル2地加
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長(径間)72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 作業項目の診断条件整理は、 方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	するものを含 地震ものとう とし、他の 基による 第 6 表表による 第 9 表による 第 10 表に	まする。。 される。 かける。 が手持 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	:し、レ : : : : : : : : : : : : :	ベル2地震
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長 (径間) 72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 作業項目の診断条件整理は、 方法1による場合は、5 作業項目の耐震診断評価にお を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	するものを含 地震ものとう とし、他の 基による 第 6 表表による 第 9 表による 第 10 表に	まする。。 される。 かける。 が手持 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	:し、レ : : : : : : : : : : : : :	ベル2地震
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長 (径間) 72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 だは、水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場合は、が 作業項目の耐震診断評価にお が業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 体管橋 耐震補強工事の実施 業務内容 設計協議 現地調査 関係機関との協議資料作成 施工計画 既存資料調査 水管橋上部工の 耐震補強工事の実施設計 橋台工の実施設計	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	するものを含 地震もの も も も も も も も も も も も も も も も も も も	まする。。 される。 かける。 が手持 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	:し、レ : : : : : : : : : : : : :	ベル2地震
		2. 3. 4 設 た; 4. 4 4-1-2-2 第4表 カ	基準橋長 (径間) 72.5m 本表の内、必要でない作業項 作業項目の診断条件整理は、 水道施設耐震工法指針 だし、方法1による場所による場所では、水道による場所では、 作業項目の耐震診断評価にお 耐震補強工事の実施設計 、大管橋 耐震補強工事の実施設計 、大管橋 耐震補強工事の実施設計協議 現地調査 関係機関との協議資料作成 施工計画 既存資料調査 、水管橋上部工の 耐震補強工事の実施設計 橋台工の実施設計 橋脚工の実施設計	頁目につい レベル1± +・解説20 別途計上3 らける解析	では削除では削除では109年版方する。	して使用- ドレベル25 1~4によう 静的解析。	するものを含 地震もの も も も も も も も も も も も も も も も も も も	まする。。 される。 かける。 かける。 がは、かりでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、から	:し、レ : : : : : : : : : : : : :	ベル2地震

5 年度版	現行(平成 25 年度)				改足	定(平成 26 年	:度)		
頁番号		Andrew		474— 	-11-an-at	٠	m/_b++ 1 11 11 11		
		第 5-1 表 水管橋」	部工の耐震	補強工事の実	を施設計 パ	イブビームヲ	形式基本步排		0 (24 Hz. 1)
			11.7~ -	\ 1011 \(\frac{1}{2}\)	LI total ()	113773	11377) (単位:人)
		作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計
		設計計画		0.4	0.6				1.0
		設計計算		0.5	0.4	1. 5	1.8		4.2
		設計図				1.2	1. 7	2.3	5. 2
		数量計算				0.7	1.2	1.5	3. 4
		審査		0.4	0.4	0.9	1.0		2. 7
		報告書作成			0.4	0.3	0.6		1.3
		小計		1.3	1.8	4.6	6.3	3.8	17.8
		設定は、水 解析手法は	の 場 会 い 設 設 設 設 設 設 設 設 設 的 務 、 部 、 部 、 部 、 部 、 部 、 部 、 部 、 部 、 部 、	作業項目に 、レン1地 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ついては削削 加震動及びレ 説2009年版ス 析手法に可とい を対象とする 途計上する。	ベル2地震動 方法1〜4による場合は、別 う管の伸縮量 る。	がに対する計 こるものとし 川途計上する 量増強、リン	算を含むもの 、方法1によ 。 グサポートの)で、レベル2地震動の る場合は、別途計上する)改造・補強など
		用 5-2 表 水官橋」	部上の耐震	開強工事の 表	を施設計 ノ	フンン相削が	形式基本莎拉		0 (光件・1)
		/h- 244 75 17	++-行 E	シ 皮 研究	44年(1)	44 AT (D)	4+6T (a)) (単位:人)
		作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計
		設計計画	0.3	0. 2	0.4		0.0		0.9
		設計計算	-	0.5	0.9	1.5	2.3		5. 2
		設計図				1.8	2. 4	3. 5	7. 7
		数量計算				1.4	1.8	2.3	5. 5
		審査		0.3	0.3	0.7	1. 1		2. 4
		報告書作成			0.3	0.2	0.4		0.9
		小計 備考 1. 基準橋長	0.3	1. 0	1.9	5.6	8.0	5.8	22.6
		2. 本表の内 3. 作業項目 設定は、水 解析手法は 4. 補強方法 水管橋の支 5. 管体本体 第 5-3 表 水管橋」	必要計算でない の設計計解析 静的解析的 は、部は は、部は の補強がある。 ・部工の耐震	、レベル1地 法指針・解 し、他の解 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	推震動及びレ脱2009年版だが手法による。 析手法ででは、他縮可といる対象とする。 途計上する。	ベル2地震動 方法1〜4による場合は、別 う管の伸縮量 る。 ラス補剛形3	がに対する計 にるものとし 川途計上する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	算を含むもの 、方法1によ 。 グサポートの 1橋当	つで、レベル2地震動の る場合は、別途計上する)改造・補強など)(単位:人)
		作業項目	技師長			技師(B)	技師(C)	技術員	計
		設計計画 設計計算	0.5	0. 5 1. 5	1. 5 2. 3	5. 6	8, 5		2. 5 17. 9
			 	1. 0	۷. ن	5. 3	7.6	8. 1	21. 0
		数量計算				3. 3	5. 1	4.8	13. 2
		審査	0.3	0.3	0.5	1.2	2. 1		4. 4
		報告書作成 小計	0.8	2.3	0. 3 4. 6	0. 3 15. 7	0. 5 23. 8	12.9	1. 1 60. 1
		備考 1. 基準橋長 2. 本表の内 3. 作業項目 設定は、水 解析手法は	(径間) 72. { 必要計算では が設計計震工 道施設解析 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	作業項目に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ついては削削 担震動及びレ 説2009年版 析手法によ 、伸縮可と を対象とする	余して使用す ペル2地震動 方法1~4によ る場合は、別 う管の伸縮量 る。	ーるものとす かに対する計 こるものとし り途計上する	る。 算を含むもの 、方法1によ 。	Oで、レベル2地震動の る場合は、別途計上する O改造・補強など

現行(平成 25 年度)				ホウ (東 c t 2 G	午 座 \			
2011				改定(平成 26	午及)			
	4-1-2-3 設計協議(耐加		補強工事の実	施設計)基本	歩掛			
	第6表 設計協議基本歩	掛						etanta sa coste es a casa
	the alle with the	LLAT E) Is that	LL-47 (.)	LL47 (p)	LLAT (a)		務当り(単位:人)
	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
	第1回打合せ 中間打合せ		1. 0	1.0	1.0			1回当り
	最終打合也		1. 0	1. 0 1. 0	1.0			1四コリ
		在V 护环 - 英中			トフ			
	備考 1. 一般的な中間					H I - A - 2 - 2 - 2 - 2	In 1 w	
	2. 関係機関との	協議か必要な場	合においてに	は適且業務内容	学に応じて甲[削打合せを追	加する。	
	4-1-2-4 現地調査(耐	更珍解 ひがみまり	 	佐矶41)甘士	华田			
	第7表 現地調査基本歩		冊 選 工 す の 夫	心 故可/ 圣本	少田			
	分(衣 -	'1ਸ'					1	務当り(単位:人)
	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
	現地調査	以明以	고나사바	1. 3	1.3	1∨ Hill (○)	八四只	VI GIIV
	備考 1.1業務当り、最			1.0	1.0			
		, 20						
	1_1_0_5 関係機関しのも	協議資料作成(i	耐震補強工事	の実施設計)	基本歩掛			
	第8表 関係機関との協	爲議資料作成基本	広歩掛					
	第8表 関係機関との協			.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			務当り(単位:人)
	第8表 関係機関との協 作業項目	議資料作成基本 技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	1業	務当り(単位:人) 備考
	第8表 関係機関との協作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐力	技師長 関係 対象	主任技師		技師(B) 1.4	技師(C) 1.4		
	第8表 関係機関との協作業項目 協議資料作成	技師長 関係 対象	主任技師				技術員 1.4	備考
	第8表 関係機関との協作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐力	技師長 関係 対象	主任技師				技術員 1.4	
	第8表 関係機関との協作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐象 第9表 施工計画基本歩	技師長 要補強工事の実施 掛	主任技師施設計)基本	歩掛	1.4	1.4	技術員 1.4 1.4	備考
	第8表 関係機関との協作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐意 第9表 施工計画基本歩	技師長 要補強工事の実施 掛	主任技師施設計)基本	歩掛 技師(A)	1.4 技師(B)	1.4 技師(C)	技術員 1.4 1.4	備考 当り(単位:人)
	第8表 関係機関との協 作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐震 第9表 施工計画基本歩 作業項目 施工計画 作業項目 施工計画	技師長 雲補強工事の実 が掛 技師長	主任技師 施設計)基本 主任技師	歩掛 技師(A) 1.2	1.4 技師(B)	1.4 技師(C)	技術員 1.4 1.4	備考 当り(単位:人)
	第8表 関係機関との協	技師長 雲補強工事の実施 技師長 (耐震補強工事の	主任技師 施設計)基本 主任技師	歩掛 技師(A) 1.2	1.4 技師(B)	1.4 技師(C)	技術員 1.4 1.4	備考
	第8表 関係機関との協 作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐震 第9表 施工計画基本歩 作業項目 施工計画 作業項目 施工計画	技師長 雲補強工事の実施 技師長 (耐震補強工事の	主任技師 施設計)基本 主任技師	歩掛 技師(A) 1.2	1.4 技師(B)	1.4 技師(C)	技術員 1.4 1橋 技術員	備考 当り(単位:人) 備考
	第8表 関係機関との協 作業項目 協議資料作成 4-1-2-6 施工計画(耐意 第9表 施工計画基本歩 作業項目 施工計画 4-1-2-7 既存資料調査 第10表 既存資料調査	技師長 雲補強工事の実施 掛 技師長 (耐震補強工事の 基本歩掛	主任技師 施設計)基本 主任技師 の実施設計)	歩掛 技師(A) 1.2 基本歩掛	技師(B) 1.8	1.4 技師(C) 2.3	技術員 1.4 1橋 技術員	備考 当り(単位:人) 備考
	第8表 関係機関との協	技師長 雲補強工事の実施 技師長 (耐震補強工事の	主任技師 施設計)基本 主任技師	歩掛 技師(A) 1.2	1.4 技師(B)	1.4 技師(C)	技術員 1.4 1橋 技術員	備考 当り(単位:人) 備考

25 年度版	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
25 年度版頁番号	現行 (平成 25 年度)	改定(甲成 26 年度) 4-1-3-2 類似構造物による補正 第3表における、既存資料調査、診断条件整理、耐震診断評価、対策家の検討、報告書作成、第5表における、設計計算、設計図、数金計算を別にする必要がある構造物についての歩掛は、次式による。類似構造物の少掛・基本等掛 * 極長相正に録数 2.6 5 注) 1. 橋長が変化するが、同一橋種の場合は連続していても1 橋分のみ計上する。 (例) 4径間、基本構造物2箇所、類似構造物2箇所の場合の補正計算 全施長 橋長L。 橋長L。 橋長L。 橋長L。 橋長L。 橋長L。 橋長L。 橋長L
P240	第 1 節 浄水場土木施設 耐震診断(詳細診断)歩掛 4-1-1 適用範囲 (略)	第3節 浄水場土木施設 耐震診断 (詳細診断) 歩掛 4-3-1 適用範囲 (略)

(単位:人)

1. 9

3.9

1.9

1.5

1. 2

2.3

1.2

1.9

2. 0 0.9

21. 2

1. 3

2.6

0. 9

1.0

0.7

0.9

0.9

1.4

0. 5

14. 3

2.3

1.6

1.9

2.8

1.5 2. 3

0.9 24. 9

8.5

4. 0

2.7 2.2

5.0

2.8

4. 0

4. 1

1.8

土 木 設 計

基準(対象)水量10,000m³/日

0.6

1.1

0.6

0 4

0.5

0.4

0.4

0.6

6.3

0.4

0.8

0.3

0.4

0.3

0.3

0.3

0 4

4.5

0.8

0.8

0.5

0.6

0.8

0.5

0.5

0.6

7.6

0.9

0.8

0.9

13.6

0.5

1. 1

0.5

0.4

0.4

0.4

0.6

0.3

0.5

0. 5

5. 5

0.4

0.8

0. 3

0.3

0.3

0.3

0.3

0 4

0.6

0.6

0.4

0.5

0.8

0.4

0.4

0.6

6.6

0.7

0.7

0.7

1. 1

11.8

0.3

0.7

0.1

0.1

0 4

0.1

0.3

2.8

0.2

0 4

0.1

0.1

0 1

0.1

0 1

0.3

0.3

0.3

0.3

0.5

0.1

0.3

3.4

0.4

0.3

0.4

0.6

0.6

0.3

0.3

0.3

0.3

0 4

0.3

0.3

0.4

3. 7

0.3

0 4

0. 2

0.2

0. 1

0.2

0.2

0.3

0.4

0.4

0.3

0.5

0.3

0 4

4.4

0.4

0.4

0.5

0.7

0.8

7.6

0.3

解析モデル作成

耐震性能の照査

総合評価

補強対策検討

対策後の構造解析

施工検討

対策案の概算工事費作成

耐震性能の照査

総合評価

対策後の構造解析

施工検討

対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成

報告書作成

報告書作成

照 査

0. 2 0.8

0. 2

0.2

0.1

0, 2

0.2

0.2

0. 2

0.2

0.6

0.3

0.3

0.4

0.3

0. 3

0.4

1.0

0.8

25 年度版 現行(平成25年度) 頁番号 P241 4-1-2 基本歩掛 4-1-2-1 耐震診断(詳細診断) 第3-1表 (1/3)2,000㎡/日以上(急速ろ過方式) 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 作業項目 技師長 | 主任技師 | 技師(A) | 技師(B) | 技師(C) | 技術員 | 計 現地調査 4-1-2-3 第5表により積算計上 4-1-2-4 第6表により積算計上 既存資料調査 既存資料収集・整理 4-1-2-4 第6表により積算計上 地盤検討 診断条件整理 耐震基本方針及び設計地震動設定 4-1-2-4 第6表により積算計上 解析モデル作成 0.2 耐震 耐震診断 0.3 診断 0.2 評価 0.2 補強対策検討 0.2 劣化対策検討 対策 着水井 対策後の構造解析 0.2 案の 施工檢討 検討 対策案の概算工事費作成 0.1 補強図・補修図の作成 0.2 0. 2 小 計 0.4 解析モデル作成 耐震 0.2 耐震診断 診断 耐震性能の照査 評価 耐震性能の照査 補強対策検討 劣化対策検討 急 速 対策 攪拌池 室の 施工検討 検討 対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成 0.2

> 耐震 診断

評価

対策

案の

検討

耐震

診断

評価

対策

案の

検討

フロック

形成池

沈でん池

4-3-2-1 耐震診断(詳細診断)

4-3-2 基本歩掛

第3-1表 (1/3)2,000m³/日以上(急速ろ過方式) 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳

改定(平成26年度)

(出任・1)

	作	業項目	₩紅芹▮	→ 11 H-11	土	木 設	計	社 独 早	⇒I
			技師長				技師(C)		計
	<u>設</u> 現	計 協 議 地 調 査					り積算計上		
町右次)							り積算計上		
既存資		既存資料収集・整理					り積算計上		
診断条	牛整理	地盤検討					り積算計上		
	海.	耐震基本方針及び設計地震動設定					り積算計上	-	
	伊 /	水場施設	<u> </u>			象)水量10,		0.0	-
	耐震	解析モデル作成	\vdash	0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.
	診断	耐震診断	\vdash	0.3	0.7	1.1	1. 1	0.7	3.
	評価	耐震性能の照査	 	0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.
		総合評価		0.2	0.1	0.4	0.4	0.1	1.
		補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1.
ギルサ	対策	劣化対策検討	 	0.0	0.3	0.4	0.4	0.1	1.
着水井	案の	対策後の構造解析	 	0.2	0.4	0.7	0.6	0.4	2.
	検討	施工検討		0.2	0.3	0.4	0.3	0.1	1.
		対策案の概算工事費作成	\vdash	0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	1.
		補強図・補修図の作成	 	0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.
ļ.		報告書作成	0.4	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	2.
		照査	0.4	0.5	0.7	0.0		0.0	0.
		小計	0.4	2.5	3. 7	6.3	5. 5	2.8	21.
	耐震	解析モデル作成	\vdash	0.0	0.3	0.4	0.4	0.2	1.
	診断	耐震診断	\vdash	0.2	0.4	0.8	0.8	0.4	2.
	評価	耐震性能の照査			0.3	0.4	0.4	0.1	1.
		耐震性能の照査			0. 2	0.3	0.3	0.1	0.
		補強対策検討			0. 2	0.4	0.3	0.1	1.
急 速	対策	劣化対策検討			0. 1	0.3	0.3	0.0	0.
攪拌池	案の	対策後の構造解析			0.3	0.5	0.4	0.3	1.
	検討	施工検討				0.3	0.3	0.1	0.
		対策案の概算工事費作成		0.0	0. 2	0.3	0.3	0. 1	0.
		補強図・補修図の作成 報告書作成		0.2		0.4	0.4		
			0.0	0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1.
		照 <u>查</u> 小 計	0.3	0. 2	2.8	4. 5	4. 3	1.6	0. 14.
			0.3	0.8	0. 4	0.8	0.6	0.3	2.
	耐震	所がモグル作成 耐震診断	\vdash	0. 2	0. 4	1.3	1.3	0. 3	4.
I	診断			0.3	0. 6	0.8	0.6	0. 3	2.
	評価	総合評価		0. 2	0. 4	0. 5	0. 6	0.3	1.
		補強対策検討		0.1	0. 3	0. 6	0. 4	0.3	1.
I		第42 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4		0.4	0. 3	0. 0	0. 3	0. 3	1.
フロック	対策	対策後の構造解析		0.2	0. 5	0.4	0.4	0. 1	2.
形成池	案の	施工検討		0. 2	0. 3	0. 5	0. 6	0. 3	1.
	検討	対策案の概算工事費作成	\vdash	0. 2	0. 3	0.5	0.4	0. 1	1.
I		補強図・補修図の作成		0. 2	0. 4	0.8	0. 4	0. 3	2.
		報告書作成		0. 2	0.4	0.6	0.6	0.3	2.
F		照査	0.4	0. 5	J. I	5.0	J. 0	J. U	0.
		小計	0.4	2. 5	4. 4	7.6	6.6	3. 4	24.
	オルチ	解析モデル作成	V. 1	0.4	0. 7	1.3	1.1	0.6	4.
	耐震	耐震診断		0.6	1. 5	2. 5	2. 4	1.5	8.
	診断	耐震性能の照査		0.3	0. 7	1. 3	1. 1	0.6	4.
	評価	総合評価		0.3	0.4	0.9	0.7	0.4	2.
F		補強対策検討		0.3	0. 5	1.0	0. 9	0.4	3.
	_L A-A-	劣化対策検討		J. 0	0. 4	0.8	0. 7	0.3	2.
沈でん池	対策	対策後の構造解析		0.4	0. 9	1.5	1. 3	0. 9	5.
VG < 701E	案の	施工検討	\vdash	0. 4	0. 5	0.9	0.7	0. 4	2.
I	検討	対策案の概算工事費作成		0.3	0. 5	0.9	0.7	0.4	2.
I		補強図・補修図の作成	\vdash	0.3	0. 7	1.3	1. 1	0.4	4.
		報告書作成		0. 3	0. 8	1. 2	1.1	0.6	4.
F		照査	0.8	1.0	0.0	1. 4	1.1	0.0	1.
		/// 	0.0	1.0		. ,			

			現行(s	平成 25 年	度)								改定(平	成 26 年	度)				
第 3-1 表	(2/3)2,0	00m³/日以上(急速ろ過方式)	浄水場士	上木施設而	対震診断(記				単位:人)	第 3-1 表	(2/3) 2, 00	00m³/日以上(急速ろ過方式)	浄水場土	木施設耐					(単位:丿
		業項目	技師長		土 技師(A)	木 設 技師(B)	FI	技術員	計			業項目	技師長		技師(A)	2011	技師(C)	12311127	計
l 		計 協 議 地 調 香		4	-1-2-2 第 -1-2-3 第	94表によ 25表によ	り槓算計 ₋ り 積質計-	<u>L</u> F				計 協 議 地 調 香			- <mark>3</mark> -2-2 第 - <mark>3</mark> -2-3 第	4 - 1 - 3	り横算計 り積算計		
既存	資料調査	既存資料収集・整理		4	-1-2-4 第	56表によ	り積算計。	E		既存資	資料調査	既存資料収集・整理		4-	-3-2-4 第	56表によ	り積算計	Ė	
診断	条件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設定			-1-2-4 第 -1-2-4 第	第6表によ	り積算計 ₋ り積算計	<u>E</u>		診断多	条件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設定	5	4-	-3-2-4 第 -3- 2-4 第	56表によ	り積算計	<u> </u>	
	浄				/	表)水量10	, 1/3/ FI-	<u></u>			浄	水場施設	E .		基準(対象	102(1-01	ソ <u>傾昇司</u> . 000m³/日		
	耐震	解析モデル作成		0.4	1.1	1.9	1.7	0.8	5. 9		耐震	解析モデル作成		0.4	1.1	1.9	1.7	0.8	
	診断	耐震診断 耐震診断 耐震性能の昭杏	-	0.9	2.2	3.8	3. 6 1. 7	2. 2	12. 7 5. 9		診断	耐震診断 耐震診断 耐震性能の照査	1	0. 9	2. 2	3.8	3. 6 1. 7	2. 2 0. 8	12. 7 5. 9
	評価	総合評価	間及民間。加至 1.1			1.1	0.7	4. 1		評価	総合評価		0.3	0. 7	1. 3	1. 1	0.7	4. 1	
		補強対策検討 劣化対策検討	-	0.4	0.9	1. 6 1. 1	1.3	0.7	4. 9 3. 3			補強対策検討 劣化対策検討	1	0.4	0. 9	1.6	1. 3	0.7	4. 9 3. 3
制 急 速 ろ過池	対策	対策後の構造解析		0. 5	1. 3	2. 1	2. 0	1.3	7. 2	急速	対策	対策後の構造解析	1	0.5	1. 3	2. 1	2. 0	1. 3	7. 2
ク週他	案の 検討	施工検討		0.3	0.8	1.2	1.1	0.6	4.0	ろ過池	案の 検討	施工検討		0.3	0.8	1.2	1. 1	0.6	4. (
	100,000	対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成	-	0. 3	0.8	1. 2	1.1	0.6	4. 0 5. 9		100,000	対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成	1	0.3	0.8	1. 2	1. 1 1. 7	0.6	4. 0 5. 9
		報告書作成 照 査		0. 4	1. 2	1. 9	1.7	0.9	6. 1			報告書作成		0.4	1. 2	1. 9	1. 7	0.9	6. 1
				1.5	11.0	10.0	10.1	0.0	2. 7			照査	1.2	1.5	11 0	10.0	10 1	0.0	2. 7
	二 4		1.2	5. 8	11. 9	19. 9 0. 4	18. 1 0. 4	9.8	66. 7 1. 2		耐震	小 計 ┃ 解析モデル作成	1.2	5.8	11. 9	19. 9	18. 1	9.8	66. 7
	診断	展 耐震診断 耐震性的の昭本		0.2	0.4	0.8	0.7	0.4	2. 5		診断	耐震診断		0.2	0. 4	0.8	0. 7	0.4	2. 5
	評価	耐震性能の照査 総合評価	-		0. 2	0.4	0.3	0.2	1. 1 0. 9		評価	耐震性能の照査 総合評価			0. 2	0.4	0.3	0. 2	0.9
		補強対策検討			0.2	0.3	0.3	0.1	0. 9			補強対策検討			0. 2	0.3	0. 3	0.1	0. 9
塩素		<u>劣化対策検討</u>			0.1	0.3	0.3	0.2	0.7	塩素	対策	劣化対策検討			0.1	0.3	0.3	0.2	0.7
混和池		対策後の構造解析 施工検討			0.3	0.4	0.4	0.3	1. 4 0. 9	混和池	案の	対策後の構造解析 施工検討			0. 3	0.4	0. 4	0.3	0.9
	検討	対策案の概算工事費作成			0.2	0.3	0.3	0.1	0. 9		検討	対策案の概算工事費作成			0. 2	0.3	0.3	0.1	0.9
		▲ 補強図・補修図の作成 報告書作成			0. 2	0.4	0.3	0.1	1. 0		-	■ 補強図・補修図の作成 報告書作成			0. 2	0.4	0.3	0.1	1. (
		照査	0.3	0. 2	0.0	0.1	0.0	0.1	0. 5			照査	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0. 5
浄水池		小 計	0.3	0.4 第2節 配	<u>2.5</u> 水池 耐炉	4.3	3.9 +歩掛に』	1.7 こり 積算計	13.1	浄水池	-	小 計	0.3	0.4 2節 配フ	2.5 火油 耐電	4.3	3.9	<u>1.7</u> より積算計	13. 1
共同溝			7		<u>-1-2-5</u> 第	K IIII JARK F	1 / 101 0	<u>、り傾昇記</u> 上		共同溝				- A - HL/,	- <mark>3</mark> -2-5 第	C III JARK F	1 / 12 1 - 0	2: / DR/JI H	1
	耐震	解析モデル作成		0. 2	0.4	0.6	0.6	0.3	2. 1		耐震	解析モデル作成 耐震診断		0.2	0.4	0.6	0.6	0.3	
	診断	<u>耐震診断</u> 耐震診断	 	0.3	0.7	1. 2 0. 6	1. 2 0. 6	0.8	4. 2 2. 1		診断			0.3	0. 7 0. 4	0.6	1. 2 0. 6	0.8	4. 2 2. 1
	評価	総合評価		0.2	0.2	0.5	0.4	0.1	1.4		評価	総合評価		0.2	0.2	0.5	0.4		
	1 1 644	補強対策検討 劣化対策検討	-	0. 2	0.3	0.5	0.4	0.1	1. 5		I I finish	補強対策検討 劣化対策検討		0.2	0. 3	0. 5	0. 4	0.1	1. 5
排水池	対策 案の	対策後の構造解析		0. 2	0.4	0.8	0.6	0.4	2. 4	排水池	対策 案の	対策後の構造解析		0.2	0. 4	0.8	0. 6	0.4	
	検討	施工検討 対策案の概算工事費作成		0. 2	0.3	0.4	0.4	0.1	1.4		検討	施工検討 対策案の概算工事費作成		0. 2	0.3	0.4	0.4	0.1	1.4
		補強図・補修図の作成		0. 2	0.3	0.4	0. 4	0.1	2. 1			補強図・補修図の作成		0. 2	0. 3	0. 4	0. 4	0.1	2. 1
		報告書作成	- ·	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	2.0			報告書作成	2 1	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	2. 0
			0.4	0. 5 2. 6	4. 1	6.6	6. 1	2.9	0. 9 22. 7		-		0.4	0. 5 2. 6	4. 1	6.6	6. 1	2.9	0. 9 22. 7
1 1	耐震	解析モデル作成	···	0.2	0.3	0.6	0. 5	0.3	1. 9		耐震	解析モデル作成	V. 1	0.2	0. 3	0.6	0. 5	0.3	1. 9
		耐震診断 耐震性能の照査		0.3	0.7	1. 1 0. 6	1.1	0.7	3.9		診断	耐震診断 耐震性能の照査	+	0.3	0.7	1. 1 0. 6	1.1	0.7	3. 9
	診断		 	0. 2	0.3	0.6	0. 5	0.3	1. 9		評価			0. 2	0. 3	0.6	0. 5	0. 3	•
	評価	総合評価		0. 2	0.3	0.5	0.4	0.1	1. 5			補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1. 5
		補強対策検討		0. 2		0.4	0.4	0.1	1. 2 2. 3	排泥池	対策	<u>劣化対策検討</u> 対策後の構造解析	+ +	0. 2	0. 3	0. 4	0. 4	0.1	
排泥池	評価 対策	補強対策検討 劣化対策検討			0.3		() 6			7/17/21/2	案の	施工検討	+ +	0. 2					
排泥池	評価 対策 案の	補強対策検討 劣化対策検討 対策後の構造解析 施工検討		0. 2	0. 3 0. 4 0. 3	0. 7 0. 4	0.6	0.4	1. 2		NH EV			V. 1	0.3	0.4	0.3	0.1	1. 2
排泥池	評価 対策	補強対策検討 劣化対策検討 対策後の構造解析 施工検討 対策案の概算工事費作成		0. 2 0. 1 0. 1	0. 4 0. 3 0. 3	0.7 0.4 0.4	0. 3 0. 3	0. 1 0. 1	1. 2 1. 2		検討	対策案の概算工事費作成		0.1	0.3	0. 4 0. 4	0.3	0. 1 0. 1	1. 2 1. 2
排泥池	評価 対策 案の	補強対策検討 劣化対策検討 対策後の構造解析 施工検討		0. 2	0. 4 0. 3	0. 7 0. 4	0.3	0.1			快刊					0.4		0. 1 0. 1 0. 3	1. 2 1. 2 1. 9
排泥池	評価 対策 案の	補強対策検討 劣化対策検討 対策後の構造解析 施工検討 対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成	0.4	0. 2 0. 1 0. 1 0. 2	0. 4 0. 3 0. 3 0. 3	0.7 0.4 0.4 0.6	0. 3 0. 3 0. 5	0. 1 0. 1 0. 3	1. 2 1. 2 1. 9		使 () ——————————————————————————————————	対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成	0.4	0. 1 0. 2	0.3	0. 4 0. 4 0. 6	0. 3 0. 5	0. 1 0. 1 0. 3 0. 3	1. 2 1. 2 1. 9 1. 8

25 年度版

現行(平成25年度) 改定(平成26年度) 頁番号 P243 第3-1表 (3/3)2,000㎡/日以上(急速ろ過方式) 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 第3-1表 (3/3)2,000m3/日以上(急速ろ過方式) 浄水場土木施設耐震診断(詳細診断)基本歩掛内訳 (単位:人) (単位:人) 土木設計 土木設計 作業項目 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 計 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 計 4-1-2-2 第4表により積算計上 4-3-2-2 第4表により積算計上 設 計 協 議 設 計 協 議 現地調査 4-1-2-3 第5表により積算計上 現地調査 4-3-2-3 第5表により積算計上 既存資料収集・整理 既存資料調査 既存資料収集・整理 4-1-2-4 第6表により積算計上 既存資料調査 4-3-2-4 第6表により積算計上 4-1-2-4 第6表により積算計上 4-3-2-4 第6表により積算計上 地盤検討 診断条件整理 診断条件整理 耐震基本方針及び設計地震動設定 4-1-2-4 第6表により積算計上 耐震基本方針及び設計地震動設定 4-3-2-4 第6表により積算計上 浄 水 場 施 設 浄 水 場 施 設 基準(対象)水量10,000m³/日 基準(対象)水量10,000m³/日 解析モデル作成 0.2 0.4 0.6 0.6 2. 1 解析モデル作成 0.2 0 4 0.6 0.6 0.3 2. 1 耐震 耐震 耐震診断 0.3 0.7 1. 1 0.7 4.0 耐震診断 0.3 1.2 4.0 診断 診断 耐震性能の照査 0.2 0.5 耐震性能の照査 0.2 0.4 0.6 0.3 2.0 0.4 0.6 0.5 0.3 2.0 評価 評価 総合評価 0.2 0.20.4 0.1 総合評価 0.2 0.20.5 0.4 0.1 1.4 0.5 1.4 補強対策検討 0.2 0.3 0.4 1.5 補強対策検討 0.2 0.5 0.1 1.5 0.5 0.1 0.3 0.4 劣化対策検討 0.3 1. 2 劣化対策検討 0.4 0.4 1. 2 0 4 0.4 0.1 0.3 0 1 対策 対策 濃縮槽 濃縮槽 対策後の構造解析 0.2 0.4 0.8 0.6 0.4 2.4 対策後の構造解析 0.2 0.8 0.6 0.4 2.4 案の 案の 施工検討 施工検討 1.4 0.2 0.3 0.4 0.1 1.4 0.2 0.3 0.4 0.4 0.4 0.1 検討 検討 対策案の概算工事費作成 0.2 0.3 0.4 0.4 0.1 1.4 対策案の概算工事費作成 0.2 0.3 0.4 0.4 0.1 1.4 補強図・補修図の作成 補強図・補修図の作成 2.0 0.2 0.4 0.6 0.5 0.3 2.0 0.2 0.4 0.6 0.5 0.3 報告書作成 0.2 0.4 0.6 0.5 0.3 2.0 報告書作成 0.2 0.6 0.5 2.0 0.4 0.3 照 査 0.4 0.5 0.9 照 査 0.4 0.5 0.9 22. 3 小 計 0.4 2.6 22.3 小 計 0.4 2.6 4. 1 6.6 5.8 2.8 4. 1 6.6 5.8 2.8 解析モデル作成 0.3 0.4 1.2 解析モデル作成 0.3 0.4 0.4 0.1 1.2 0.40.1 耐震 耐震 耐震診断 0.4 2. 5 2.5 0.2 0.7 耐震診断 0.8 0.7 0.8 0.2 0.4 診断 診断 耐震性能の照査 0.2 0.3 0.4 0.4 0.1 1.4 耐震性能の照査 0.2 0.3 0.4 0.4 0.1 1.4 評価 評価 総合評価 総合評価 0.3 0.9 0.20.1 0.9 0.2 0.3 0.3 0 1 0.3 補強対策検討 0.2 0.40.3 0.1 1.0 補強対策検討 0.2 0.4 0.3 0.1 1.0 劣化対策検討 0.2 0.3 0.3 0.1 0.9 劣化対策検討 0.2 0.3 0.3 0.1 0.9 天 日 天 目 対策 対策 対策後の構造解析 0.3 0.5 0.4 0.3 1.5 対策後の構造解析 0.3 0.5 0.4 0.3 1.5 乾燥床 乾燥床 案の 案の 施工検討 0.2 0.3 0.3 0.1 0.9 施工検討 0.2 0.3 0.3 0.1 0.9 検討 検討 対策案の概算工事費作成 対策案の概算工事費作成 0.2 0.3 0.3 0.1 0.9 0.20.3 0.3 0.1 0.9 補強図・補修図の作成 0.2 0.3 0.4 補強図・補修図の作成 0.1 1.4 0.4 0.1 1.4 0.2 0.3 0.4 0.4 報告書作成 報告書作成 0.2 0.3 0.1 0.2 0.3 0.4 0.4 1.4 0.4 0.4 0.1 照査 照 査 0.3 0.2 0.5 0.3 0.2 0.5 小 計 0.3 1.0 2.9 4.5 4.2 1.6 14.5 小 計 0.3 1.0 2.9 4.5 4.2 1.6 14. 5

			現行(平成 25 年	度)								改定(平	呼成 26 年	度)				
第 3-2 表		Om3/日未満(急速ろ過方式)	浄水場:	土木施設而					(単位:人)	第 3-2 表		00m3/日未満(急速ろ過方式)	浄水場土	木施設而					単位: /
	作	業 項 目 計 協 議	技師長	主任技師		木 設 技師(B)	古 技師(C) の 建質 計	技術員	計		作設	業項目	技師長		技師(A)	木 設 技師(B) 第4表によ	技師(C)		計
		地調査	 			55表によ	<u>り傾昇可</u> り積算計	<u>L</u> E								7	<u>リ傾昇司-</u> り積算計 ₋	_	
既存資	料調査	既存資料収集・整理			/	56表によ	り積算計	Ŀ.		既存資	料調査	既存資料収集・整理				第6表によ	- 1/1/1/1-1	-	
診断条	:件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設定			-1-2-4 穿 -1-2-4 穿	36表によ 36表によ	り槓昇計 り 積質計	<u>r.</u> F		診断条	:件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設策	t l			第6表によ 第6表によ	り積算計 ₋ り積質計-	_	
	浄 2	k 場 施 設			推 (対象)		000m ³ /				浄	水場施設	<u> </u>		準(対象		000m ³ /		
	工厂	解析モデル作成		0.2	0.3	0.6	0.5	0.3			工厂局	解析モデル作成		0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.
	耐震 診断評価	耐震診断 耐震性能の照査		0. 3	0.7	1. 2 0. 6	1. 1 0. 5	0.7	4. 0 1. 9		耐震 診断評価	耐震診断 耐震性能の照査	+	0.3	0.7	1. 2 0. 6	1. 1 0. 5	0.7	<u>4.</u> 1.
	的阳川	総合評価		0. 2	0. 1	0.4	0. 4	0. 1	1. 2			総合評価		0. 2	0. 3	0.4	0. 4	0. 3	1.
		補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1. 5			補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1.
着水井	対策案	劣化対策検討 対策後の構造解析		0.2	0. 2	0.4	0. 4	0.1	1.1		対策案	学化対策検討 対策後の構造解析	+	0. 2	0. 2	0.4	0. 4	0. 1	1. 2.
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の検討	カ 泉 俊 り 傳 垣 暦 州 施 工 検 計		0. 2	0.4	0.6	0. 6	0.4	2. 2	有小开	の検討	カ 東 仮 の 傳 垣 暦 州		0. 2	0. 4	0.6	0. 6	0.4	
		対策案の概算工事費作成		0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1. 4			対策案の概算工事費作成		0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1.
		補強図・補修図の作成		0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.9			補強図・補修図の作成	1 1	0.2	0.3	0.6	0.5	0.3	1.
		報告書作成 照	0.4	0. 2	0.4	0.6	0.5	0.3	2. 0				0.4	0. 2	0.4	0.6	0.5	0.3	2.
		小 計	0.4	2.6	3.6	6.3	5. 7	2.8				小計	0.4	2.6	3. 6	6.3	5. 7	2.8	21.
	耐震	解析モデル作成		0.8	2.0	3.6	3. 2	1.5	11.1		耐震	解析モデル作成		0.8	2. 0	3.6	3. 2	1. 5	11.
	診断評価	<u>耐震診断</u> 耐震性能の照査		1. 6	4. 2 2. 0	7. 0 3. 6	6. 6 3. 2	4. I 1. 5	23. 5 11. 2		┃	耐震診断 耐震診断 耐震性能の照査		1.6	4. 2 2. 0	7. 0 3. 6	6. 6 3. 2	4. 1 1. 5	23. 11.
	ну ну на при	総合評価		0. 7	1. 1	2.4	2. 0	1.1	7. 3		ну ну н н н н	総合評価	† †	0. 7	1. 1	2. 4	2. 0	1.1	7.
-## FI		補強対策検討		0.7	1.7	2.8	2.4	1.2	8.8	- 		補強対策検討		0.7	1. 7	2.8	2. 4	1.2	8.
薬品沈でん池	対策案	劣化対策検討 対策後の構造解析		0. 9	1. 2 2. 5	2. 2 4. 0	2. 2 3. 7	0. 7 2. 4	6. 3 13. 5	薬品 沈でん池	対策案	<u>劣化対策検討</u> 対策後の構造解析	+ -	0.9	1. 2 2. 5	2. 2 4. 0	2. 2 3. 7	0. 7 2. 4	6. 13.
100 (7016	の検討	施工検討		0. 7	1.5	2. 3	1. 9	1. 1	7. 5		の検討	施工検討		0. 7	1. 5	2. 3	1. 9	1.1	7.
		対策案の概算工事費作成		0.7	1.5	2.3	1. 9	1. 1	7. 5			対策案の概算工事費作成		0.7	1.5	2.3	1.9	1.1	7.
		補強図・補修図の作成 報告書作成	<u> </u>	0. 9	2. 0 2. 2	3. 6 3. 4	3. 2	1.5 1.7	11. 2 11. 3			■ 補強図・補修図の作成 報告書作成		0.9	2. 0	3. 6	3. 2 3. 1	1. 5 1. 7	11. 11.
		照査	2. 2	2. 7	2.2	0.1	0.1	1. (4. 9			照査	2. 2	2. 7	2.2	0.1	0.1	1. 1	4.
		小 計	2.2	11.5	21. 9	37. 2	33. 4	17.9	124. 1			小計	2. 2	11.5	21. 9	37. 2	33. 4	17. 9	124.
	耐震	<u>解析モデル作成</u> 耐震診断		0. 2	0.3	0.5	0. 4	0.1	1. 5 3. 0		耐震	解析モデル作成 耐震診断		0. 2	0.3	0.5	0. 4	0. 1	1. 3.
	診断評価	耐震性能の照査		0. 2	0.3	0.5	0. 4	0.1	1. 5		診断評価			0.2	0. 3	0.5	0. 4	0. 1	1.
		総合評価			0.2	0.3	0.3	0.1	0. 9			総合評価			0. 2	0.3	0.3	0.1	0.
<i>b</i> \		補強対策検討 劣化対策検討			0. 2 0. 2	0.4	0.3	0.1	1.0			<u>補強対策検討</u> 劣化対策検討			0. 2	0.4	0. 3	0.1	1. 0.
急速 ろ過機	対策案	対策後の構造解析			0.3	0.5	0. 5	0.3	1. 6	急速 ろ過機	対策案	対策後の構造解析			0. 3	0.5	0.5	0.3	1.
フ心液	の検討	施工検討			0.2	0.3	0.3	0.1	0.9	フ盟版	の検討	施工検討			0. 2	0.3	0.3	0.1	0.
		対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成		0. 2	0.2	0.3	0. 3	0.1	0.9			対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成		0.2	0. 2	0.3	0. 3	0. 1	0.
		報告書作成		0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1. 4			報告書作成		0. 2	0.3	0.4	0.4	0.1	1.
		照査	0.3		0 1	4.0	A A	1 7	0.6			照査	0.3	0.3	0 1	4.0	4 4	1 7	0.
		小 計 解析モデル作成	0.3	1. 3	3. 1 0. 2	4. 9 0. 4	4. 4 0. 4	0.1	15. 7 1. 1			小 計 ┃ 解析モデル作成	0.3	1.3	3. 1 0. 2	4. 9 0. 4	4. 4 0. 4	0.1	15. 1.
	耐震	耐震診断		0.2	0.4	0.8	0.7	0.4	2. 5		耐震	耐震診断		0.2	0.4	0.8	0.7	0.4	2.
	診断評価	耐震性能の照査			0.2	0.4	0.4	0.1	1.1		診断評価		1 7		0.2	0.4	0.4	0.1	1.
		総合評価 補強対策検討		+	0. 2	0.3	0.3	0.1	0.9			総合評価 補強対策検討	1		0. 2	0.3	0. 3	0. 1	0.
塩 素		劣化対策検討			0. 2	0.3	0.3	V. I	0. 7	塩 素		劣化対策検討			0.1	0.3	0.3	V. I	0.
混和池	対策案 の検討	対策後の構造解析			0.3	0.4	0.4	0.3		混和池	対策案 の検討	対策後の構造解析			0.3	0.4	0.4	0.3	1.
	♥√ク快削	施工検討 対策案の概算工事費作成	-	+	0. 2	0.3	0.3	0.1	0.9		ツ快的	施工検討 対策案の概算工事費作成	+ -		0. 2	0.3	0. 3	0. 1	0.
		補強図・補修図の作成			0.2	0. 4	0. 4	0. 1	1. 1			補強図・補修図の作成			0.2	0. 4	0.4	0. 1	1.
		報告書作成	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.1	1.1			報告書作成	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.1	1.
		照 <u> </u>	0.3		2, 5	4.3	4. 1	1.5	0.6			照 <u>查</u> 小 計	0.3	0.3	2. 5	4. 3	4. 1	1. 5	0. 13.
浄水池		.1 ні		2節 配					1	浄水池		.1 HI			•	雲補強設計			
	•		-								-		•						

第 3-2 表	(2/2)2,000)m ³ /日未満(急速ろ過方式)	浄水場コ	上木施設而	付震診断(語	詳細診断)	基本歩掛片		単位:人)	第 3-2 表	(2/2)2,00	0m³/日未満(急速ろ過方式	() 浄水場土	土木施設耐	震診断(詞	詳細診断)	基本歩掛片		单位: ,
	作	 業 項 目	壮研目	- ナイ + 在		木 設 技師(B)					作	業項目	壮 証目	主任技師		木 設			
	設	計協議	技 即 反			坟師(B) 第4表によ	V. 2-4-664 → 1		計		設	計協議	技師長		40 41 1 1 7	技師(B) 第4表によ	21: 6-6	42 TINY 2 T	計
	/-	地 調 査		4	-1-2-3	第5表によ	り積算計	E				地 調 査		4-		第5表によ		_	
7 - 14 - 2	料調査	既存資料収集・整理				第6表によ 第6表によ	- 12(2) F1 -	7		1	料調査	既存資料収集・整理			<u> </u>	第6表によ 第6表によ	2 12K 21 BT =		
診断条	:件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動設定				月0衣によ 第6表によ	/ I// I FI =	_		診断条	:件整理	地盤検討 耐震基本方針及び設計地震動詞	定		/	66表によ	/ 1/// 1 -1 -	_	
	浄 オ	く場施設			準(対象)水量10,	000m ³ /	<u> </u>			浄 🧷	水場施設	0,0		準(対象		$000 \mathrm{m}^3/$		
	耐震	解析モデル作成		0.2	0.4	0.7	0.6	0.3	2. 2		耐震	解析モデル作成		0.2	0.4	0.7	0.6	0.3	2
	診断評価	耐震診断 耐震性能の照査		0.3	0.8	1. 2 0. 6	1. 2 0. 6	0.8	4. 3 2. 1		診断評価	耐震診断 耐震性能の照査		0.3	0.8	1. 2 0. 6	1. 2 0. 6	0.8	2
	по нутит па	総合評価		0. 2	0. 1	0.5	0.4	0.3	1. 5		ну нутит т	総合評価		0.2	0. 1	0.5	0.4	0.3	1
		補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1.5			補強対策検討		0.2	0.3	0.5	0.4	0.1	1.
排水池	対策案	劣化対策検討 対策後の構造解析		0. 2	0.3	0.4	0. 4	0.1	1. 2 2. 4	排水池	対策案	劣化対策検討 対策後の構造解析		0.2	0. 3	0.4	0. 4	0.1	2
DIVICE	の検討	施工検討		0. 2	0. 3	0.4	0. 4	0. 1	1. 4	II DIANE	の検討	施工検討		0. 2	0. 3	0.4	0. 4	0. 1	1
	[対策案の概算工事費作成		0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1. 4			対策案の概算工事費作品	-	0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	1
		補強図・補修図の作成		0. 2	0.4	0.6	0. 6 0. 5	0.3	2. 1	П		■ 補強図・補修図の作成 報告書作成		0.2	0. 4	0.6 0.6	0. 6 0. 5	0.3	2
		照査	0.4	0. 5	V. T	0.0	0.0	V. 0	0.9	- []		照査	0.4	0. 5	V. T	0.0	0.0	0.0	0
		小計	0.4	2. 6	4. 1	6.7	6. 1	3. 1	23. 0			小計	0.4	2.6	4. 1	6.7	6. 1	3.1	23.
	耐震	<u>解析モデル作成</u> 耐震診断		0. 2	0.3	0. 6 1. 1	0. 5 1. 1	0.3	1. 9 3. 9	- []	耐震	解析モデル作成 耐震診断	+	0. 2	0. 3	0.6 1.1	0. 5 1. 1	0.3	3
	診断評価	耐震性能の照査		0. 2	0.3	0.6	0.5	0.3	1. 9		診断評価	耐震性能の照査		0.2	0. 3	0.6	0. 5	0.3	1
		総合評価		0.2	0.1	0.4	0.4	0.1	1. 2			総合評価		0.2	0. 1	0.4	0.4	0.1	1
		補強対策検討 劣化対策検討		0. 2	0.3	0.5	0. 4	0.1	1.5			補強対策検討 劣化対策検討		0.2	0.3	0.5	0. 4	0.1	1 1
排泥池	対策案	対策後の構造解析		0.2	0. 4	0. 7	0. 6	0. 4	2. 3	排泥池	対策案	対策後の構造解析		0.2	0. 4	0. 7	0. 6	0.4	2
	の検討	施工検討		0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	1. 2		の検討	施工検討		0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	1
		対策案の概算工事費作成 補強図・補修図の作成		0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	1. 2			対策案の概算工事費作品 補強図・補修図の作成		0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	1 1
		報告書作成		0. 2	0. 4	0.6	0.5	0.3	2. 0			報告書作成		0. 2	0. 4	0.6	0. 5	0.3	2
		照査	0.4	0.4		2.0			0.8			照査	0.4	0.4	0.0	2.0		0.0	0.
	1	<u>小計</u> 解析モデル作成	0.4	2. 3	3. 6 0. 4	6. 3 0. 6	5. 5 0. 6	2.8	20. 9	11		小 計 ■ 解析モデル作成	0.4	2. 3 0. 2	3. 6 0. 4	6. 3 0. 6	5. 5 0. 6	2.8 0.3	20.
	耐震	耐震診断		0. 2	0. 7	1. 2	1. 1	0. 7	3. 9		耐震	耐震診断		0.2	0. 7	1. 2	1. 1	0.7	3
	診断評価	耐震性能の照査		0.2	0.4	0.6	0.6	0.3	2. 1		診断評価	耐震性能の照査		0.2	0.4	0.6	0.6	0.3	2
		総合評価 補強対策検計		0. 2	0. 2	0. 5 0. 5	0. 4	0.1	1. 4 1. 5			総合評価 補強対策検討		0. 2	0. 2	0. 5 0. 5	0. 4	0.1	1 1
		劣化対策検討		0.2	0. 2	0.4	0. 4	0. 1	1. 1			劣化対策検討		0.2	0. 2	0.4	0. 4	0. 1	1
濃縮槽	対策案	対策後の構造解析		0. 2	0.4	0.8	0.6	0.4	2. 4	濃縮槽	対策案	対策後の構造解析		0.2	0.4	0.8	0.6	0.4	2
	の検討	施工検討 対策案の概算工事費作成		0. 2	0.3	0.4	0. 4	0.1	1.4		の検討		₽	0.2	0. 3	0.4	0. 4	0.1	1 1
		補強図・補修図の作成		0. 2	0.4	0.6	0.5	0.3	2. 0			補強図・補修図の作成		0.2	0. 4	0.6	0. 5	0.3	2
		報告書作成	0.4	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	2. 0			報告書作成	0.4	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3	2
			0.4	0. 5 2. 5	4. 0	6.6	5. 9	2.8	0. 9 22. 2				0. 4	0. 5 2. 5	4. 0	6.6	5. 9	2.8	22
		解析モデル作成			0. 3	0.5	0.4	0. 2	1.4			解析モデル作成	7. 1		0. 3	0.5	0.4	0.2	1.
	耐震	耐震診断		0.2	0.6	0.9	0.8	0.5	3. 0		耐震	耐震診断		0.2	0.6	0.9	0.8	0.5	3.
	診断評価	耐震性能の照査 総合評価		 	0.3	0. 5 0. 4	0. 4	0. 2	1.4	- []	診断評価	耐震性能の照査 総合評価	+		0. 3	0. 5 0. 4	0. 4	0. 2	1.
		補強対策検討			0.3	0.4	0.3	0. 1	1. 1			補強対策検討			0.3	0.4	0.3	0.1	1
天日乾燥	対策案	劣化対策検討			0.1	0.3	0.3	0.0	0.7	天日乾燥	対策案	劣化対策検討			0. 1	0.3	0.3	0.0	0.
床	対策条 の検討	対策後の構造解析 施工検討		 	0.3	0.5	0. 4	0.3	1.5	床	対東条 の検討	対策後の構造解析 施工検討	+		0. 3	0. 5 0. 3	0. 4	0.3	0.
	17783	対策案の概算工事費作成			0.2	0.3	0.3	0.1	0. 9	- []	1243	対策案の概算工事費作品			0.2	0.3	0.3	0.1	0.
		補強図・補修図の作成 超失事作成		_	0.3	0.5	0.4	0.2	1.4	- []		補強図・補修図の作成 超生事作成	+		0.3	0.5	0.4	0.2	1.
		報告書作成 照 査	0.3	0.3	0.3	0.4	0. 4	0.3	1. 4 0. 6			報告書作成 照 査	0. 3	0.3	0. 3	0.4	0. 4	0.3	1. 0.
		小 計	0.3		3. 1	5. 0	4. 3	2.1	15. 3			小 計	0.3	0.5	3. 1	5.0	4.3	2.1	15.

25 年度版 頁番号				現行	亍(平成 25 年	:度)							改定	と(平成 26 年	(度)			
P246	4-1-2-2 設計協議(i 第 4 表 設計協議基		本歩掛							4-3-2-2 設計協議(第 4 表 設計協議基		本歩掛						
								1業務当	り(単位:人)								1業務当	り(単位:人)
	作業項目	++-位目	シ と 社 社 任	++-在 (4)		設計	++45.5	3 1	/#: +r.	作業項目	++·在·E	シバ井は	++位(4)		設計	++-体:早	⇒ı	/#; +z.
	第1回打合せ	技師長	主任技師	技師(A) 1.0	技師(B)	技師(C)	技術員	2.0	備考	第1回打合せ	技師長	主任技師	技師(A) 1.0	技師(B)	技師(C)	技術員	計 2.0	備考
	中間打合せ		1.0	1.0	1.0			2.0	1回当り	中間打合せ		1.0	1. 0	1. 0			2.0	1回当り
	最終打合せ		1.0	1. 0	1.0			2.0	11117	最終打合せ		1. 0	1. 0	1			2.0	
	備考 1. 一般的な中 2. 各打合せの 業務において ずつ加算する	技師(A)、技 建築、機械	妓師(B)の歩	掛は、土木を	をそれぞれ1:	名としたもの				備考 1. 一般的な中 2. 各打合せの 業務において ずつ加算する)技師(A)、技 建築、機械	支師(B)の歩	掛は、それる	ぞれ土木に係	るものであ			係る歩掛と同数
	4-1-2-3 現地調査基 第5表 現地調査基									4-3-2-3 現地調査基 第5表 現地調査基								
	为 5 久 光起 侧 且 至 ·	个少用					1業務当	り(単位:人)		为 3 X 汽地侧 A A	个少用					1業務当	り(単位:人)	
1	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考		作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考	
	現 地 調 査			1.3	1.3			1回当り]	現 地 調 査			1. 3	1.3			1回当り]
	備考 1. 本表は1業 2. 各打合せの 業務において ずつ加算する	技師(A)、技 建築、機械	妓師(B)の歩	掛は、土木を	をそれぞれ1 を追加する場	名としたも <i>0</i> 合は、その)である。し 工種分を歩	たがって、 掛にそれぞれ	この 11名	備考 1. 本表は1業 2. 各打合せの 業務において ずつ加算する)技師(A)、技 建築、機械	支師(B)の歩	掛は、それる					係る歩掛と同数
	4-1-2-4 既存資料訓 (略)	雪査及び診断	条件整理 基	基本步掛						4-3-2-4 既存資料記 (略)	間査及び診断	f条件整理 基	本歩掛					
	4-1-2-5 共同溝(耐)	震診断)基本	歩掛							4-3-2-5 共同溝(耐 (略)	震診断) 基本	歩掛						
P247	4-1-3 補正 補正は 4-1-3-1~4	-1-3-3 の各	補正係数を	乗ずるものと	とする。					4-3-3 補正 補正は 4-3-3-1~4	4- <mark>3</mark> -3-3 の各	補正係数を	乗ずるものと	こする。				
	4-1-3-1 設計対象水 (略)	く量に係る補	正							4-3-3-1 設計対象/(略)	K量に係る補	Œ						
	4-1-3-2 類似施設((略)	係る補正								4-3-3-2 類似施設((略)	に係る補正							
	4-1-3-3 設備設計に (略)	1係る補正								4-3-3-3 設備設計((略)	ニ係る補正							
P248				第2節 配	水池 耐震補	捕強設計歩掛					第2	2節 配水池	耐震診断	(詳細診断)	歩掛及び耐	震補強設計성		
P252	4-2-2-3 設計協議(i 第5表 設計協議基		が耐震補強コ	ニ事の実施設	計) 基本歩掛	,	1 \ 	か(光存・1)		4-2-2-3 設計協議(第5表 設計協議基		び耐震補強エ	事の実施設	計)基本歩掛		1業務当	り(単位:人)	
	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	り(単位:人) 備考	7	作業項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考]
	作業項目 第1回打合せ	1又即文	土仕抆即 1.0	技師(A) 1.0	1又即(以)	1女帥((())	121/11月	1	1	第1回打合せ		1.0	1.0					
	中間打合せ		1.0	1. 0	1.0			1回当り	1	中間打合せ			1.0	1.0			1回当り	_
	最終打合せ		1. 0	1.0]	最終打合せ	- BB (^	1.0	1.0	4.3 ⇒ 1.1.3 :	I	<u> </u>	<u> </u>	_
	備考 1. 一般的な中 2. 各打合せの この業務にお ぞれ1名ずつ	技師(A)、技 いて建築、	妓師(B)の歩	掛は、土木を	をそれぞれ1:	名としたもの			ı	備考 1. 一般的な中 2. 各打合せの 業務において ずつ加算する)技師(A)、技 建築、機械	支師(B)の歩	掛は、それる	ぞれ土木に係	るものであ			係る歩掛と同数

24-24
第 6 表 現地調査基本歩掛
作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考 現地調査 1.3 1.3 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木をそれぞれ1名としたものである。したがって、この業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、その工種分を歩掛にそれ (株式 1) 大師(B)の歩掛と (株式 1) 大師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と
現地調査 1.3 1.3 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 (備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 (備考 1. 本表は1業務1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木をそれぞれ1名としたものである。したがって、このこの業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と
備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、土木をそれぞれ1名としたものである。したがって、 この業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、その工種分を歩掛にそれ 3. 本表は1業務1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この 業務において建築、機械、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)		改定(平成 26 年度)	
		(平成 26 年度版より、「第4節 浄水場土木施設	耐震補強歩掛」を追加。)	
		第4節	净水場土木施設 耐震補強設計歩	掛
		4-4-1 適用範囲		
		この積算歩掛は、浄水場土木施設のうち標準的な	は既存鉄筋コンクリート造に係る	耐震補強工事の実施設計を業務委託する場
		合に適用する。		
		耐震補強工事を行うためには、耐震診断(詳細語	診断)を行い、既存施設の耐震性	の程度を把握し、耐震性能を満足している
		かどうかの判断を行う。その後、施設の更新を含	めた耐震化対策の検討を経た上で	で、耐震補強工事の設計を行う手順となる。
		本設計歩掛では、この手順を基本として考える・	一方、耐震診断(詳細診断)の結	果、補強を必要としない場合、あるいは耐
		震診断(詳細診断)を行わず耐震補強を実施する	場合を想定し、耐震診断(詳細診	断)と耐震補強工事の実施設計の基本歩掛
		を別々に示した。		
		第1表 耐震診断(詳細診断)と耐震補強工事の 歩掛表使用ケース	実施設計における歩掛表使用ケー 耐震診断(詳細診断)	-ス 耐震補強工事の実施設計
		標準的な手順	別途積算(第4章第3節参照)	基本歩掛(第3表)
		耐震診断のみ (耐震診断の結果、補強が必要ない場合)	別途積算(第4章第3節参照)	_
		耐震補強工事のみ (簡易診断で補強が必要であると判断した場合)	_	基本歩掛(第3表)
		高度な解析(動的解析等)を実施する場合	別途積算	別途積算
		(イ)耐震化に伴う既存施設の撤去及び浄水場施 (ウ)自家発電機設備、制御設備、塩素注入設備 (エ)補強工事に伴う大規模な工事用の取付道路 (オ)事業計画(認可設計)に係る業務 (カ)連続地中壁の本体利用 (キ)その他、第2表に定められていない施設 (ク)開発行為諸手続	及びそれらの建築施設	
		第2表 浄水場土木施設 耐震補強工事実施設計	適用対象主要施設	
			木	
		浄水場 土木施設 料水管、ゲート)及び人孔の移設	流出、オーバーフロー管、	
		基本歩掛は標準的なものであり、第4章第3節(イ) 法規による各種の指定等の解除、または2(ロ) 既設付帯構造物の取りこわしの設計(ハ) 分割施工の場合(ニ) 上部利用施設のある場合(ホ) 構造物の劣化状況を把握するための各種診(へ)2次元静的非線形解析、3次元静的解析、動(ト)日影図、模型の作成がある場合(チ)浄水場周辺の環境条件が次に示すように、・風致地区等で建造物に特別な構造、または・既存の土木構造物に影響を及ぼすと判断され設設計を伴う場合(リ)耐震補強工事の実施設計に伴う建築、機械	、共用地占用等のための申請なら 、大験及び劣化目視調査 動的解析、FEM解析等の高度な解 設計業務上特別の配慮を必要とす デザインを必要とする場合 れる立地条件及び気象条件(凍締	びに申請書作成業務

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)			改	定(平成 26	年度)				
		4-4-2 基:	——————————— 本歩掛							
			・・・・ 耐震補強工事の実施設計							
			(1/2) 2,000m3/日以	1上 (刍連る過去式)	海水埕土木	大協設 音	計震補品工事宝計	新設計其末 期	卡掛内部	
		77013	(1/2) 2,000m3/ p	工(心座・フ旭ガス)	计八加工기	NUE IX	11及冊点上于天/	匹队 町 本 半 ク	・ (単位:	: 人)
			/L-345-77 D					+	(1)	7.07
			作業項目		技師長	主任技師	技師(A) 技師(B		技術員	計
			設 計 協				-4-2-2 第4表に。			
			現地調				-4-2-3 第5表に。			
			既 存 資 料 净 水 場	<u></u> 調 <u> </u>			-4-2-4 第6表に。 準(対象)水量1			
			設計		0.6		1.2 1.7			4. 1
				構造	0.0	0.5	1.4 2.3			7. 6
			計算 —	機能			0.3 0.2		0. 1	0.7
		着水井	施工計			0.2	0.5 1.2			3. 4
			設計図			0.9	1.9 2.9			10. 3
			数 量 審査		0.2	0. 2	0.6 0.7	0.7		0.8
					0. 2	3.0	5.9 9.0	6. 4		29. 7
			設計		0. 2		0.5 0.7			2. 6
			計算	構造		0.4	1.1 1.3			4.8
				機能			0.2 0.3			0. 7
		急速攪拌池	施工語 設 計 図			0.1	0. 4 0. 7 1. 4 1. 9			2. 1 6. 8
		1951116				0.6	0.4 0.6			1. 9
			<u> </u>		0.2		0.4	0.0		0.5
			小言		0.4	1.6	4.0 5.5	4.8	3.1 1	19. 4
			設 計		0.3		0.9 1.3			4.6
			計算	構造		0.5	1.9 2.8			8. 7
		フロック	 施工言	機能		0. 1	0.3 0.2 0.7 1.3			0. 8 4. 1
		形 成 池 (機械式)	設計図			1.1	2.5 3.9			12. 7
		(1)0(1)0(-4)	数量			0.3	0.6 1.1	0.8		3.3
			審査		0.5					1.1
			小言 		0.8	3. 2	6.9 10.6			35. 3
				<u> </u>	0.7	0.8 1.6	1. 5 2. 4 3. 3 5. 3			8. 7 17. 1
			計算 ——	機能		0. 1	0. 2 0. 5			1. 5
		沈でん池	施工記			0.6	1.3 2.4		1.1	7.5
		(傾斜板式)	設計図			2. 1	4.6 7.1			23. 4
			数量		0.0	0.5	1.2 1.9	1.5		6. 0
			審 查		0.8		12. 1 19. 6	15. 4		1. 9 66. 1
			設計		0.9		2. 1 3. 2			11.8
			計算	構造		2. 3	5.8 8.8			29. 0
				機能		0.3	0.5 0.8			2. 4
		急 速 ろ過池	施工記			0.8	2.0 3.7			11.6
		ク地性	<u>設計図</u> 数量			2. 9 0. 7	6. 7 10. 0 1. 9 2. 8			9. 4
					1.3		1.3 4.8	4. 4		2. 9
			小言		2. 2		19. 0 29. 3	23. 7		00. 4
			設 計		0.2	0.1	0.5 0.6			2. 2
			計算 —	構造		0.3	1.0 1.3		0.7	4. 3
			 施工言	機能	+	0. 1	0. 2 0. 3 0. 4 0. 7			0. 7 2. 1
		塩 素 混和池				0. 1	1. 3 2. 0			6. 3
			数量			0. 3	0.4 0.5			1. 6
			審査	K L	0.1	0. 2				0. 3
		NA 1 N1	小言	+	0.3		3.8 5.4			17. 5
		浄水池			第		水池 耐震補強設			
		共同溝				4-	-4-2-5 第7表に。	にり槓算計上		

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)			改定((平成 26 :	年度)					
		第 3-1 表	(2/2) 2,000m3/	日以上(急速ろ過方式)浄	水場土木	、施設 而	付震補強工	.事実施影	2計基本		·位:人)
			作業項目				_	土木設計			
			作業垻	.目						計	
			設	計計画	0. 2		0.9	1. 3	0.8	0.7	4, 2
				構造		0.8	1.9	2. 7	2.4	1. 5	9.3
			計算	機能		0.1	0.3	0.3	0. 1	0.1	0. 9
		Alle 1 Sele	力			0. 2	0.6	1. 2	1. 1	0. 5	3. 6
		排水池		計図作成		0.8	2.1	3. 3	2.6	1. 9	10.7
				量計算		0. 2	0.6	0.9	0.7	0.5	2. 9
				審査	0. 2	0.6					0.8
				小計	0.4	3. 0	6.4	9. 7	7.7	5. 2	32.4
			設	計計画	0. 2	0.3	0.7	1.1	0.9	0.6	3.8
			計算	構造		0.8	1.4	2.4	1.8	1.2	7. 6
				機能			0.3	0.2	0.1	0.1	0.7
		排泥池		施工計画		0.2	0.5	1.1	0.9	0.5	3.2
		7, 7010	設 計	計図作成		0.9	2.0	3. 1	2.4	1. 9	10.3
			数	量計算		0.2	0.6	0.8	0.6	0.5	2.7
				審査	0. 3	_		\longrightarrow			0.9
				小計	0. 5		5. 5	8. 7	6. 7	4.8	29. 2
			設	計計画	0. 3		1.1	1.4	0.8	0. 7	4.8
			計算	構造		1.1	1.8	2. 6	2. 1	1.5	9. 1
				機能		0.1	0.3	0.2	0. 1	0.1	0.8
		濃縮槽		施工計画		0.2	0.6	1.2	1. 1	0.5	3.6
				計図作成		0.9	1.9	2.8	2.3	1.8	9. 7
			数	量計算	0.0	0. 2	0.6	0. 7	0.6	0.5	2. 6
				審査 小計	0. 3	0. 6 3. 6	6.3	9.0	7. 0	5. 1	0. 9 31. 5
			扔	<u>小計</u> 計 計 画	0. 8	0. 2	0.5	8. 9 0. 6	0.6	0.5	2. 7
				構造	0. 3	0. 2	1.0	1.6	1. 3	0. 7	5. 0
			計算	機能		0.4	0.1	0.3	0. 1	0. 1	0.6
		天日	ħ	<u> </u>		0. 1	0.4	0.7	0. 7	0.4	2. 3
		乾燥床 (自然式)		計図作成		0. 4	1.4	1. 9	1.6	1.4	6. 7
		(日3824)		量 計 算		0. 1	0.3	0.5	0.4	0.4	1. 7
				審査	0. 2	0.5					0.7
			小計 本表の内、必要でない作業項目については削		0.5	1.7	3.7	5. 6	4.7	3. 5	19.7
		2. ± 3. 3. ± 4.	作業項目の計算(構 地震動の設定は、水道 よる場合は、別途計上 作業項目の計算(構 金計上する。 作業項目の計算(機	造)は、レベル1地震動及で 道施設耐震工法指針・解説2	びレベル 2009年版 2次元静 i、設備計	2地震動/ 方法2~4 的線形解 +算、仮記	こ対する計 Mによるも Mがとし、 W計算等で	+算を含む のとする 他の解析 である。	。ただ [†] 手法に。	し、方法 よる場合	1に

5 年度版	理行/亚式 25 年度\			改定(平成 26 年度)
現行(平成 25 年度) 真番号				以足(平成 20 平度)
		第 3-2 表 2	,000m3/日未満(急速ろ過方式)浄水場	是土木施設 耐震補強工事実施設計基本歩掛内訳
				(単位:人)
			作業項目	土木設計
				技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 計
			設 計 協 議 現 地 調 査	4-4-2-2 第4表により積算計上 4-4-2-3 第5表により積算計上
			既存資料調査	4-4-2-4 第6表により積算計上
			净 水 場 施 設	基準 (対象) 水量10,000m³/日
			設計計画	0.6 0.6 1.2 1.7 4.1
			計算 構造 機能	0.5 1.5 2.5 2.0 1.5 8.0 0.3 0.2 0.1 0.1 0.7
			施工計画	0.2 0.6 1.2 1.0 0.5 3.5
		着水井	設計図作成	0.9 1.9 2.9 2.6 2.0 10.3
			数 量 計 算	0.2 0.6 0.7 0.7 0.6 2.8
			<u>審査</u> 小計	0.2 0.6 0.8 0.8 3.0 6.1 9.2 6.4 4.7 30.2
				0.8 3.0 6.1 9.2 6.4 4.7 30.2 2.1 2.0 4.2 6.7 5.3 3.9 24.2
		ll F	計算構造	4.3 9.6 15.0 11.4 8.8 49.1
			機能	0.5 0.9 1.4 0.9 0.7 4.4
		薬 品 沈でん池	施工計画	1.6 3.7 6.9 6.1 3.3 21.6
		DE CTORES	<u>設計図作成</u> 数量計算	5.9 12.7 19.9 15.6 11.0 65.1 1.6 3.4 5.2 4.0 2.8 17.0
			審査	2.3 2.9 5.2
			小計	4.4 18.8 34.5 55.1 43.3 30.5 186.6
			設計計画 機准	0.2 0.1 0.5 0.9 0.7 0.5 2.9
			計算 構造 機能	0.0 0.0 0.9 0.6 0.4 2.7
		急速	施工計画	0.2 0.4 0.8 0.7 0.4 2.5
		ろ過機	設 計 図 作 成	0.9 2.0 2.9 2.3 1.6 9.7
			数量計算	0.2 0.5 0.8 0.6 0.5 2.6
			<u>審査</u> 小計	0.4 0.5 0.9 0.6 2.1 4.0 6.3 4.9 3.4 21.3
			設計計画	0.1 0.1 0.5 0.6 0.5 0.3 2.1
		П	計算構造	0.3 1.0 1.4 1.0 0.8 4.5
			機能	0.2 0.3 0.1 0.1 0.7
		塩 素	施工計画 設 計 図 作 成	0.1 0.4 0.7 0.6 0.3 2.1 0.5 1.3 2.0 1.5 0.9 6.2
		ll 🗀	数計划作成数量計算	0.1 0.4 0.5 0.4 0.2 1.6
			審査	0.1 0.3 0.4
		净水池	小計	0.2 1.4 3.8 5.5 4.1 2.6 17.6
		7.7世	設計計画	第2節 配水池 耐震補強設計歩掛により積算計上 0.2 0.3 0.9 1.2 0.9 0.7 4.2
		II F	計算構造	1.0 1.9 2.7 2.5 1.6 9.7
			機能	0.1 0.2 0.3 0.1 0.1 0.8
		排水池 —	施工計画	0.2 0.7 1.2 1.0 0.5 3.6
			<u>設計図作成</u> 数量計算	0.8 2.1 3.3 2.6 1.9 10.7 0.2 0.6 0.9 0.7 0.5 2.9
			審査	0.3 0.5 0.8
			小計	0.5 3.1 6.4 9.6 7.8 5.3 32.7
		II ⊢	設計計画構造	0.2 0.3 0.7 1.2 0.9 0.6 3.9 0.5 1.5 2.4 1.8 1.2 7.4
			計算機能	0.5 1.5 2.4 1.8 1.2 7.4 0.1 0.1 0.8
		排泥池	施工計画	0.2 0.5 1.1 0.9 0.5 3.2
		שרעבוש	設計図作成	0.9 2.1 3.1 2.5 1.9 10.5
			<u>数量計算</u> 審査	0.2 0.6 0.9 0.7 0.5 2.9 0.3 0.5 0.8
		II F	一	0.5 0.5 0.7 8.9 6.9 4.8 29.5
			設計計画	0.3 0.5 1.1 1.4 0.8 0.7 4.8
			計算 構造	1.1 1.8 2.6 2.1 1.6 9.2
			世界 機能 機能 施工計画	0.1 0.3 0.2 0.1 0.1 0.8 0.2 0.6 1.2 1.1 0.6 3.7
			設計図作成	0.9 1.9 2.8 2.3 1.8 9.7
			数 量 計 算	0.2 0.6 0.7 0.6 0.5 2.6
			審査	0.3 0.6 0.9
			<u>小計</u> 設 計 計 画	0.6 3.6 6.3 8.9 7.0 5.3 31.7 0.3 0.2 0.5 0.6 0.6 0.5 2.7
		II F	4#\/F.	0.3 0.2 0.5 0.6 0.6 0.5 2.7 0.4 1.0 1.7 1.4 0.8 5.3
			計算 構垣 機能	0.3 0.5 0.1 0.1 1.0
		天 日 乾燥床	施工計画	0.2 0.4 0.8 0.7 0.4 2.5
		(自然式)	<u>設計図作成</u> 数量計算	0.4 1.4 2.0 1.6 1.4 6.8 0.1 0.4 0.5 0.4 0.4 1.8
			<u> </u>	0.1 0.4 0.5 0.4 0.4 1.8

備考 1. 本表の内、必要でない作業項目については削除して使用するものとする。	 	現行(3	平成 25 年度)						改章	三(平成 26 年	:度)		
2. 作業項目の計算 (構造) は、レベル1地震動及びレベル2地震動に対する計算を含むもので、レベル 地震動の認定は、水道施設計量法指針・解認2009年版方法2~4によるものとする。ただし、方法1 よる場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算 (構造) における解析手法は、2次元静的競形解析とし、他の解析手法による場合 途計上する。 4. 作業項目の計算 (機能) は、維強後の水理計算、設備計算、改設計算等である。 5. 補強方法は、建一スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。 4-4-2-3 設計協議基本歩掛 1. 業務当り (単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 億 考 第1回打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0当的公司 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3 1.3		-5元1」(一	1 1% 49 下区/					-					
地震動の設定は、水道施設解線工法指針・解認2009年版方法2~4によるものとする。ただし、方法1 よる場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(機能)は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 5. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。 4-4-2-3 設計協議(耐震補強工事実施設計)基本步掛 第 4 表 設計協議(耐震補強工事実施設計)基本步掛 第 2 展 目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 億 考 第 1回打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0													
よる場合は、別途計上する。 3. 作業項目の計算(構造)における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合に途計上する。 4. 作業項目の計算(機能)は、補液後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 5. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。 4-4-2-3 設計協議(耐震補強工事実施設計)基本掛 第 4 表 設計協議基本歩掛 「整項目 技師長 主任技師 技師(4) 技師(5) 技術員 備 考 第 1 田打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0													
3. 作業項目の計算 (構造) における解析手法は、2次元静的線形解析とし、他の解析手法による場合に					ţ.	地震動の部	と定は、水道	施設耐震工	法指針・解説	2009年版力	が法2~4によ	るものとす	る。ただし、
### ### ### ### #### ################						よる場合は	は、別途計上	する。					
### ### ### ### #### ################					3.	作業項目	の計算(構造	告) における	解析手法は	、2次元静的	線形解析と	し、他の解	析手法による
4. 作業項目の計算 (機能) は、補強後の水理計算、設備計算、仮設計算等である。 5. 補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。 4-4-2-3 設計協議(耐震構強工事実施設計)基本参掛 第1表 設計協議基本歩掛 「業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考第1回打合セ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0													
5、補強方法は、壁・スラブ・柱の増打、耐震壁の増設等による躯体構造の補強を対象とする。 4-4-2-3 設計協議(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第 4 表 設計協議基本歩掛 1 業務当り (単位:人) 作 業 項 目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 偏 考 第 1 回打合せ 1.0 1.0 1.0 1 回当り 最終打合せ 1.0 1.0 1.0 1 回当り 最終打合せ 1.0 1.0 1.0 1 回当り 最終打合せ 2.0 1.0 1.0 1 1 回当り 最終打合せ 2.0 1.0 1.0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								も) は、補強	後の水理計	算、設備計:	算、仮設計算	算等である。	
4-4-2-3 設計協議(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1 業務当り (単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考第1回打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0													
### 第 4 表 設計協議基本歩掛							′					/ /	, - 5
### 第 4 表 設計協議基本歩掛					1-1-2-3	設計投議/	お 言 は み エ す	重宝体記計):	其 太				
作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考 第1回打合せ													
 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 偏考第1回打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1回当り 最終打合せ 1.0 1.0 1.0 1回当り 最終打合せ 1.0 1.0 1.0 1回当り 最終打合せ 1.0 1.0 1.0 1回当り は終打合せ 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0					第4表 影	対計協議基	本歩掛						
第1回打合せ 1.0 1.0 1.0 1回当り													_
中間打合せ 1.0 1.0 1.0 1回当り 最終打合せ 1.0							技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
展終打合せ 1.0 1.0								1. 0	1.0				
最終打合せ 1.0 1.0 信考 1. 一般的な中間打ち合わせは、適宜必要な打ち合わせ回数を計上する。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ上木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-4 現地調査(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現 地 調査 1.3 1.3 1回当り 信考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第 6 表 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					中間打	打合せ			1.0	1.0			1回当り
備考 1. 一般的な中間打ち合わせは、適宜必要な打ち合わせ回数を計上する。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1 工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する 4-4-2-4 現地調査(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 第5表 現地調査基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考現地調査 1.3 1.3 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1 工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第6表 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					最終打	打合せ アラファ		1. 0	1.0				
2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務に							中間打ち合わ			わせ回数を	・計上する。		
様、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する 4-4-2-4 現地調査(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現 地 調 査 1.3 1.3 1回当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第6表 既存資料調査基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6												る。したがっ	って、この業
4-4-2-4 現地調査(耐震補強工事の実施設計)基本歩掛 第5表 現地調査基本歩掛 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備考 現地調査 1.3 1.3 1.3 1回当りの歩掛である。 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B) の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6													
# 5 表 現地調査基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現 地調査 1.3 1.3 1回当り 1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 民存資料調査 1.3 1.3 2.6					199			⊂ , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	₩ H 100 C /	,	±,- < € ±/ `	・- ハ・ウンカ	- 1 + 200 / 2 //
# 5 表 現地調査基本歩掛 1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現 地調査 1.3 1.3 1回当り 1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 民存資料調査 1.3 1.3 2.6					1 4 0 4	田小田本 /	지중남과 ~ ?	₽₩ ₽ ₩	/ ተተፑዘነ				
1 業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現地調査 1.3 1.3 1.3 1回当り 備考 1.本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお 械、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第6表 既存資料調査基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					1			₱の美施設計	/				
作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 備 考 現地調査 1.3 1.3 1.3 1回当り 1回当り 1回当り 1の歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお 械、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 1業務当り(単位:人)作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					第5表 玛	見地調査基	本歩掛						
現地調査 1.3 1.0当り 備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。 2. 各打合せの技師(A)、技師(B)の歩掛は、それぞれ土木に係るものである。したがって、この業務にお被、電気に該当する工種を追加する場合は、それぞれ1工種につき土木に係る歩掛と同数ずつ加算する。 4-4-2-5 既存資料調査(耐震補強工事実施設計)基本歩掛 第6表 既存資料調査基本歩掛 1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6												7	
(備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。					作業	項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備考
(備考 1. 本表は1業務、1回当りの歩掛である。					現 地	調査			1. 3	1.3			1 回当り
1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					4-4-2-5	既存資料記	周査(耐震補引	鱼工事実施 設	計)基本歩掛	ŀ			
1業務当り(単位:人) 作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6					第6表 即	死存資料調	查基本歩掛						
作業項目 技師長 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 合計 既存資料調査 1.3 1.3 2.6												1業務当り) (単位:人)
既存資料調査 1.3 1.3 2.6					作業	項目	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)		
								. 2.2.		1			_
畑老 ▲表げ 至松 田当り// 広掛であた							1 = 1/2 10 a	ル上州 ポキフ				1	
1					備考 本表	をは1 業務	、1回当りの)歩掛じめる	•				
					備考 本表	をは1 業務	、1 四ヨりの	が好じめる	•				
					備考本表	長は1業務	、1四ヨサの	が掛じめる	0				
					備考本表	をは1業務	、1四ヨりの)歩掛じめる	0				
					備考本表	をは1業務	、1四当90)歩掛でめる	0				
					備考 本妻	友は 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	٥				
					備考本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1回当りの	7歩掛でめる	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1回当りの	クタ掛 でめる	0				
					備考 本表	友は 1 業務	、1回当りの	/少掛でめる	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1回当りの	/少掛でめる	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1回当りの	/少掛でめる	0				
					備考 本表	をは 1 業務	、1四当りの	/少掛でめる	0				
					備考 本表	支は 1 業務	、1回当りの	/少掛でめる	0				
					備考 本表	友は 1 業務	、1回当りの	7歩掛である	0				
					備考 本表	友は 1 業務	、1回当りの	/少掛でめる	0				

現行(平成 25 年度)	4-4-2-6 共同 第7表 共同》		・ 車の中歩訊社\							
				甘士华世						
	第7表 共同;	7年4人 大地	- 争の夫他改訂)	本 平						
		再坐个少国								
									1施設あたり	(単位:人
	I	作業項目	-	-	1	-	土木設計			
			31	技師長		技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計。
		設計	計画	0. 2	0.3	0.6	0.9	0.7	0.6	3.
		計算	構造		0.9	2.0	2.8	2.3	1.8	9.
			機能							0.
	共同溝	施工			0. 2	0. 5	1. 1	0.9	0.6	3.
		設計図			0.7	1. 9	2. 7	2.1	1.6	9.
		数量			0.2	0.5	0. 7	0.6	0.4	2.
			査	0. 2	0.6					0.
		小		0.4	2.9	5. 5	8. 2	6.6	5. 0	28.
			の人工であり複							
			のとする。施設	数は断面形	状によって決	で正する。関	71回形状が呈	もなる場合に	-	
	は、近接	をしていても別が	施設とする。							
	4-4-3 補正									
	.	4-3-1~4-4-3-	4 の各補正係数	を乗ずるも	のとする。					
	1m1L(&, 1 1	101 110	107日間止所級	C/K 7 5 0	V) C					
	l									
	4-4-3-1 設計	十対象容量に係	る補正							
	第8-1表 2,0	000m3/目以上	浄水場施設対						_	
	第 8-1 表 2,0 設計水量	000m3/日以上 L (m³/日)	浄水場施設対 補正係数		設計水量(1			正係数]	
	第8-1表 2,0 設計水量 2,000~	000m3/日以上 【(m³/日) 3,000未満	浄水場施設対 補正係数 0.575	Č .	設計水量(m 25,000~ 30	0,000未満	1	. 370	3	
	第 8-1 表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~	000m3/目以上 a (m³/目) 3,000未満 4,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661	(設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35	0,000未満 5,000 <i>n</i>	1 1	. 370 . 459		
	第 8-1 表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~	000m3/日以上 a (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730	(設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40	0,000未満 5,000 <i>n</i> 0,000 <i>n</i>	1 1 1	. 370 . 459 . 539		
	第 8-1 表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~	000m3/日以上 1 (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788	(設計水量(m 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45	0,000未満 5,000 " 0,000 " 5,000 "	1 1 1 1	. 370 . 459 . 539 . 611		
	第 8-1 表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~	000m3/日以上 a (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839		設計水量(m 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50	0,000未満 5,000	1 1 1 1	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678		
	第8-1表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 " 8,000 "	净水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60	0,000未満 5,000 " 0,000 " 5,000 " 0,000 "	1 1 1 1 1 1	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678		
	第 8-1 表 2, 0 設計水量 2, 000~ 3, 000~ 4, 000~ 5, 000~ 6, 000~ 7, 000~ 8, 000~	000m3/日以上 a (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 " 8,000 " 9,000 "	净水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60 60,000~ 70	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740		
	第 8-1 表 2, 0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~ 8,000~ 9,000~1	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 " 8,000 " 9,000 " 10,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60 60,000~ 70 70,000~ 80	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1 1	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740 . 852 . 953		
	第 8-1 表 2, 0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~ 8,000~ 9,000~1 10,000~1	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 " 8,000 " 9,000 " 10,000 " 12,000 "	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926 0.964		設計水量(m 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60 60,000~ 70 70,000~ 80 80,000~ 90	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740 . 852 . 953		
	第 8-1 表 2, 0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~ 8,000~ 9,000~1	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000 // 5,000 // 6,000 // 7,000 // 8,000 // 9,000 // 10,000 // 12,000 // 14,000 // 1	净水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926 0.964 1.000 1.065		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60 60,000~ 70 70,000~ 80	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740 . 852 . 953 2. 045		
	第8-1表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~ 8,000~ 9,000~1 10,000~1 12,000~1	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000	浄水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926 0.964		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 60,000~ 70 70,000~ 80 80,000~ 90 90,000~100	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740 . 852 . 953		
	第8-1表 2,0 設計水量 2,000~ 3,000~ 4,000~ 5,000~ 6,000~ 7,000~ 8,000~ 10,000~1 12,000~1 14,000~1	000m3/日以上 (m³/日) 3,000未満 4,000 " 5,000 " 6,000 " 7,000 " 8,000 " 9,000 " 10,000 " 12,000 " 14,000 " 16,000 " 18,000 " 18,000 "	净水場施設対 補正係数 0.575 0.661 0.730 0.788 0.839 0.885 0.926 0.964 1.000 1.065 1.123		設計水量(n 25,000~ 30 30,000~ 35 35,000~ 40 40,000~ 45 45,000~ 50 50,000~ 60 60,000~ 70 70,000~ 80 80,000~ 90 90,000~100 100,000~150	0,000未満 5,000	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	. 370 . 459 . 539 . 611 . 678 . 740 . 852 . 953 2. 045 2. 129		

25 年度版 頁番号	現行(平成 25 年度)	改定(平成 26 年度)
XH		4-4-3-2 類似施設に係る補正 類似系列施設の耐震補強工事の実施設計を行う場合は、第3表基本歩掛人工に0.65を乗じて使用するものとする。類似構造物とは、同一の耐震補強方法で若干補強範囲が異なる施設とする。これによらない場合(耐震補強方法、補強位置が異なる場合)は、系列施設単位ごとに算定する。
		4-4-3-3 設備設計に係る補正 耐震補強工事の実施設計において、壁補強に伴うゲートの付け替えなどの付帯施設の付け替えについては、この歩掛に含む ものとする。部分的な設備更新(既存設備を単純に入れ替えるだけの設計作業)を行う場合は、第3章構造物設計歩掛第3節 浄水場設計歩掛第5-1表及び第5-2表機械、電気の設計図作成、数量計算の基本歩掛に15/100を増加させ、本歩掛に加算す るものとする。全面的な設備機器の更新設計を行う場合には、別途計上すること。
		4-4-3-4 掘削深度に係る補正 掘削深度が大きい場合 (5m 以上 10m 未満)は、第 3 表耐震補強工事の実施基本歩掛に 15/100 増加、さらに極めて深い場合 (10m以上)は、30/100 増加するものとする。